

FUJITSU Printer

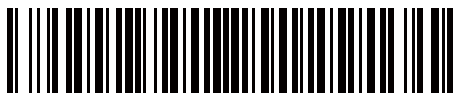
B5WY-1741-01



XL シリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ XL-9450



B5WY-1741-01


FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」（→ P.10）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセーフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセーフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセーフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセーフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、直射日光の当たる場所、振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所、温泉地など硫黄の影響を受ける場所に設置しないでください。装置故障だけではなく、火災、故障、感電などの原因になることがあります。
表示された正しい電源・電圧でお使いください。
また、本製品の稼働音が気になる場合は、事務所とは別室に設置することを推奨します。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。
矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、住宅環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の拡散については、エコマーク No.155「複写機・プリンタなどの画像機器 Version1.3」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：Blue Angel Mark [RAL-UZ 171：2013 年基準] に基づき試験を実施しております。
推奨トナーカートリッジやドラムカートリッジについては、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

第 1 章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第 2 章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第 3 章 オプションを取り付ける

本製品のオプションであるプリンタ RAM モジュール、拡張給紙ユニットの取り付け方法を説明します。

3

第 4 章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要な、用紙のセット、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、プリンタ本体の清掃など、日常的な操作について説明します。

4

第 5 章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上のご注意について説明します。

6

第 7 章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

第 8 章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることについて説明します。

8

目次

このマニュアル以外の情報は添付 CD-ROM 内のマニュアルをご覧ください	5
製品に関する注意事項	5
このマニュアルの表記について	7
搭載ソフトウェアの IPv6 対応について	10
安全上のご注意	10
第 1 章 お使いになる前に	
1 本製品の特長	18
2 各部の名称と機能	22
第 2 章 プリンタを設置・接続する	
1 設置時の注意事項	28
本製品のサイズ	28
設置～動作確認までの注意事項	29
電源の入れ方／切り方	32
2 パソコンやネットワークに接続する	34
LAN ケーブル接続の場合	34
プリンタ USB ケーブル接続の場合	37
パラレルケーブル接続の場合	39
第 3 章 オプションを取り付ける	
1 取り付け可能なオプションとご注意	42
取り付け可能なオプション	42
取り付け時のご注意	46
2 プリンタ RAM モジュールの取り付け	47
取り付け	47
取り外し	50
3 拡張給紙ユニットの取り付け	51
取り付け	52
取り外し	58
第 4 章 日常の操作	
1 用紙をセットする	60
用紙をセットする向きについて	60
給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする	62
A4 SEF より大きい用紙をセットするとき	65
給紙トレイに用紙をセットする	68
はがきをセットする	71
封筒をセットする	73
2 印刷する	76
プリンタの状態確認（ポップアップ）	78
3 印刷を中止する	79
パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき）	79
オペレータパネルから中止する	80
4 トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項	82
トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する	82
トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管	94
トナーカートリッジ寿命およびドラムカートリッジ寿命について	95
カスタムモードについて	95
5 プリンタを清掃する	97
給紙カセットの用紙送りローラを清掃する	97

給紙トレイの用紙送りローラを清掃する	101
電源プラグについて	104
6 プリンタを長時間使用しないとき	105
7 プリンタを移動するとき	107
近くに移動する	107
梱包して運搬する	109

第5章 オペレータパネルの操作

1 各部の名称と機能	112
用紙サイズスイッチからの操作方法	114
装置情報スイッチで確認できる項目	114
2 液晶ディスプレイの表示内容	115
電源を入れたときの表示内容	115
オンライン（印刷できる状態）時の表示内容	115
節電モード	118
3 操作方法	119
基本的な操作方法	119
設定項目一覧	123
4 代表的な設定項目とその操作方法	133
設定の一覧印刷	133
テスト印刷（印字率約 5% サンプル）	134
IP アドレスの設定	135
TCP/IP の動作確認	139
給紙トレイからの印刷	141
セキュリティに関する設定	145

第6章 使用できる用紙と保管方法

1 使用できる用紙	148
給紙方法と用紙のサイズ	148
使用できる用紙の種類	150
2 使用できない用紙	154
3 用紙保管上のご注意	156

第7章 こんなときには

1 紙詰まりになったとき	158
紙詰まり発生時の状態と発生場所	158
前カバー [A] での紙詰まり	162
用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く	169
後カバー [B] での紙詰まり	171
給紙カセットでの紙詰まり	173
給紙トレイでの紙詰まり	176
2 故障かなと思ったとき	178
3 印刷品質が低下したとき	183
4 メッセージ一覧	191
オペレータパネルに表示されるメッセージ	191
Windows 画面に表示されるメッセージ一覧	205

第8章 付録

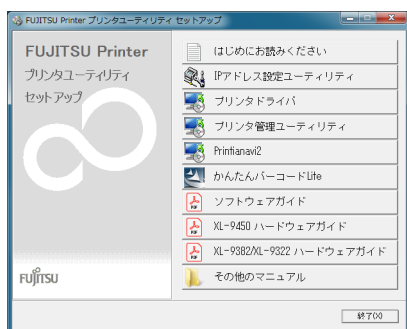
1 仕様	216
本体仕様	216
インターフェース仕様	220
2 オプション品一覧	223
3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について	224
4 サプライ品一覧	226

5	推奨用紙	227
6	用紙の印刷方向と印刷可能領域について	228
	印刷方向	228
	印刷可能領域	229
7	アフターサービスについて	232
	本製品の廃棄について	233
	本マニュアルで紹介している URL について	233
8	安全データシート	234
	LB322 トナー（ブラック）	234
	LB322 シリーズ 現像剤（ブラック）	239

このマニュアル以外の情報は添付 CD-ROM 内のマニュアルをご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、添付の⑨「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」内にあるその他のマニュアルをご覧ください。

⑨「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると表示される「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」画面でご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルおよびマニュアルが格納されたフォルダーが表示されます。



※ 表示されるメニューは、お使いの OS により異なります。
また、ソフトウェアのバージョンアップなどにより変更になる場合があります。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

本製品の耐用期間（寿命）は、次のいずれか早いほうです。

- ・ 180 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF）換算 / 片面印刷）
「LEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.60）をご覧ください。
- ・ 5 年（8 時間 / 日）

詳しくは、「本体仕様」（→ P.216）をご覧ください。

重要

- ・ 耐用期間は、プリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
- ・ 用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF 頻度などにより耐用期間までの印刷枚数が減少します。
- ・ A4 サイズより長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4LEF 印刷時の半分程度が目安となります。
- ・ 600K 交換キット（定期交換部品）を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が 60 万ページ（1 度、交換した場合は 120 万ページ）になります。
- ・ 本製品は国際エネルギースタープログラムバージョン 3.0 に対応のため、プリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」になっています。
主に「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「便利な機能」タブにある「印刷面」の設定を「片面」に変更してお使いください。

サプライ品（消耗品）について

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正サプライ品をお使いください。

非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は次のようになります。

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	10 万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット」で交換
用紙搬送ローラキット	
給紙トレイ搬送ローラキット	
転写ローラキット	
600K 交換キット	60 万ページ印刷を目安に「600K 交換キット」で装置寿命まで 2 回交換

[注] 上記は、A4 サイズ横送り（□LEF）換算／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF 頻度などにより印刷枚数が減少します。

重要

- ・本製品は国際エネルギースタープログラムバージョン 3.0 に対応のため、プリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」になっています。
主に「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「便利な機能」タブにある「印刷面」の設定を「片面」に変更してお使いください。

サポート OS について

本製品がサポートしている OS は、Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 です。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。

プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。



プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

冷却ファンについて

冷却ファンは、機内冷却のため回転したままになることがあります。冷却ファン回転中は、電源を切ったり、電源プラグを引き抜いたりしないでください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- ・このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- ・機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	内容
	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM を表しています。

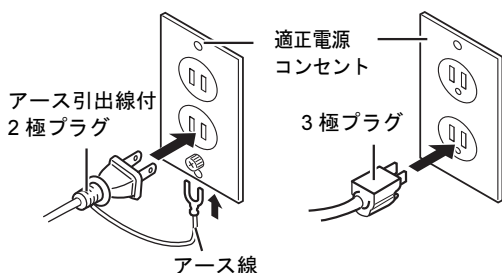
製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019	Windows
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows 10	
Windows 10 Home 32 ビット版		
Windows 10 Pro 64 ビット版		
Windows 10 Pro 32 ビット版		
Windows 10 Enterprise 64 ビット版		
Windows 10 Enterprise 32 ビット版		
Windows 10 Education 64 ビット版		
Windows 10 Education 32 ビット版		
Windows 8.1 64 ビット版	Windows 8.1	
Windows 8.1 32 ビット版		
Windows 8.1 Pro 64 ビット版		
Windows 8.1 Pro 32 ビット版		
Windows 8.1 Enterprise 64 ビット版		
Windows 8.1 Enterprise 32 ビット版		

製品名称	本文中の表記		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012	Windows
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation			
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012（R2 以外）		
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation			
Windows 7 Ultimate 64 ビット版	Windows 7		
Windows 7 Ultimate 32 ビット版			
Windows 7 Enterprise 64 ビット版			
Windows 7 Enterprise 32 ビット版			
Windows 7 Professional 64 ビット版			
Windows 7 Professional 32 ビット版			
Windows 7 Home Premium 64 ビット版			
Windows 7 Home Premium 32 ビット版			
Windows 7 Starter			
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard（64-bit）	Windows Server 2008（R2 以外）		
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard（32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™（64-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™（32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise（64-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise（32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™（64-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™（32-bit）			

電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「アース引出線付 2 極プラグ」と「3 極プラグ」の 2 種類です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。コンセントの形状に合わせてご使用ください。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について



本製品は、IPv6 Ready Logo Phase-2 テストに合格しています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

⚠ 警告

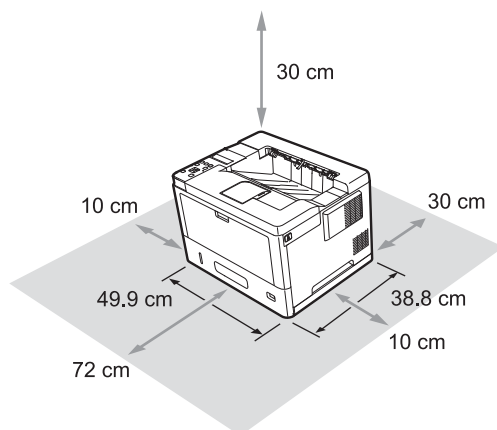


- ・ 次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になります。
 - 火気のある場所
 - ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、高温になる場所
 - アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所
 - 風呂場、シャワー室などの水場、水気のある場所
 - 湿気・ほこり・油煙の多い場所
 - 通気性の悪い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所
 - 温泉地など、硫黄の影響を受ける場所
- ・ プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
 - 花瓶、植木鉢、コップなどの水や液体の入った容器
 - クリップ、アクセサリなどの金属物

⚠ 注意

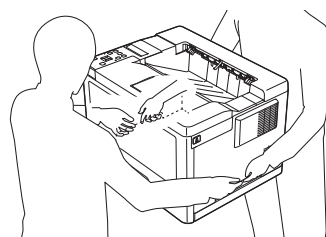


- ・ プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。





- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で約 20.1kg の重さがあります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください(オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、必ず取り外してください)。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ち、ゆっくりと持ち上げてください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。



また、移動するときは足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。

- ・プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体のみで約 20.1kg、最大で約 49.2kg(フルオプション、消耗品含む)の重さがあります。



- ・プリンタの上に物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
- ・プリンタは、水平に移動してください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。



- ・プリンタを移動する場合は、接続ケーブルを抜いた後に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。



- ・給紙カセットを伸ばした状態(A3 用紙などをセットした状態)で、プリンタの前後を持って移動しないでください。
落下によるけがの原因となったり、本製品が破損するおそれがあります。

電源に関するご注意

警告



- ・添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・電源プラグは、交流 100V、15A 以上のコンセントに差し込んでください。本製品の定格電源は 100V、15A です。また、タコ足配線はしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・延長コードは、定格(125V、15A)未満の物は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・UPS など矩形波が出力される機器に接続しないでください。
火災の原因になります。



- ・電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると火災の原因になります。
- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。



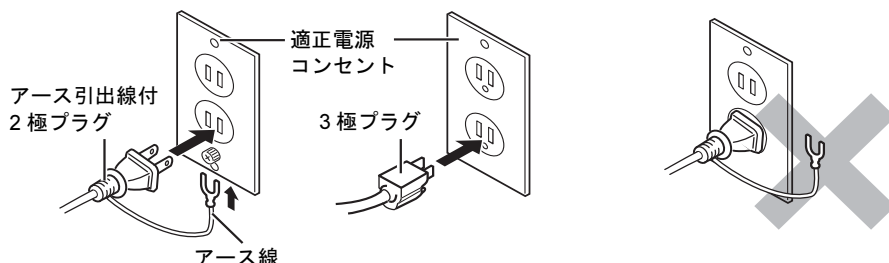
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



- ・ 次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
ガス管（引火や爆発の危険があります。）
電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）



- ・ 電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片などを 850 mm 以上地中に埋めたもの
D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子
- ・ アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。



- ・ オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、接続ケーブルを抜き、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。
- ・ 近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠ 注意



- ・ プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認してください。
電源スイッチを押しても電源をオフにできないときは、4 秒以上電源スイッチを長押しして電源をオフにしてください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。



- ・ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱およびさび、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。



- ・ 長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままだと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。
- ・ プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

⚠ 警告



- ・ プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・ 吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・ カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・ プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



- ・ 次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき
その後「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- ・ プリンタ、オプション品、サプライ品（トナーカートリッジやドラムカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になります。



- ・ トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどや粉じん爆発の原因になります。使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
詳しくは、「使用済みカートリッジの回収サービス」（→ P.232）をご覧ください。

⚠ 注意



- ・ 「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



- ・ 詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
このマニュアルの「紙詰まりになったとき」（→ P.158）をよくご覧ください。
ネクタイやネックレスなどを身に着けている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。また、髪の毛が巻き込まれないよう、注意してください。
鋭利部に触れないよう注意してください。
プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災などの原因になることがあります。
定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。



- ・使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- ・プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があります、けがの原因になることがあります。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、十分な換気を行ってください。



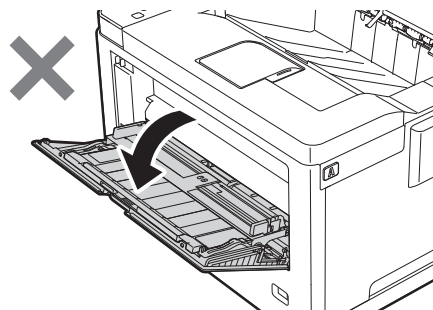
- ・用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。
指をはさみ、けがをする原因になることがあります。
- ・給紙カセットを引き出した状態や、後に延長した状態で、前カバー、後カバーを開ける場合は、給紙カセットと開けたカバーの間に手などをはさまないように注意してください。



- ・トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。
万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。
万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



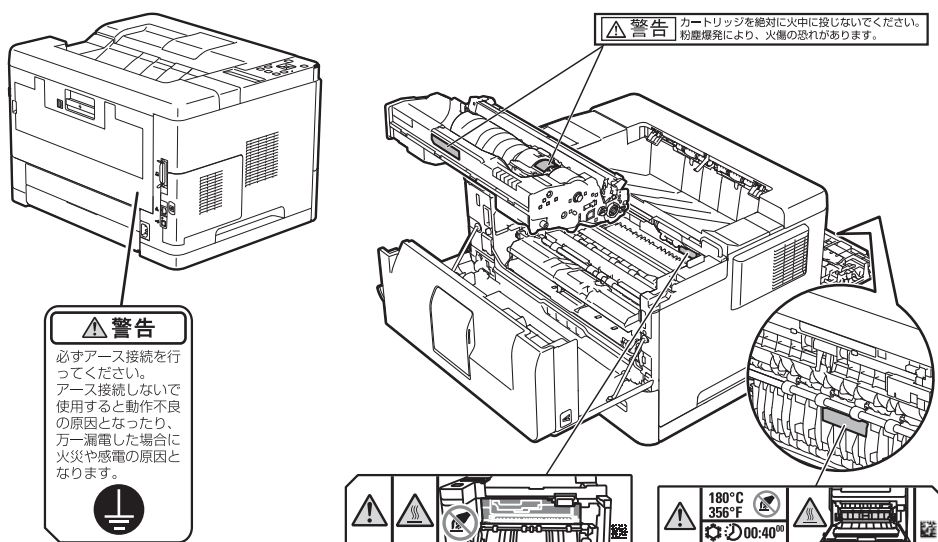
- ・給紙トレイのカバーに必要以上の力をかけたり、物を載せたりしないでください。カバーの破損の原因になります。また、カバーが破損した場合、落下によるけがの原因となるおそれがあります。



警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



商標および著作権について

ウイングアーク 1st、SVF、Report Director Enterprise は、ウイングアーク 1st 株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU CLIENT COMPUTING LIMITED 2019

1

第 1 章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1 本製品の特長	18
2 各部の名称と機能	22

1 本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■省エネの実現

スリープモードの採用により、待機時消費電力 0.35W 以下を実現しています。

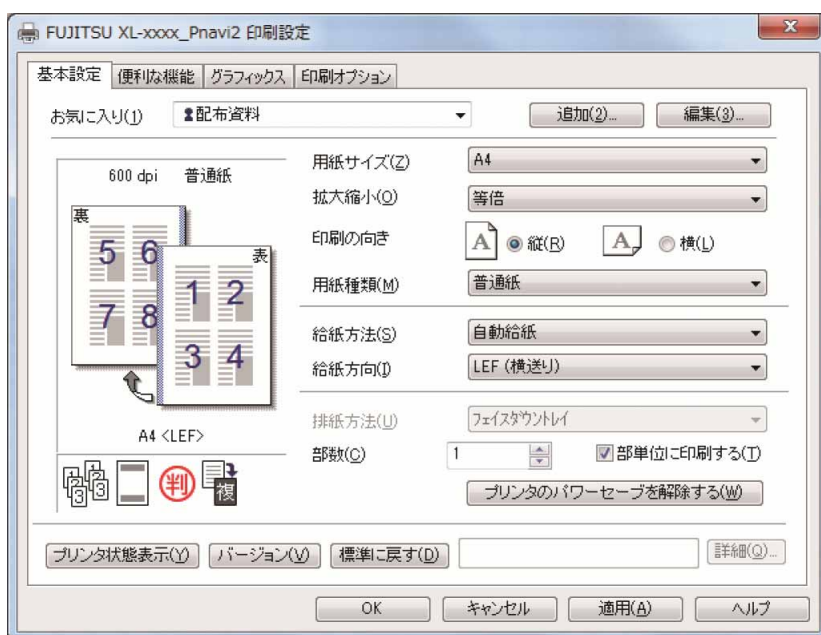
■高速で高品位な印刷

XL-9450 は最大 45 ページ / 分での高速な印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。1200dpi でも同じ速度で印刷が可能です。

■3つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応）の3つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア



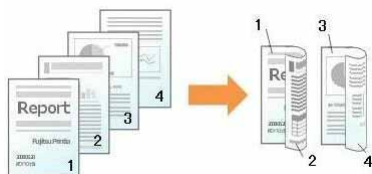
- ・ 拡大／縮小印刷
印刷する用紙サイズに合わせてデータを拡大または縮小して印刷します。
- ・ 部単位印刷
2 部以上印刷をするときに部単位で印刷します。



- ・ お気に入りの設定
よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録できます。
登録した設定は1クリックで呼び出すことができます。
- ・ N-up 印刷
印刷データを1枚に印刷できます。



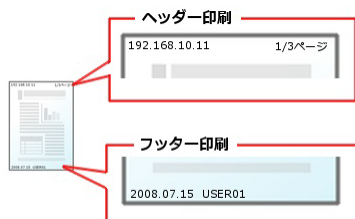
- ・ 両面印刷



重要

本製品は国際エネルギースタープログラムバージョン3.0に対応のため、プリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」になっています。主に「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「便利な機能」タブにある「印刷面」の設定を「片面」に変更してお使いください。

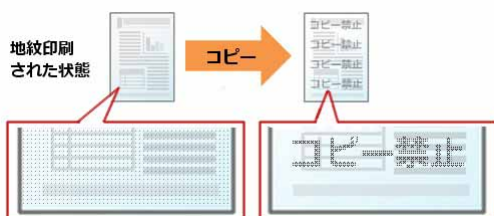
- ・ ヘッダー／フッター印刷



- ・ スタンプ印刷



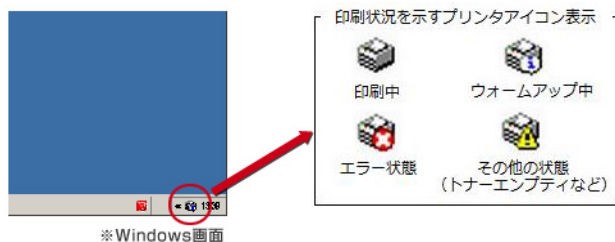
- ・ 地紋印刷



- ・ プリンタ管理ソフト「Printianavi2」



双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を利用することでFUJITSU Printer XL シリーズプリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などの統合的な管理をパソコンで行うことができます。



- ・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■さまざまな用紙サイズに対応

- ・給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。
- ・定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義サイズ（長尺紙を含む）、厚紙（81g/ m²～ 220g/ m²）といった、さまざまな種類の用紙へ印刷することも可能です。

■便利な機能

- ・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です（定形サイズ印刷時のみ）。
- ・給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の用紙への印刷が可能です。

■優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

- ・給紙カセット（標準 1 段 + オプションの拡張給紙ユニットを最大 3 段）を取り付けることができ、給紙トレイを合わせると最大 2300 枚の用紙をセットすることができます。

■次世代通信プロトコル IPv6 に対応

本製品に割り当てられた IPv6 アドレスや、設定したホスト名を用いることによって、対応アプリケーションから IPv6 通信で印刷できます（Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008）。詳しくは、「IPv6 アドレスの場合」（→ P.136）をご覧ください。

■セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。

■E メール送信機能

消耗品や定期交換部品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。Eメールの送信先は 3 つまで設定できます。

■ユーザビリティへの配慮

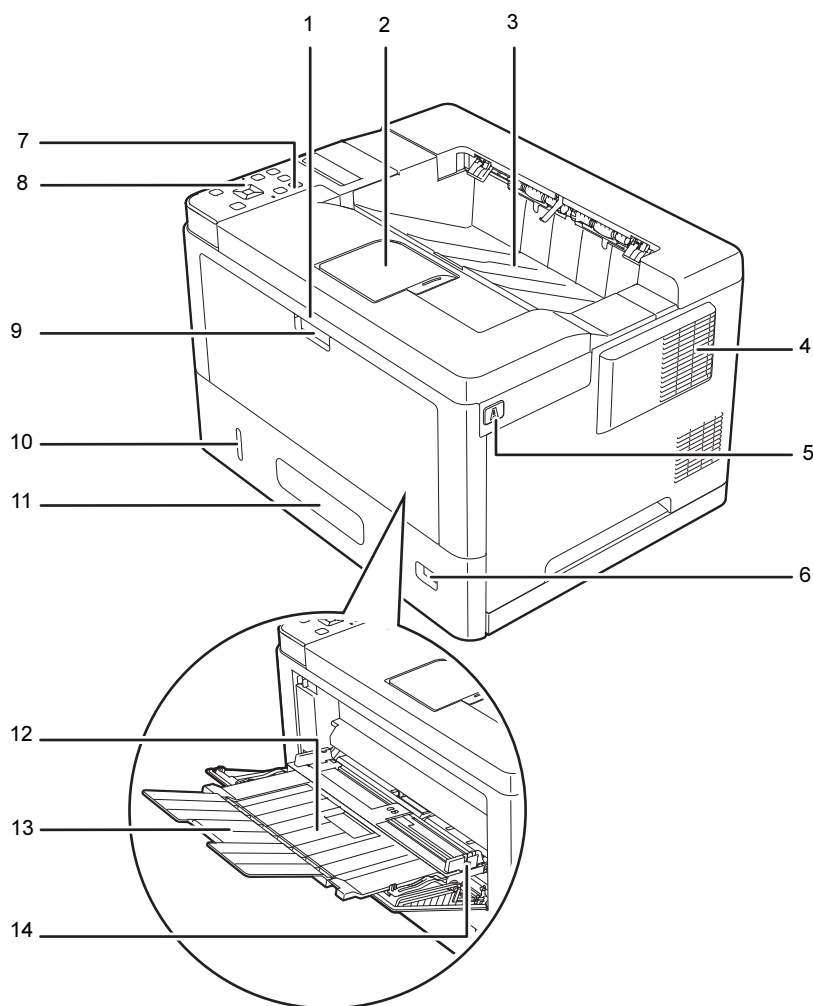
給紙カセットに取っ手を付け、用紙セット時の給紙カセットの抜き差しがしやすくなっています。

■SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアーク 1st 株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタの「機種」を「EPSON ESC/Page」にすることで、本製品への印刷が可能です。

2 各部の名称と機能

前面



1 前カバー

詰まった用紙を取り除くとき、トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開きます。

2 延長排紙トレイ

排紙トレイから用紙が落ちないように開きます。

3 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

4 通風口（吸気）

機械内部の温度上昇を防止します。

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。吸気口をふさがないでください。

5 前カバーオープンボタン [A]

前カバーを開けるときに押します。

6 用紙サイズダイヤル

用紙サイズを設定するときにこのダイヤルを使用します。同時にオペレータパネルからも用紙サイズを設定してください。

用紙サイズの設定方法は「用紙サイズスイッチからの操作方法」(→ P.114)をご覧ください。

オペレータパネルとプリンタドライバで用紙サイズの設定を合わせてください。

用紙サイズダイヤルに表示されていない用紙サイズを使用するときは、ダイヤルを「*」に合わせてオペレータパネルで用紙サイズを指定してください。

7 電源／節電解除スイッチ

電源を入れたり切ったりするときに、または節電モードを解除するときにこのスイッチを押します。

8 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。

詳しくは、「オペレータパネルの操作」(→ P.111)をご覧ください。

表示されるメッセージは、「メッセージ一覧」(→ P.191)をご覧ください。

9 給紙トレイオープン取っ手

給紙トレイを開けるときに手前に引きます。

10 用紙残量インジケータ

給紙カセットの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

11 給紙カセット (カセット 1)

用紙をセットします。用紙は 550 枚 (普通紙) までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、「使用できる用紙」(→ P.148)をご覧ください。

12 給紙トレイ

用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。使用できる用紙サイズや用紙種類については、「使用できる用紙」(→ P.148)をご覧ください。

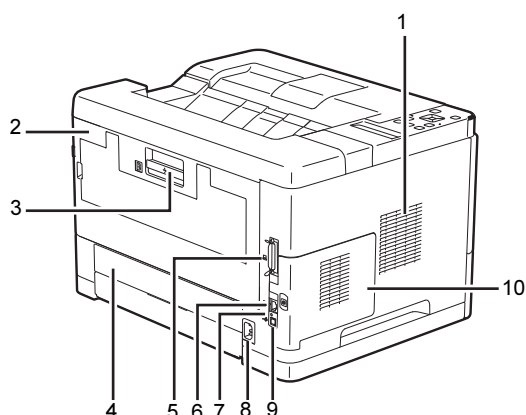
13 給紙トレイ延長ガイド

長い用紙をセットするときに引き出します。

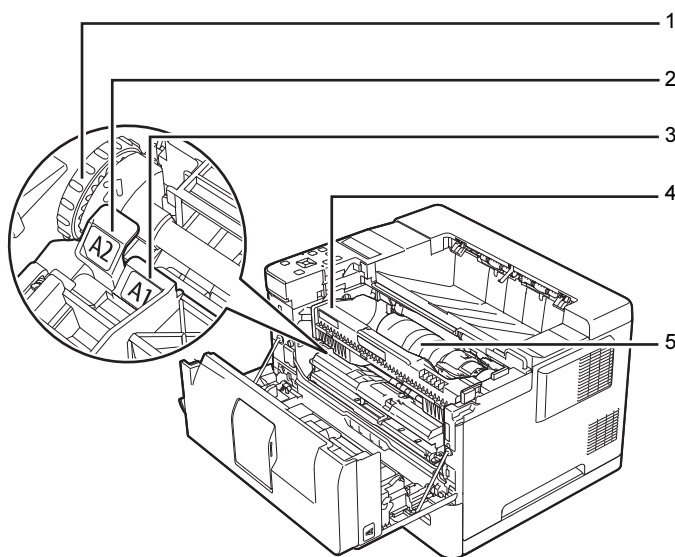
14 用紙ガイド

給紙トレイに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

背面



- 1 通風口（吸気）**
プリンタ内部の温度上昇を防止します。
- 2 後カバー**
詰まった用紙を取り除くときに開けます。
- 3 後カバーオープンボタン [B]**
後カバーを開けるときに押します。
- 4 給紙カセットカバー**
給紙カセットの延長部を引き出したときに、ちりやほこりの用紙への付着を防ぎます。
- 5 パラレルケーブルコネクタ**
プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。
- 6 LAN ケーブルコネクタ**
プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
- 7 リンクランプ確認穴**
LAN のリンクランプを確認するための穴です（点灯時が正常です）。
- 8 電源コードコネクタ**
電源コードを差し込むコネクタです。電源コードの片方は、コンセントに差し込みます。
- 9 プリンタ USB ケーブルコネクタ**
プリンタとパソコンを USB ケーブルで接続するためのコネクタです。
- 10 メモリカバー**
プリンタ RAM モジュール（オプション）を取り付けるときに、このカバーを取り外します。



1 緑ノブ

詰まった用紙を取り除くときに回します。

2 搬送カバー [A2]

詰まった用紙を取り除くときに開けます。

3 給紙カバー [A1]

詰まった用紙を取り除くときに開けます。

4 ドラムカートリッジ

感光ドラム、現像部などで構成されているユニットです。ドラムカートリッジを交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。詳しくは「トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項」（→ P.82）をご覧ください。

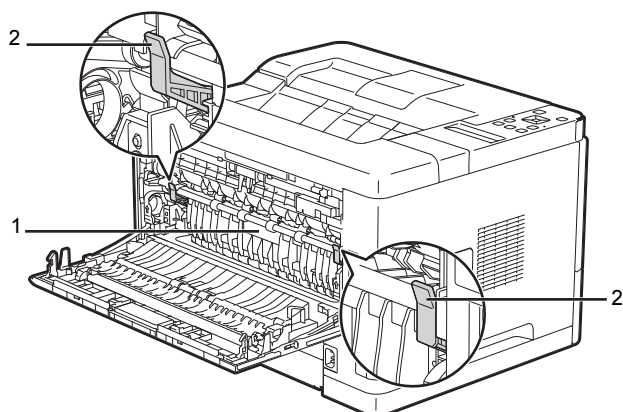
5 トナーカートリッジ

トナーが入っています。トナーカートリッジを交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。詳しくは、「トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項」（→ P.82）をご覧ください。

POINT

- ・ 詰まった用紙を取り除くときは、ドラムカートリッジごとに取り外してください。トナーカートリッジを交換する場合など、トナーカートリッジだけ取り外すときは、右側にあるトナーカートリッジのロックレバーを奥側にカチッとするまで倒してロックを解除して取り外します。

本体内部（背面）



1 定着器

用紙にトナー定着させる機構です。プリンタ使用時は高温になっているので手を触れないように注意してください。定着器の交換が必要なときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。

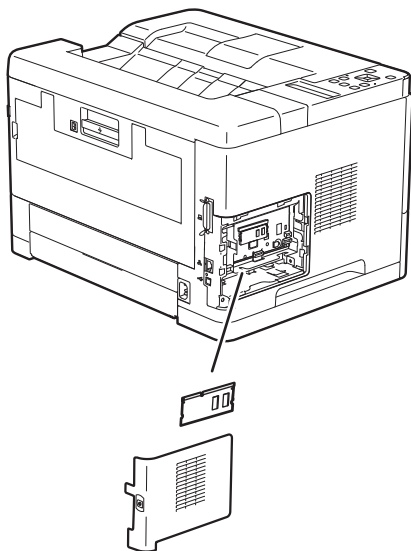
2 定着レバー（緑色）

用紙が詰まったときは、両側にある緑色のレバーを下げ、詰まっている用紙を取り除きます。



・定着器左右の緑色のレバーは、通常上げた状態で使用してください。

内部に取り付けるオプション



1 プリンタ RAM モジュール

プリンタ RAM モジュールを増設できます。取り付けについては、「プリンタ RAM モジュールの取り付け」（→ P.47）をご覧ください。

2

第 2 章

プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

1 設置時の注意事項	28
2 パソコンやネットワークに接続する	34

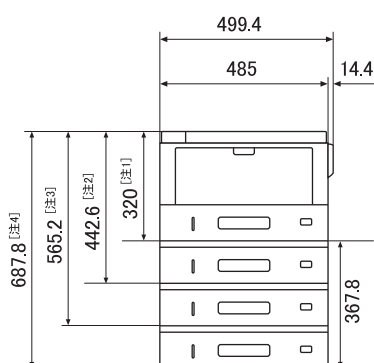
1 設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

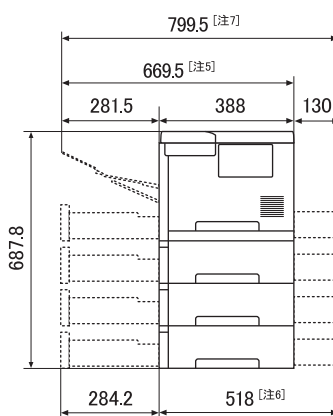
本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。
また、設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.10)をご覧ください。

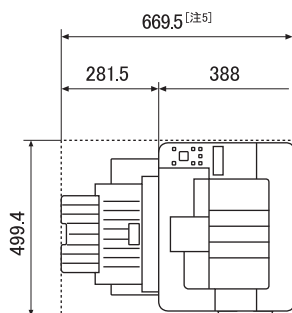
■正面図



■側面図



■上面図



- 注1: 標準構成時
- 注2: 拡張給紙ユニットを1段搭載時
- 注3: 拡張給紙ユニットを2段搭載時
- 注4: 拡張給紙ユニットを3段搭載時
- 注5: 給紙トレイを開いて使用したとき
- 注6: 給紙カセットを延長時
- 注7: 給紙カセットを延長、給紙トレイを開いて使用したとき

設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」(→ P.10) と共に、次の点に注意して設置してください。

- ・ ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度：10～32℃、湿度：15～85%RH

また、いつも良い状態でご使用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：15～25℃、湿度：30～70%RH です。

温度 32℃ のときは湿度 62.5%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28℃ 以下でご使用ください（ただし、結露しないこと）。

冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンタ本体の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

- ・ サーバー接続などにより本製品の 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。

また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

- ・ 本製品を前後左右に 1° 以上傾けないでください。

画質障害の原因となります。

- ・ 本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。

斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。

- ・ ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。

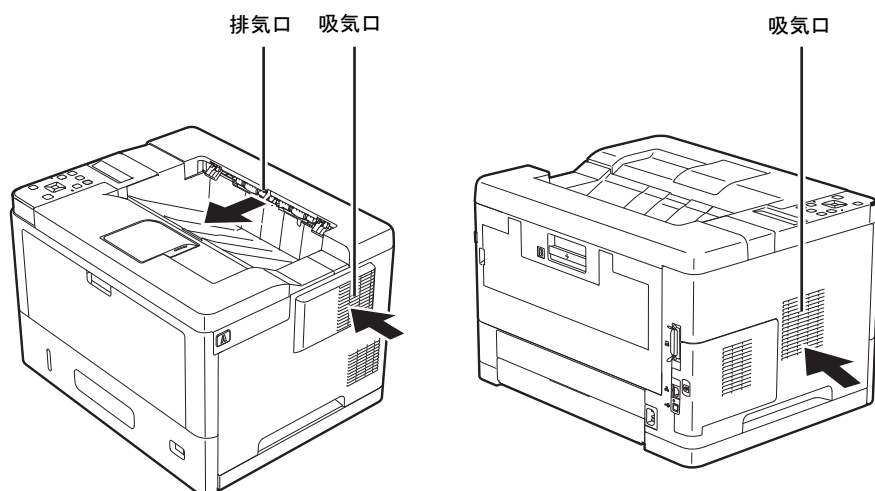
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を換えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。

- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

- ・ 化学薬品や油・ガスを使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。

- ・ 電源コードやインターフェースケーブルの上に、本製品や他の物を載せないでください。

- ・本製品の左右の側面には吸気口があります。
吸気口をふさがないように、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.10) をご覧ください。



- ・本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
- ・移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくとう便利です。

[超音波加湿器をご使用のお客様へ](#)

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水をご使用ください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り付け時

⚠ 注意



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用の純正品を取り付けてください。非純正品のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けると、画質不良だけでなく、プリンタ本体の誤作動や故障の原因となる場合があります。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- ・直射日光や強い光に当てないでください。
- ・ドラムカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- ・ドラムカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
- ・感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
- ・衝撃を与えないでください。

電源コード接続時 ・ 電源投入時

⚠ 警告



- ・ 電源コードを接続するときは、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯し、電源が切れていることを確認します。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。



- ・ アース引出線付2極プラグを使用する場合は、アース線を、必ず次のいずれかに接続してください。

電源コンセントのアース線端子

銅片などを850 mm以上地中に埋めたもの

D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子

- ・ 危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。

ガス管（引火や爆発の危険があります。）

電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）

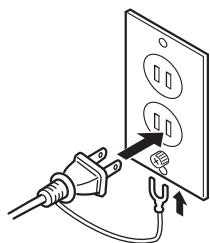
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）



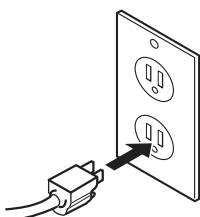
- ・ プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

本製品の電圧定格値は、AC100Vです。

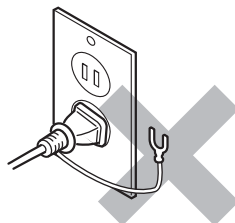
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



2極コンセントの場合



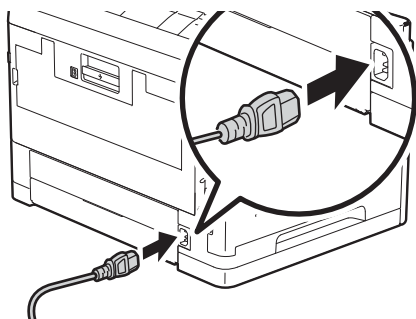
3極コンセントの場合



電源の入れ方／切り方

電源の入れ方

- 1 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込みます。



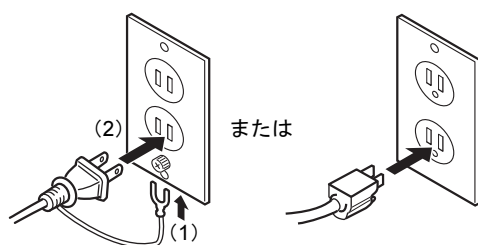
重要

- ・ 電源コードは、奥までしっかり差し込んでください。給紙カセットを抜き差しするときなどに電源ケーブルが抜ける原因になります。
- ・ 給紙カセットを延長してお使いの場合は、電源ケーブルがカセットに接触しないように注意してください。

- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

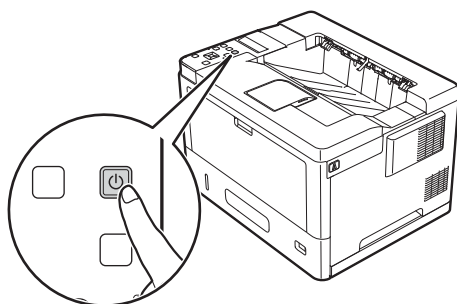
本製品の定格電源は、100V、15A です。

2 極コンセントを利用する場合は、(1) アース接続を行ってから (2) 電源プラグを差し込んでください。



- 3 電源 / 節電解除スイッチ () を押します。

オペレータパネルの各ランプが点灯します。



POINT

- ・新しいドラムカートリッジをセットした場合は、印刷可能状態になるまで約2分半～3分の時間がかかりますが、そのまましばらくお待ちください。

電源の切り方

⚠ 注意

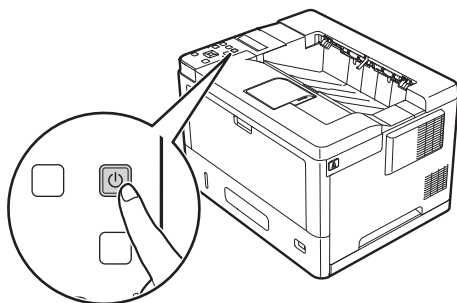


- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

👉 重要

- ・電源を切るときは、電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押し続けしないでください。電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押し続けると電源が強制的に切れるため、メモリが破損して故障の原因になることがあります。
- ・電源プラグを抜く前に、オペレータパネルの電源ランプが消灯したことを確認してください。
- ・動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- ・電源が切断されない場合は電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を4秒以上押し続けてください。オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDがすべて消灯し、電源が切れていることを確認してください。

1 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押します。



2 リセットスイッチ「Y」を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

電源OFFしますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

👉 重要

- ・連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・電源 / 節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。

2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

POINT

- ・ 接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
 - ・ LAN ケーブルで接続
インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
 - ・ パラレルケーブル／プリンタ USB ケーブルで接続
1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をお勧めします。
- ・ サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- ・ 本製品は、パラレル／USB／LAN ケーブルを同時に接続できます。
接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(→ P.36) もあわせてご覧ください。

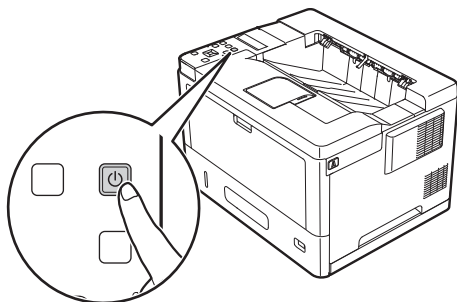
LAN ケーブル接続の場合

本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとシールドツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

通信速度	利用できる LAN ケーブル
1000Base-T	エンハンスドカテゴリ 5 以上に対応したシールドツイストペアケーブル
100Base-TX	カテゴリ 5 以上に対応したシールドツイストペアケーブル
10Base-T	カテゴリ 3 以上に対応したシールドツイストペアケーブル

また、「LAN 接続時の注意事項」(→ P.36) もあわせてご覧ください。

1 電源 / 節電解除スイッチ () を押して、プリンタの電源を切ります。



2 リセットスイッチ「Y」を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

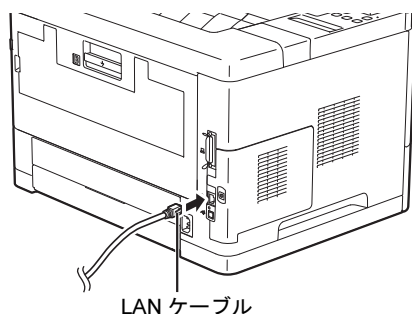
電源OFFしますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

重要

- ・ 連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。
- ・ オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。
- ・ オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯したことを確認してください。

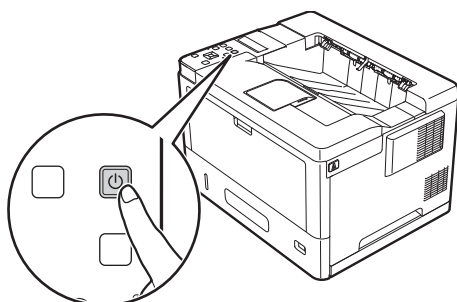
3 LAN ケーブルを背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。



4 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルの各ランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.157) をご覧ください。



この後は、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

- ・ LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。
- ・ IPv4 アドレスは、⑨「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」に格納されている「IP アドレス設定ユーティリティ 2」から設定するか、オペレータパネルから直接設定することができます。「IP アドレス設定ユーティリティ 2」については『ソフトウェアガイド』を、オペレータパネルの操作方法については「オペレータパネルの操作」(→ P.111)をご覧ください。
- ・ IPv6 アドレスは、「リンクローカルアドレス」「グローバルアドレス」の 2 種類の IPv6 アドレスの設定ができます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法があります。IPv6 アドレスの設定方法については「IPv6 アドレスの場合」(→ P.136)をご覧ください。

LAN 接続時の注意事項

- ・ LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかったり、印刷速度が低下したりすることがあります。

このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選択できます(本製品の「10Mbps」は「10Mbps Half」を意味します)。本製品のオペレータパネルのメニューモードで、「初期設定」→「LAN 設定」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」(→ P.119)をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。

- ・ ハブユニットに STP (スパニングツリープロトコル) の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ・ ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ケーブル長 100m のシールドツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のシールドツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「お問い合わせ窓口」(→ P.232)にご相談ください。
ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。

A8の例	A7の例	A6の例
SER.NO.000001 DATE:2007-5 A8-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 A7-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 A6-0123456789

該当するものに消し線(=)が付けられます。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバープリンタとして動作すると共に、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。

複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ・ ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・ 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。

- ・「Printianavi2」および「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、複数台のうちの 1 台が印刷中のときは、残りのパソコンには「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージが表示されます。
- ・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。
- ・ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」(→ P.123) の「ポート設定」の「タイムアウト時間」をご覧ください。

重要

- ・印刷中は、プリンタのケーブルを抜き差ししないでください。

プリンタ USB ケーブル接続の場合

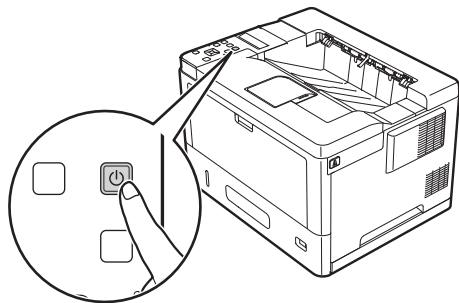
USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。

なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」(→ P.45) をご覧ください。

重要

- ・お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
 - ・ Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 R2/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧ください。プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
 - ・ Windows Server 2012 (R2 以外) /Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
プリンタ USB ケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧ください。プリンタドライバをインストールしてください。
- ・パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）の USB ハブのコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
- ・USB ケーブルを接続している場合、節電モードのスリープには移行しません。

1 電源 / 節電解除スイッチ (🔌) を押して、プリンタの電源を切ります。



2 リセットスイッチ「Y」を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

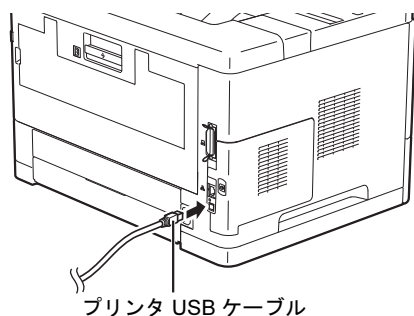
電源OFFしますか (Y, N) ?
リセットSW→Y オンラインSW→N

重要

- ・ 連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。
- ・ オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。
- ・ オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯したことを確認してください。

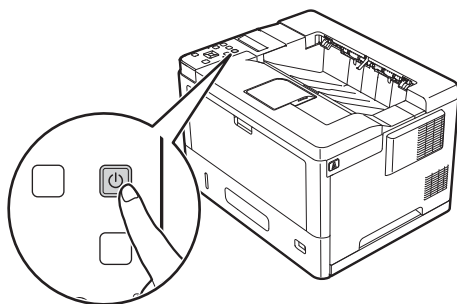
3 プリンタ USB ケーブルを、背面の USB ケーブルコネクタに差し込みます。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



4 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルの各ランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.157) をご覧ください。



パラレルケーブル接続の場合

⚠ 警告



- ・パラレルケーブルを接続または取り外すときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠ 注意



- ・接続時はこのマニュアルをよく読み、間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因になることがあります。

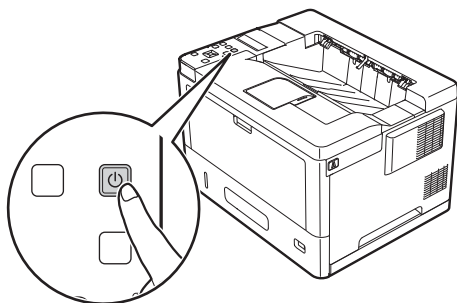
👉 重要

- ・お使いの OS により、パラレルケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
- ・ Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 R2/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧ください、プリンタドライバをインストールしてから、パラレルケーブルを接続してください。
- ・ Windows Server 2012 (R2 以外) /Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
パラレルケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧ください、プリンタドライバをインストールしてください。
- ・パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・印刷中にパラレルケーブルを抜き差ししないでください。
- ・パラレルケーブルを接続している場合、節電モードのスリープには移行しません。ただし、接続しているパソコンが低消費電力モードに移行している場合は、「スリープ」に移行します。

🔍 POINT

- ・パラレルケーブル接続時の環境は、次のとおりです。
- ・パソコン：双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
- ・本製品には、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタケーブル」(→ P.45) をご覧ください。

1 電源 / 節電解除スイッチ (🔌) を押して、プリンタの電源を切ります。



2 リセットスイッチ「Y」を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

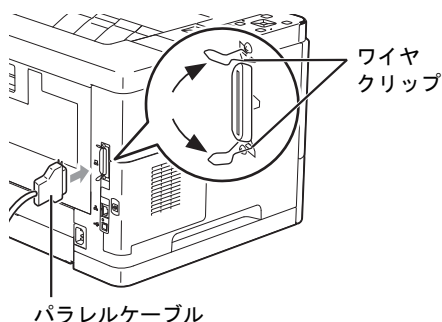
電源OFFしますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

重要

- ・ 連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。
- ・ オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。
- ・ オペレータパネルの液晶ディスプレイやLED が消灯したことを確認してください。

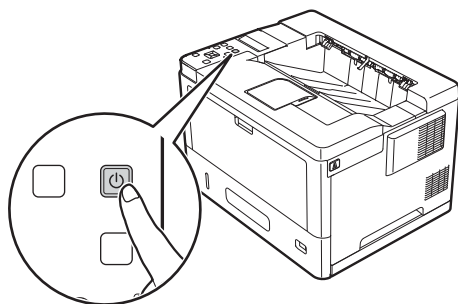
3 パラレルケーブルを背面のパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



4 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルの各ランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.157) をご覧ください。



5 パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

3

第 3 章

オプションを取り付ける

本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュールおよび拡張給紙ユニットがあります。この章では、これらのオプションの取り付け方法を説明します。

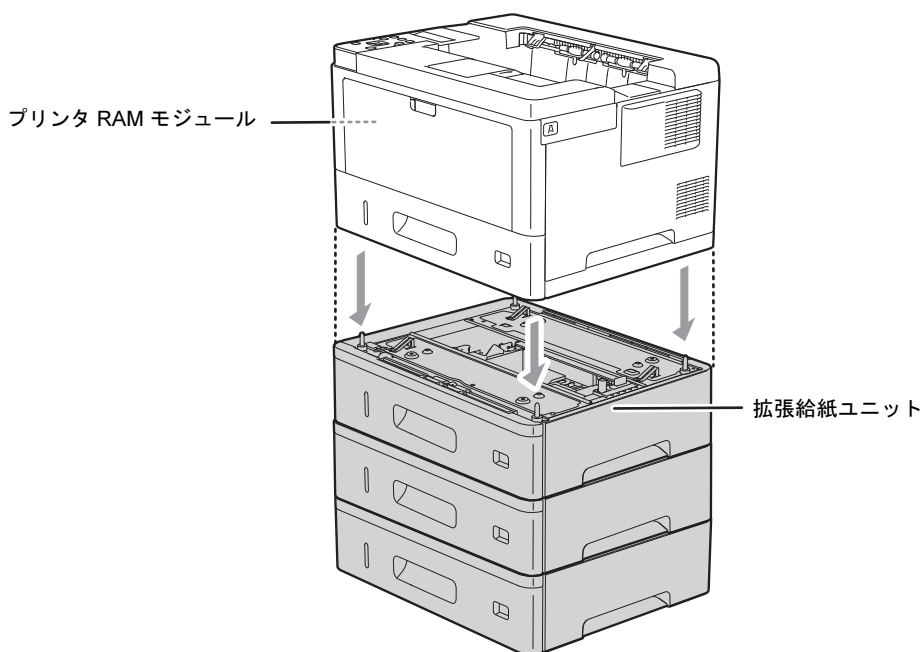
1	取り付け可能なオプションとご注意	42
2	プリンタ RAM モジュールの取り付け	47
3	拡張給紙ユニットの取り付け	51

1 取り付け可能なオプションとご注意

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

取り付け可能なオプション

本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>) でご確認ください。



重要

- ・ オプション品は必ず、指定のものをご使用ください。
指定以外のオプション品をご使用いただく場合、プリンタの動作保証は一切致しかねますのでご注意ください。

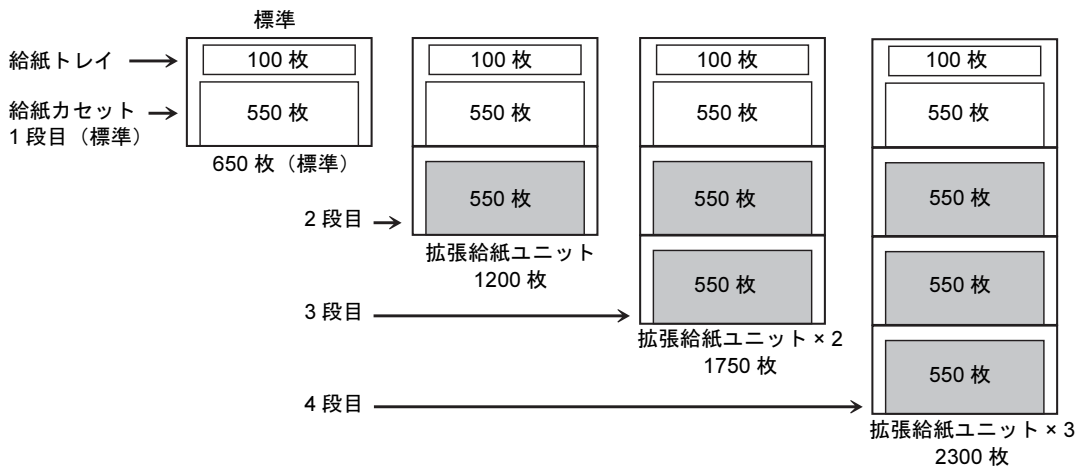
拡張給紙ユニット

2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF55MJ	収容枚数は約 550 枚（64g/ m ² の用紙の場合）です。 （給紙カセット添付）

■ 取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1 段目（標準）の給紙カセットと合わせて、次の取り付け形態を選択できます。



POINT

- 異なるサイズ of 用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、給紙しているカセットより下の段であれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

プリンタ RAM モジュール

本製品に内蔵します。プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。プリンタに転送されるデータサイズが 35MB 以上の文書を部単位印刷する場合は、プリンタ RAM モジュールを増設することをお勧めします。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール - 256MB	XL-EM256MD	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

■ プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

プリンタ RAM モジュールの有無により、印刷できる用紙サイズが異なります。搭載量と印刷可能範囲の対応は、次の表のとおりです。

用紙サイズ / 解像度 (dpi)	128MB (プリンタ RAM モジュールなし)						384MB (プリンタ RAM モジュールあり : 256MB)					
	片面			両面			片面			両面		
	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200
A3 SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
B4 SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
リーガル SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
A4 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レター SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レター LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A4 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B6 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B6 LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
A6 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はがき LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
はがき SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
往復はがき SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
往復はがき LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒洋形長 3 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒洋形長 3 号 LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒洋形 2 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—

用紙サイズ / 解像度 (dpi)	128MB (プリンタ RAM モジュールなし)						384MB (プリンタ RAM モジュールあり : 256MB)					
	片面			両面			片面			両面		
	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200
封筒洋形 2 号 LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒洋形 4 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒洋形 4 号 LEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒長形 3 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒長形 4 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
封筒角形 2 号 SEF	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—
ユーザ定義 サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長尺紙	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—

○：どのデータも確実に印刷できます。

▲：データの内容によっては、印刷できない場合があります（プロテクトモード使用時は印刷できません）。

—：印刷できません。

解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。

接続インターフェースに応じて、パラレルケーブル、またはプリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていないので、次の別売ケーブルをお使いください。

■パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。 (1.5m)

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。(1.5m)

重要

- ・プリンタケーブルは、次の長さのシールドケーブルをお使いください。
 - ・パラレルケーブル：1.5m 以下
 - ・プリンタ USB ケーブル：5m 以下

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

警告



- ・オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意



- ・オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

重要

- ・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

2 プリンタ RAM モジュールの取り付け

プリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外し方法は次のとおりです。
なお、本作業にはコインなどが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

⚠ 警告



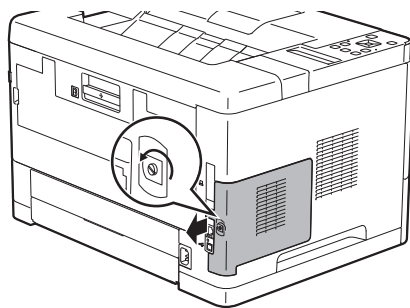
- ・ プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源が入っている場合、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れたことを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

👉 重要

- ・ 静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- ・ 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- ・ モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・ モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分には、手を触れないでください。

取り付け

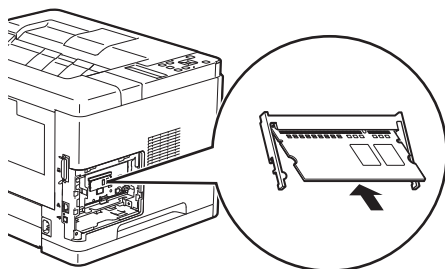
- 1 ネジをコインなどで緩めてから、メモリカバーをスライドして外します。



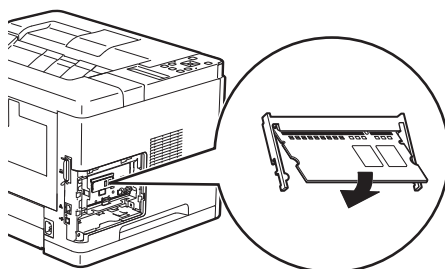
- 2 コネクタの溝に合わせて、プリンタ RAM モジュールをゆっくりと差し込みます。

3 向きに注意して差し込みます。

プリンタ RAM モジュールの金色の端子がほとんど見えなくなるまで押し込んでください。



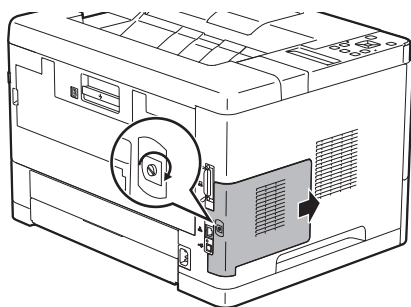
4 カチッと音がするまで、プリンタ RAM モジュールを矢印の方向に押し倒し、固定します。



重要

- ・ プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分に注意してください。

5 メモリカバーをスライドして取り付け、ネジをコインなどで締めます。



動作確認

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認してください。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

詳しくは、「電源の切り方」(→ P.33) をご覧ください。

重要

- ・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。
- ・オペレータパネルの液晶ディスプレイやLED が消灯したことを確認してください。

2 オペレータパネルのリセットスイッチを押しながら、電源スイッチを押して、プリンタの電源を入れます。

POINT

- ・液晶ディスプレイが点灯したら、すぐにスイッチを離してください。

3 オペレータパネルの表示が次のように変化することを確認します。

1. 標準 RAM (RAM1) のチェックが開始された後、増設後の RAM モジュール (RAM2) のチェックが開始されます。

■標準 RAM のチェック開始

RAM1 チェック 00%

■増設 RAM モジュールのチェック開始

RAM2 チェック 00%

2. RAM モジュールチェック後、増設後の RAM 容量 (384MB) が表示されることを確認します。

Fujitsu XL-XXXX
Version xx.xx xxxMB

3. ファームがロードされ、「オンライン」と表示されることを確認します。

ファーム・ロード中
XXXXXXXX

オンライン

「オンライン」と表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。

次のメッセージが表示された場合は、電源を切り、RAM モジュールを取り付け直してください。

9101 拡張メモリエラー
メモリ交換

その他のメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。

重要

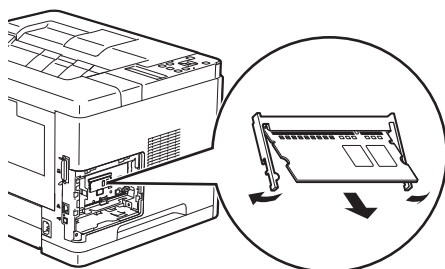
- ・ プリンタ RAM モジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

取り外し

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・ 電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。
- ・ パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。
- ・ 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。

2 左右のレバーを開いてロックを外し、プリンタ RAM モジュールを下の方 向へ引き抜きます。



メモ리카バーの取り付け、取り外し方法は、「取り付け」(→ P.47) をご覧ください

3 拡張給紙ユニットの取り付け

拡張給紙ユニットの取り付け、取り外し方法は次のとおりです。

本製品に取り付けることができる拡張給紙ユニットは、拡張給紙ユニット（A3 ユニバーサル・550 枚）があります。

本製品には、最大 3 段まで取り付けることができます。

警告



- ・ 拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れたことを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

注意



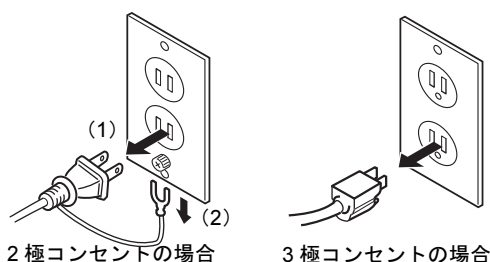
- ・ 拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
- ・ 拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・ プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- ・ 本製品は、用紙が入っていない状態で約 20.1kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動するときに足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
- ・ 取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

取り付け

ここでは、拡張給紙ユニットを2段（給紙カセット2～3）を取り付ける場合を例にしています。本製品には、最大3段まで取り付けることができます。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

(1) (2) の順で抜いてください（差し込むときは逆の順序）。

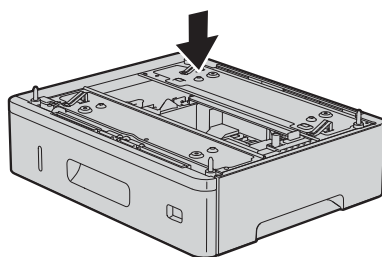


2 プリンタ背面からすべてのケーブルを抜きます。

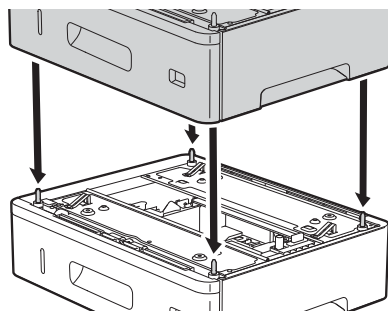
3 拡張給紙ユニットから保護材を取り外します。

4 一番下になる拡張給紙ユニットを設置場所に置きます。

拡張給紙ユニットを1段だけ取り付ける場合は、手順13に進みます。

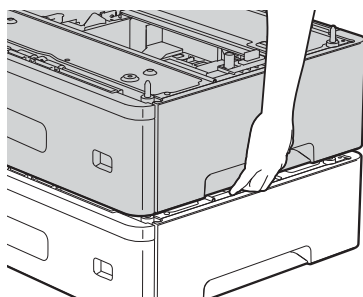


5 上下の拡張給紙ユニットの角を合わせ、下段の拡張給紙ユニットのガイドピン4ヶ所が上段の拡張給紙ユニットの底面にある穴に入るように静かに下ろします。

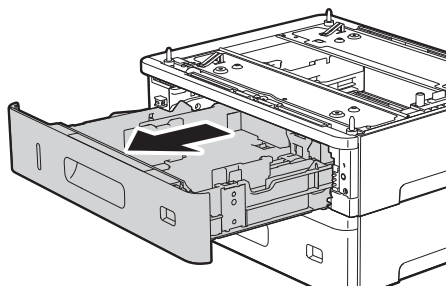


重要

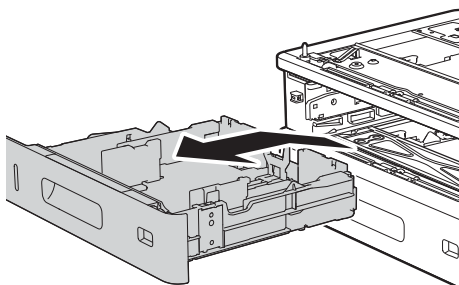
拡張給紙ユニットを下ろすときに、指をはさまないようにご注意ください。



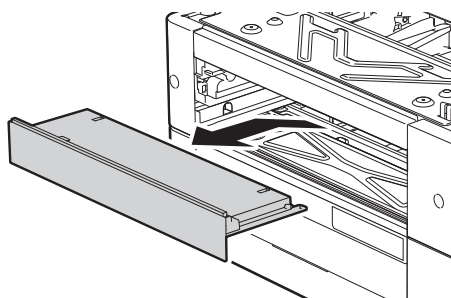
- 6** 上段の給紙カセットの取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと引き出します。



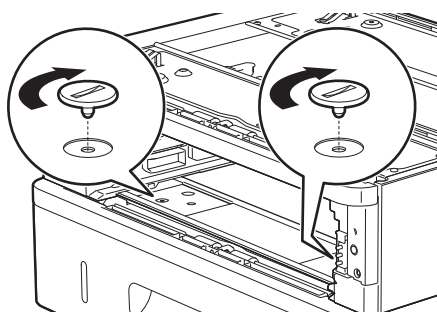
- 7** 給紙カセットの両側を両手で支え、給紙カセットの手前側を少し上げて引き抜きます。



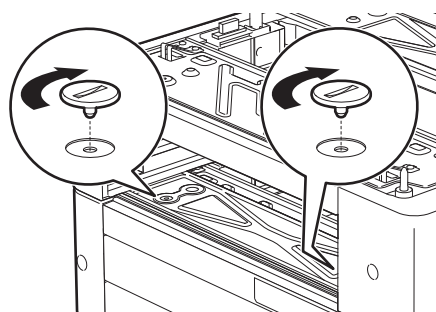
- 8** 上段の拡張給紙ユニットの背面側から給紙カセットカバーの手前側を持ち上げて取り外します。



- 9** 上段の拡張給紙ユニットに添付のネジ 4 個をコインなどで締め、上段の拡張給紙ユニットを下段の拡張給紙ユニットに固定します。



正面側

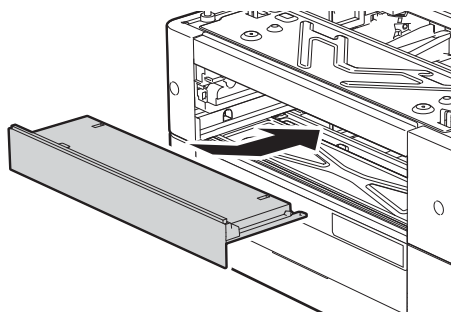


背面側

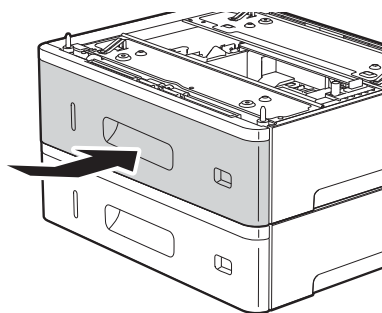
- 10** 給紙カセットカバーを拡張給紙ユニットに取り付けます。

給紙カセットカバーは、先に取り付けてください。

給紙カセットをセットした状態では、給紙カセットカバーを取り付けることができません。



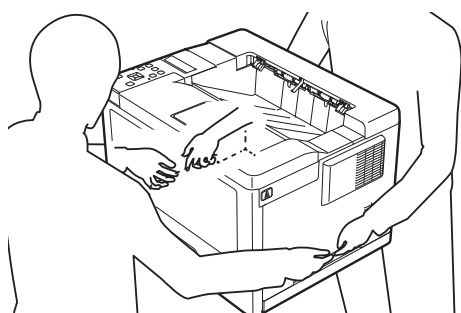
- 11** 拡張給紙ユニットに給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



- 12** さらに拡張給紙ユニットを取り付ける場合は、手順 5 ～手順 11 を繰り返します。

13 プリンタの両側面にある運搬用の取っ手を持ち、2人以上でゆっくりと持ち上げて拡張給紙ユニットまで水平に運びます。

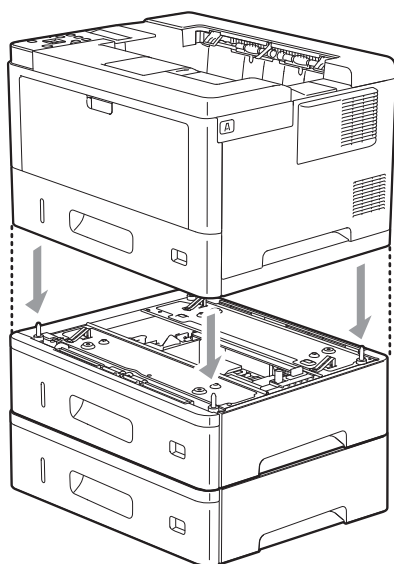
プリンタを持ち上げるときは、給紙トレイの部分や給紙トレイの下側を持たないでください。



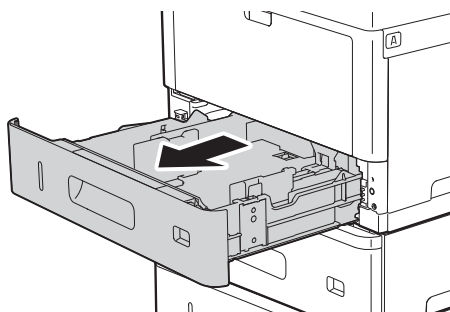
14 拡張給紙ユニットのガイドピン 4ヶ所がプリンタ底面の穴に入るようにゆっくりと下ろします。

重要

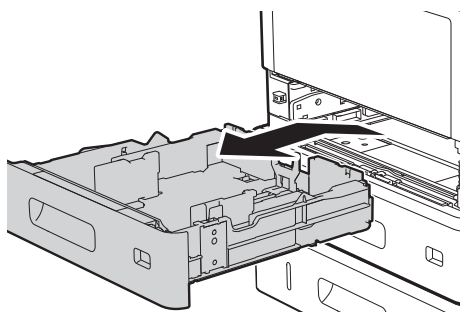
- ・ プリンタを下ろすときに、指をはさまないようご注意ください。



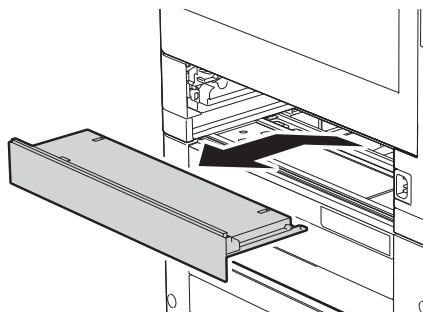
- 15** 給紙カセット1の取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと引き出します。



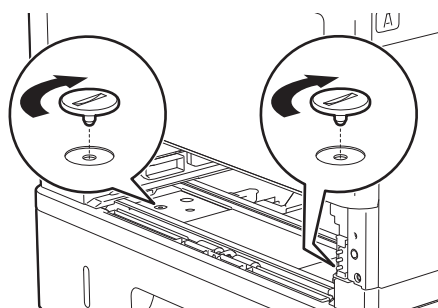
- 16** 給紙カセット1の両側を両手で支え、給紙カセットの手前側を少し上げて引き抜きます。



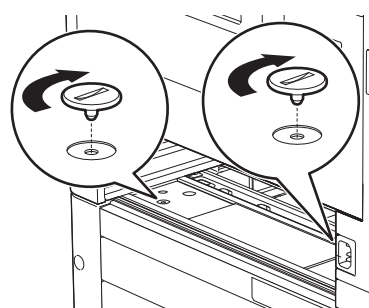
- 17** 給紙カセットカバーの手前側を持ち上げて取り外します。



- 18** 拡張給紙ユニットに添付のネジ 4 個をコインなどで締め、プリンタ本体と拡張給紙ユニットを固定します。



正面側

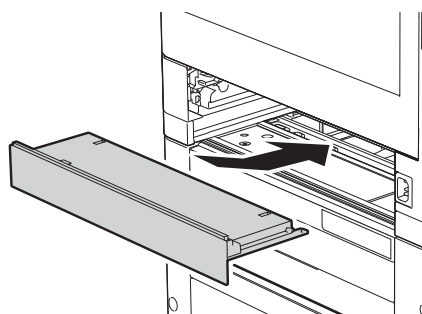


背面側

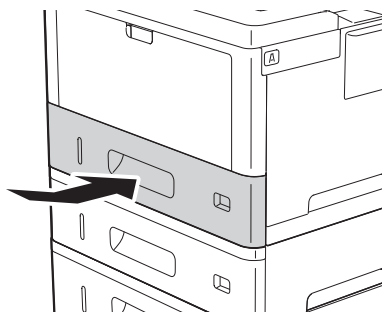
- 19** 給紙カセットカバーを手前側に持ち上げて、プリンタ本体に取り付けます。

給紙カセットカバーは、先に取り付けてください。

給紙カセットをセットした状態では、給紙カセットカバーを取り付けることができません。



- 20** プリンタ本体に給紙カセット 1 の手前側を持ち上げて差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



- 21** 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。

重要

- ・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

- ・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、プリンタの電源投入後に次のいずれかの操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
- ・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「節電中」のときに、装置情報スイッチを押した後、「◀」「▶」スイッチのいずれかを押します。
オペレータパネルの液晶ディスプレイ下段の、「装着数」と表示されている部分を確認してください。

拡張給紙ユニット
装着数:2

拡張給紙ユニットを1段取り付けたときは「1」、2段取り付けたときは「2」、3段取り付けたときは「3」と表示されます。「0」と表示されている場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。

確認後は、オペレータパネルの電源/節電解除スイッチ (⏻) 以外のいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「節電中」に戻ります。

- ・設定の一覧 (→ P.133) を印刷し、「システム情報」欄の給紙口情報を確認してください。
取り付けた段数に応じて、次のように印刷されます。印刷されない場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
- ・1段取り付けたとき: 「カセット1 = (用紙サイズ)」 「カセット2 = (用紙サイズ)」
- ・2段取り付けたとき: 「カセット1 = (用紙サイズ)」 「カセット2 = (用紙サイズ)」 「カセット3 = (用紙サイズ)」
- ・3段取り付けたとき: 「カセット1 = (用紙サイズ)」 「カセット2 = (用紙サイズ)」 「カセット3 = (用紙サイズ)」 「カセット4 = (用紙サイズ)」

取り外し

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯し、電源が切れていることを確認します。
- ・パラレルケーブル、LANケーブル、およびプリンタUSBケーブルを外します。
- ・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。

重要

- ・電源/節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・電源/節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源/節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。

2 「取り付け」 (→ P.52) と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。

4

第 4 章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、日常的な操作について説明します。

1 用紙をセットする	60
2 印刷する	76
3 印刷を中止する	79
4 トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項	82
5 プリンタを清掃する	97
6 プリンタを長時間使用しないとき	105
7 プリンタを移動するとき	107

1 用紙をセットする

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

重要

- ・ 角形 2 号、洋形長 3 号（SEF）以外の封筒、長尺紙は、給紙トレイから印刷してください。給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。詳しくは「給紙トレイに用紙をセットする」（→ P.68）をご覧ください。
- ・ 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。

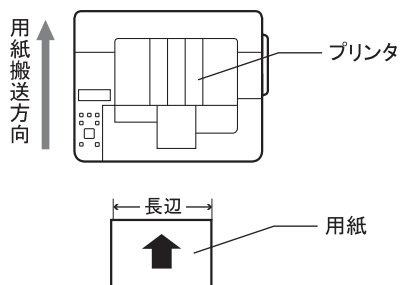
POINT

- ・ 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。また、給紙トレイについても、異なるサイズの用紙を同時にセットすることはできません。

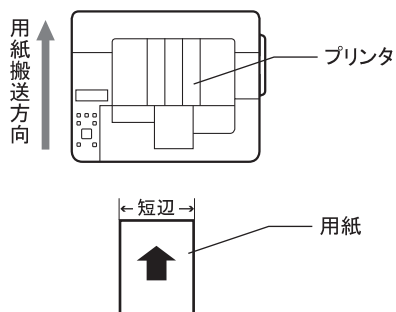
用紙をセットする向きについて

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットするときは、用紙を「横送り」または「縦送り」されるように置きます。

- ・ 「横送り」とは、用紙の長辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「LEF（Long Edge Feed の略）」とも表記されます。



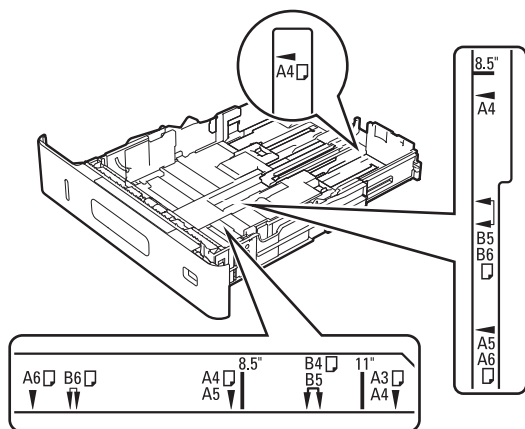
- ・ 「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」とも表記されます。



用紙サイズと送り方向の刻印

給紙カセットや給紙トレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となる刻印が付いています。この刻印は、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦／横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。

本製品では、サポートしていない用紙サイズの刻印があります。使用できる用紙サイズについては、「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.148) をご覧ください。



- ・  は、縦送り ( SEF) を示します。用紙は、縦置きでセットしてください。
- ・  がないものは、横送り ( LEF) を示します。用紙は、横置きでセットしてください

POINT

- ・ このマニュアルでは、A4 サイズの用紙を「横送り」と「縦送り」で区別して説明する箇所ので、次のように表記します。
 - ・ 横送り：「A4 サイズ横送り ( LEF)」
 - ・ 縦送り：「A4 サイズ縦送り ( SEF)」
- ・ 横送り ( LEF) のほうが高速に印刷できます。
- ・ 排紙のカールが大きい、または両面印刷時に紙詰まりしやすい場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」(トナーの定着温度を少し低くする設定) にすることで、改善される場合があります。また、A4 サイズであれば LEF と SEF を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

用紙ごとのセット方向

用紙ごとのセット方向は次のとおりです。

セット方向	用紙サイズ
横送り ( LEF)	A4、A5、B5、B6、レター、はがき、往復はがき、ユーザ定義サイズ
縦送り ( SEF)	A4、A3、B4、レター、B5、A5、B6、A6、はがき、往復はがき、リーガル、長尺紙、ユーザ定義サイズ

注：給紙カセットに用紙サイズの刻印がない用紙サイズ(給紙方向)をお使いになる場合はカセットに用紙をセットしてから、用紙ガイドの縦ガイド、横ガイドを合わせてください。

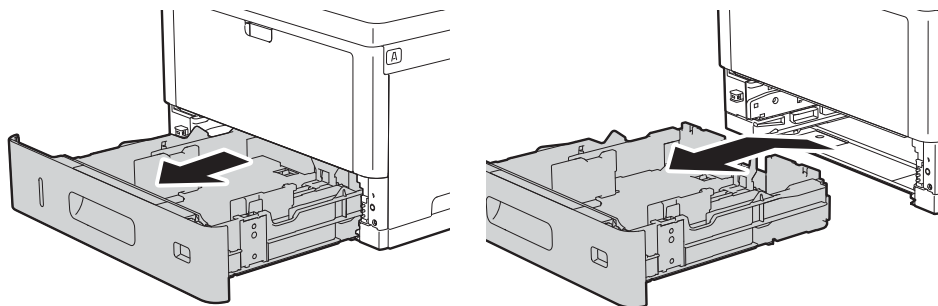
※ 長尺紙は給紙トレイのみ

給紙カセット、 拡張給紙ユニット（オプション） に用紙をセットする

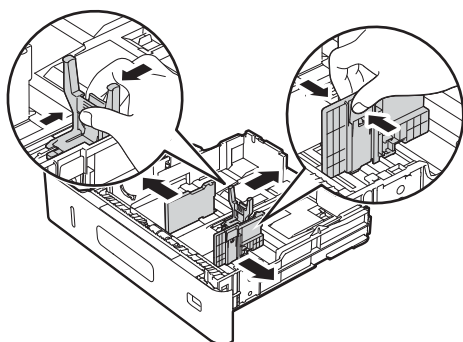
ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順を説明します。

- 1 給紙カセットの取っ手の部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。

給紙カセットは平らな場所に置いてください。



- 2 横ガイドと縦ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

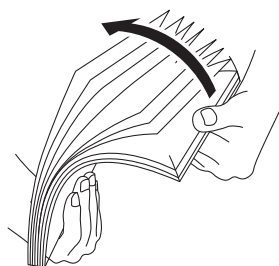


重要

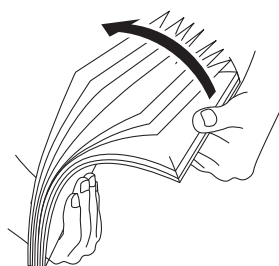
用紙ガイドのクリップは、必要以上の力で操作しないでください。

3 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

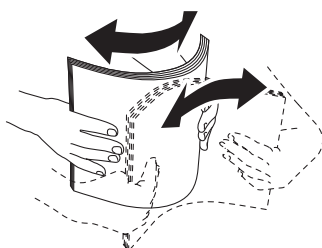
1. 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。



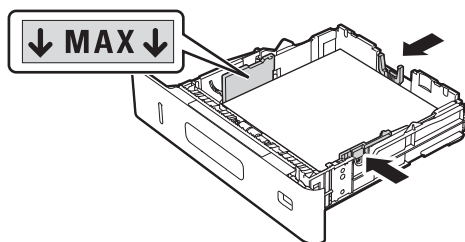
3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返します。
5. 用紙の端を揃えます。

4 印刷する面を下にして、用紙の先端を手前側に揃えてセットします。

横ガイドの上限マーク位置を超えないようにしてください。



POINT

- ・給紙カセットに A4  より大きい用紙をセットするときは、給紙カセットの延長部を引き出してください。引き出し方法は、「A4 SEF より大きい用紙をセットするとき」(→ P.65) をご覧ください。

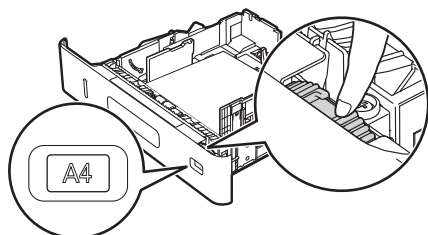
5 横ガイドと縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙端部が入り、紙詰まりや用紙折れの原因になります。

6 セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。



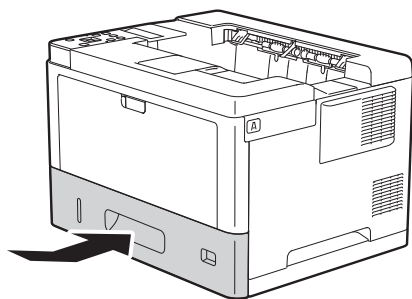
イラストはA4 横送り (□LEF) の場合

用紙サイズダイヤルで設定できる用紙は次のとおりです。

- ・「A4」、「B5」、「A5」は、横送り (□LEF)
- ・「A3□」、「B4□」、「A4□」は、縦送り (□SEF)
- ・用紙サイズダイヤルに表示のない、用紙サイズ・用紙送り方向、ユーザ定義サイズは、用紙サイズダイヤルを「*」に合わせオペレータパネルのメニューモード「印刷設定」(→ P.119)、または「用紙サイズスイッチからの操作方法」(→ P.114) で、お使いになる用紙を設定してください。

7 手前側を持ち上げた状態から給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。

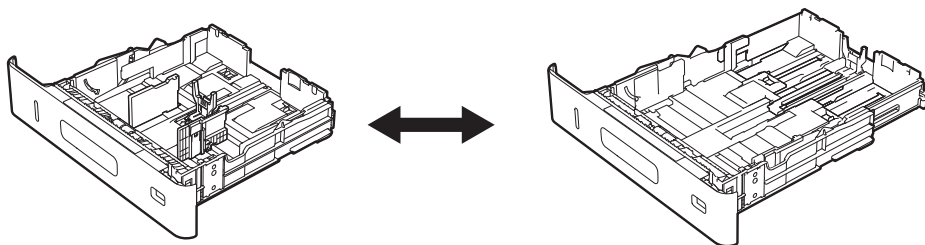


重要

勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて紙詰まりとなったり、装置破損の原因となったりします。

A4 SEF より大きい用紙をセットするとき

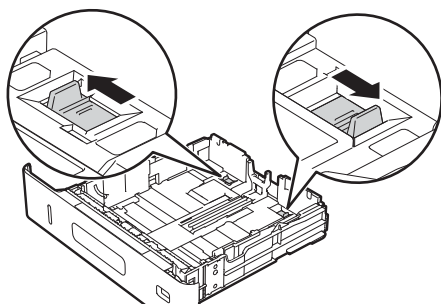
給紙カセットに A4 より大きい用紙をセットするときは、給紙カセットの延長部を引き出してください。



1 給紙カセットを完全に引き抜きます。

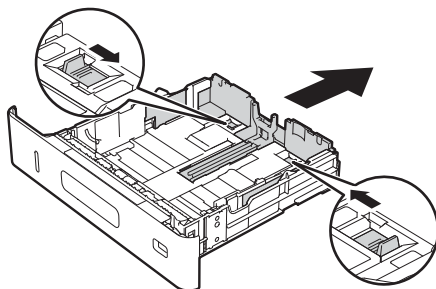
詳しくは、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 1（→ P.62）をご覧ください。

2 延長部の左右のロックを外側にスライドさせてロックを解除します。

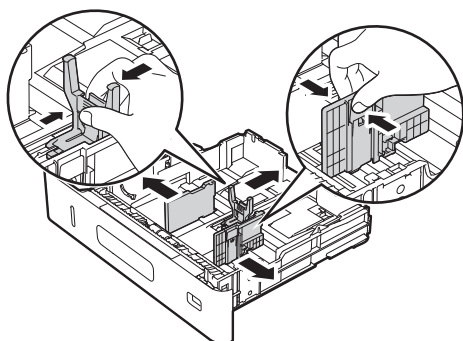


3 用紙の長さに合わせて、給紙カセットの長さを調節します。給紙カセットの長さを変更する場合は、手順 2 で解除したロックが自動的にかかるまで、引き伸ばします。

延長部がきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



- 4** 横ガイドと縦ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

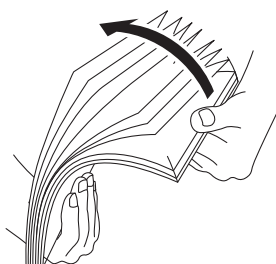


重要

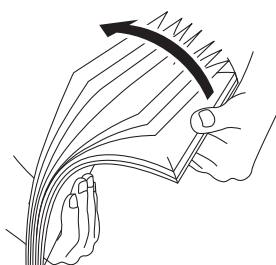
用紙ガイドのクリップは、必要以上の力で操作しないでください。

- 5** 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

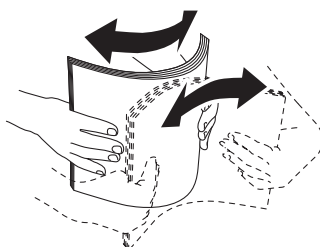
1. 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。



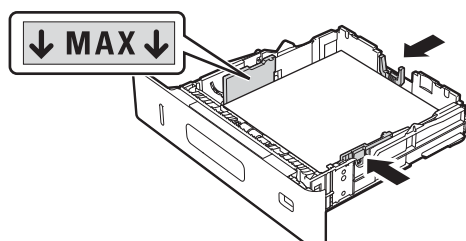
3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返します。

5. 用紙の端を揃えます。

- 6** 印刷する面を下にして、用紙の先端を手前側に揃えてセットします。
横ガイドの上限マーク位置を超えないようにしてください。



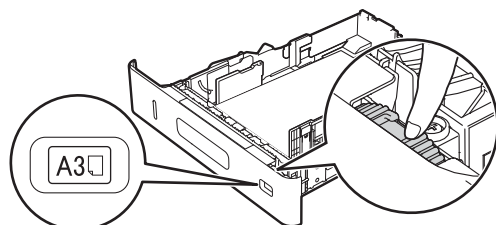
- 7** 横ガイドと縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙端部が入り、紙詰まりや用紙折れの原因になります。

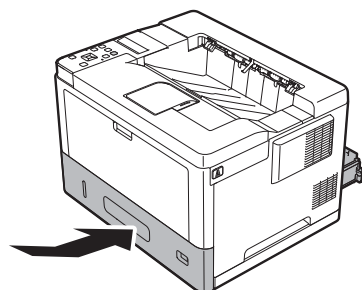
- 8** セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。



用紙サイズダイヤルで設定できる用紙については、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」（→ P.62）の手順 6 をご覧ください。

- 9** 手前側を持ち上げた状態から給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。



POINT

給紙カセットの延長部を伸ばした場合は、延長部分が、プリンタ本体の背面から突き出します。

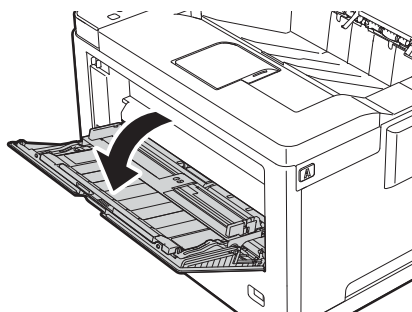
給紙トレイに用紙をセットする

給紙カセットにセットできないサイズや厚さの用紙をセットできます。

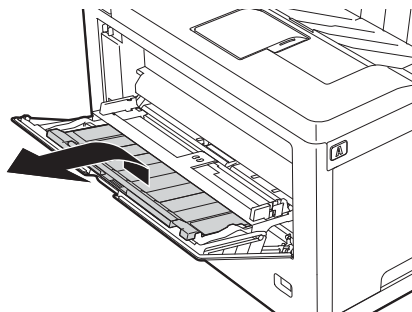
重要

- ・ 用紙サイズの設定方法は、「用紙サイズスイッチからの操作方法」(→ P.114)をご覧ください。
- ・ オペレータパネルとプリンタドライバで用紙サイズの設定を合わせてください。
- ・ 用紙ガイド板の上限位置を超えない量の用紙をセットしてください。紙詰まりの原因になることがあります。
- ・ トレイに異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- ・ A3  より長い用紙は1枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前に使用する用紙で印刷結果を確認してください。

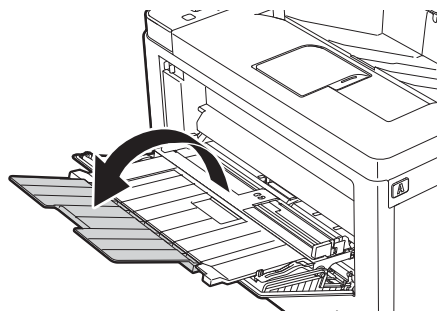
- 1** 給紙トレイ中央の給紙トレイオープン取っ手を手前に引いて給紙トレイを開きます。



- 2** 給紙トレイを浮かせて、引き出します。

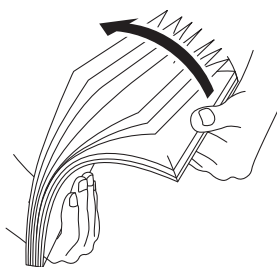


A4□以上の長さの用紙をセットするときは、延長ガイドを開きます。延長ガイドを開くときは、ゆっくりと開いてください。

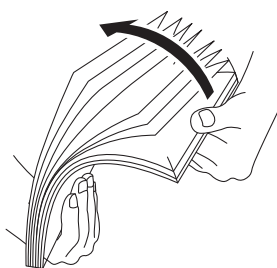


3 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

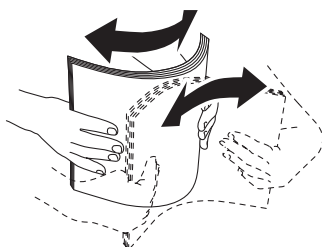
1. 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。

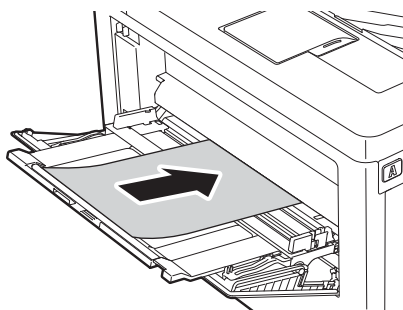


3. 用紙をほぐします。

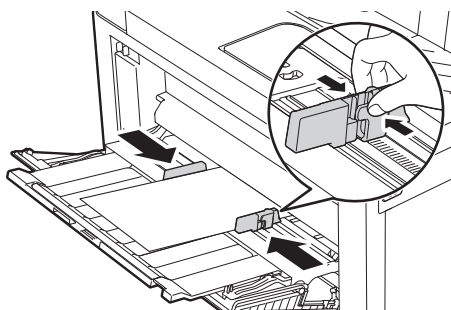


4. 上記の手順を数回繰り返します。
5. 用紙の端を揃えます。

- 4** 印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで用紙を差し込みます。



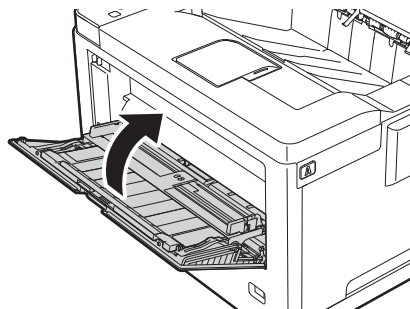
- 5** 用紙ガイドをつまみながら、用紙の幅に合わせます。



POINT

- ・ はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。詳しくは、「はがきをセットする」(→ P.71)をご覧ください。
- ・ 用紙ガイド板の上限位置を超えないようにしてください。
- ・ 用紙ガイドは軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因となります。

- 6** 使用後は、延長ガイドを戻し、給紙トレイを閉じます。

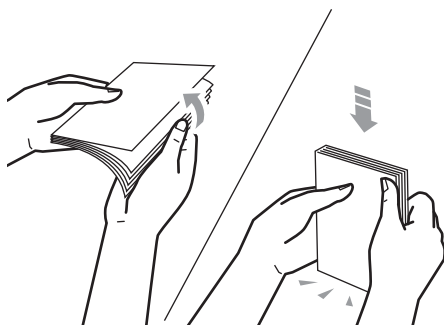


はがきをセットする

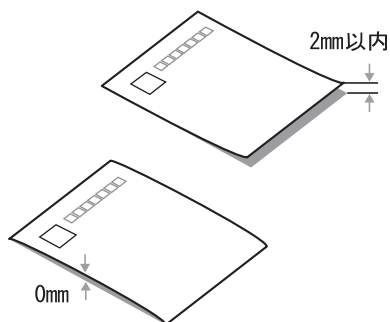
はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

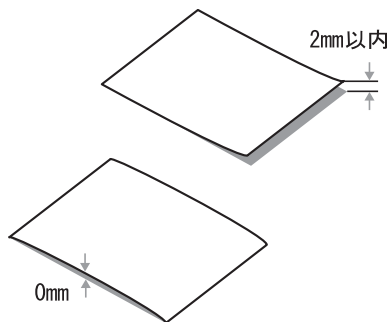
- ・郵便はがきがセットできます。
- ・往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- ・はがきをセットするときは、ばらばらとさばいてから端を揃えてください。



- ・郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出たりすることがあります。セットする前に反りが次の図の範囲になるように直してください。
- ・はがきの表面（宛先記入面）に印刷するとき



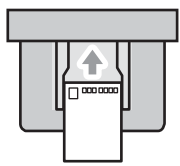
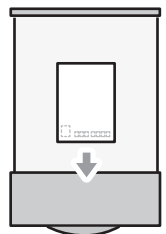
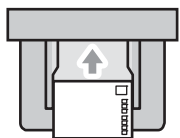
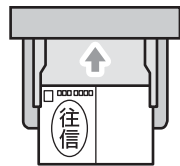
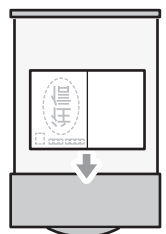
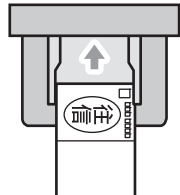
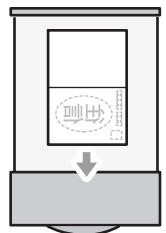
- ・はがきの裏面に印刷するとき



- ・郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、郵便はがきを平らなところに置き、定規などを水平に1～2回動かして、郵便はがきの4辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払ってください。

はがきの種類やセットする向きによって、給紙トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

給紙カセットにセットする方法は、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 4（→ P.63）をご覧ください（はがきは拡張給紙ユニット（オプション）では使用できません）。

はがきの種類と向き	給紙トレイ	給紙カセット 1
郵便はがき  	 ・ はがきの下辺：手前側 ・ 印刷する面：上	 ・ はがきの下辺：奥側 ・ 印刷する面：下
郵便はがき  	 ・ はがきの下辺：左側 ・ 印刷する面：上	—
往復はがき  	 ・ はがきの下辺：手前側 ・ 印刷する面：上	 ・ はがきの下辺：奥側 ・ 印刷する面：下
往復はがき  	 ・ はがきの下辺：左側 ・ 印刷する面：上	 ・ はがきの下辺：左側 ・ 印刷する面：下

POINT

- ・ はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。

封筒をセットする

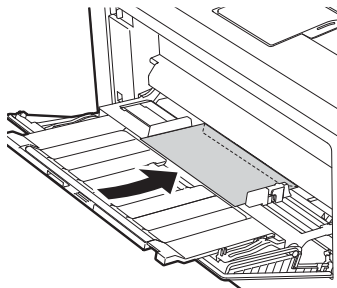
封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- ・ 窓付き封筒は使用しないでください。
- ・ フラップ部に粘着剤、両面テープの付いた封筒は使用しないでください。
- ・ 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙詰まりが起こることがあります。
- ・ フラップ（ふた）を開いた状態でセットしたときは、ユーザ定義サイズを指定してください。
- ・ 購入時よりフラップ（ふた）が閉じられている封筒の場合、フラップ（ふた）を閉じた状態でセットし、封筒のサイズを指定して印刷できます。ただし、フラップ（ふた）を給紙カセット1の奥側にセットするときは、フラップ（ふた）を開いてください。
- ・ 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っていたり曲がっていたりするときは、鉛筆や定規で上向きの反りが 2mm 以内、下向きの反りが 0mm になるように直してからセットしてください。

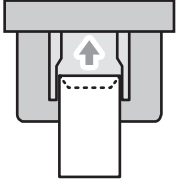
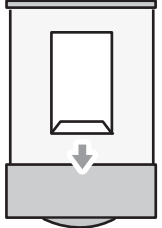
封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

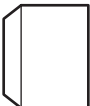
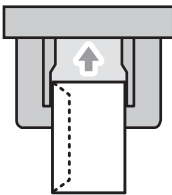
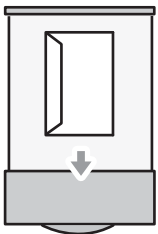
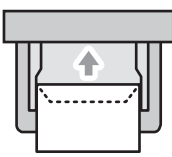
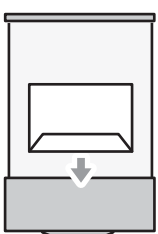
（例）洋長形 3 号 LEF の場合



フラップを閉じて、印刷面を上にして封筒の上辺を奥側にセットします。

封筒のセット方向

封筒の種類と向き	給紙トレイ	給紙カセット 1
角形／長形封筒  [注 1] 	 ・ フラップ：閉じる ・ 封筒の下辺：手前側 ・ 印刷する面：上	 ・ フラップ：閉じる ・ 封筒の下辺：奥 ・ 印刷する面：下

封筒の種類と向き	給紙トレイ	給紙カセット 1
洋形／ 洋長形封筒  [注 1]	 ・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：上	 ・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：下
洋形／ 洋長形封筒  [注 1]	 ・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：手前側 ・印刷する面：上	 ・フラップ [注 2]：閉じる ・封筒の下辺：奥側 ・印刷する面：下

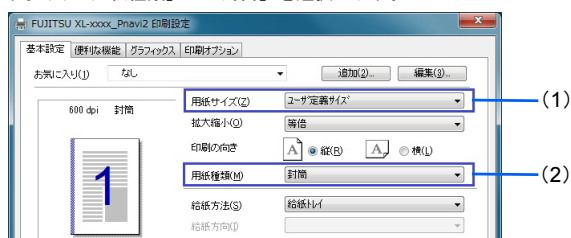
注 1：郵便番号枠付封筒の郵便番号枠に郵便番号を印刷する場合は、印刷する封筒サイズをユーザ定義サイズで指定します（ユーザ定義サイズを選択することで、印刷可能領域以外の部分が上下左右 5mm になるため、郵便番号枠に郵便番号を印刷できます）。

なお、封筒の印刷可能領域は上下左右 10mm のため、封筒の紙質、厚みなどによってかすれなどが発生する可能性がありますので、必ず事前に試し印刷を行い確認してください。

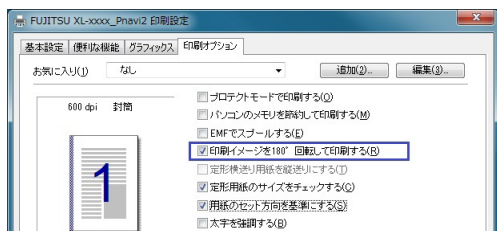
フラップ（ふた）を開いた状態でセットしたときは、ユーザ定義サイズを指定してください。

＜ユーザ定義サイズでの封筒印刷方法について＞

- ・プリンタドライバの「基本設定」タブで、(1)「用紙サイズ」の「ユーザ定義サイズ」を選択し封筒のサイズを指定します。(2)「用紙種類」の「封筒」を選択します。



- ・「印刷オプション」タブの「印刷イメージを 180° 回転して印刷する」にチェックを入れます。



注 2：縦ガイドでフラップ（ふた）を押さえられないときは、正しく給紙できないことがあります。その場合は給紙トレイにセットしてください。

封筒をセットした後、プリンタドライバとオペレータパネルの両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.148）をご覧ください。

使用できる封筒

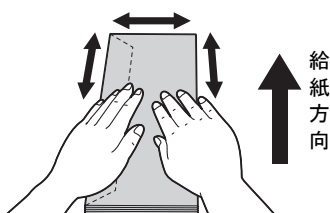
給紙口によってセットできる封筒サイズが異なります。「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.148)をご覧ください。

また、レーザプリンタ専用封筒をお使いください。

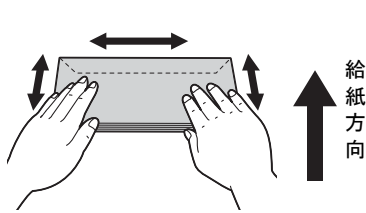
POINT

- ・ 給紙口に一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
 - ・ 封筒には両面印刷できません。
 - ・ 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3枚通紙して、印刷結果を確認してください。
 - ・ 封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
 - ・ 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、封筒全体を手で押さえて平らに直してください。
 - ・ 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
 - ・ 推奨封筒でも、高温になる所や湿気の多い所で印刷すると、シワが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
 - ・ 封筒の長辺の端に細かいシワができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なり合っている部分にスジが入ることがあります。
 - ・ 給紙カセット1と給紙トレイのみ封筒をサポートしています。
 - ・ 給紙カセット1は、洋形長3号(SEF)および角形2号のみサポートしています。
 - ・ 開封したての新しい封筒を使用してください。
- 封筒をパッケージから取り出して、すぐにセットしない場合は、封筒が反って(カール)してしまう可能性があります。紙詰まりを防止するために、セットするときには、次のように封筒全体をしっかりと押さえて平らにしてください。

縦向き(SEF)にセットする場合



横向き(LEF)にセットする場合



2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。

インストール方法は、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

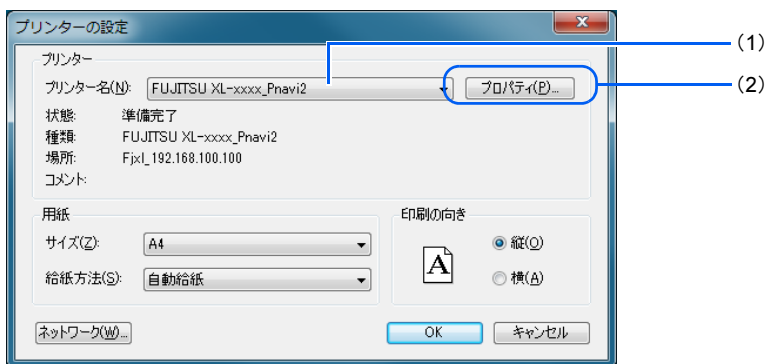
2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。

- ・正しく接続されているか
- ・本製品の電源が入っているか
- ・用紙がセットされているか（「用紙をセットする」（→ P.60））

3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

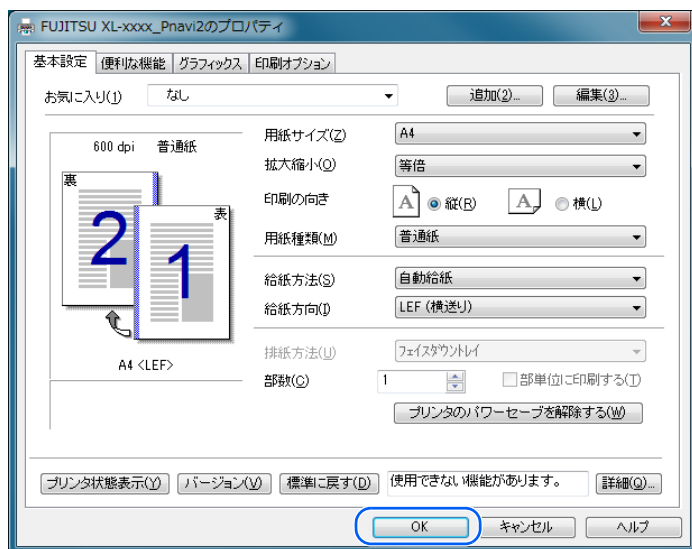
4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2) 「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

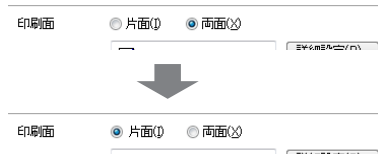
5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



4

重要

- ・本製品は国際エネルギースタートプログラムバージョン 3.0 に対応のため、プリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」になっています。
主に「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「便利な機能」タブにある「印刷面」の設定を「片面」に変更してお使いください。



各設定項目について詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

正常に印刷できないときは、「こんなときには」(→ P.157) をご覧ください。

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi 機能を使うと、本製品の状態をパソコン上で確認できます。

Printianavi 機能は、印刷が実行されると本製品のモニターを開始します。本製品でエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法が、パソコンの画面にポップアップ表示されます。



Printianavi 機能によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、およびポップアップについて詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 印刷を中止する

印刷開始後（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）に、印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止するには、パソコンから中止する方法と、本製品のオペレータパネルから中止する方法の2通りがあります。

パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」タブの表示方法の設定によって異なります。

詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

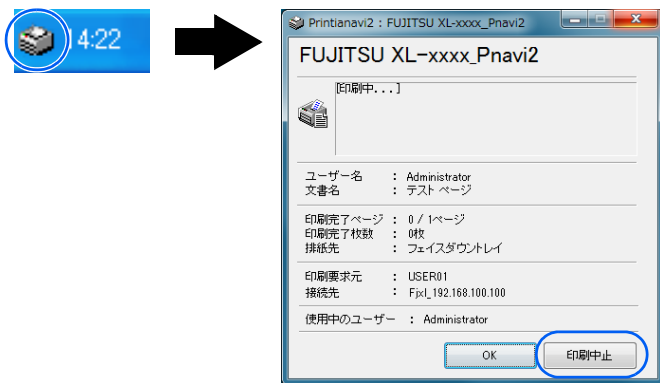
ポップアップ表示のとき

「印刷中止」をクリックします。



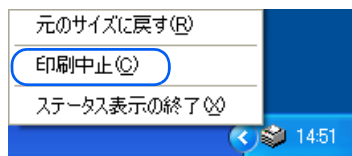
エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

画面右下の通知領域のアイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで「印刷中止」をクリックします。



POINT

- 画面右下の通知領域のアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「印刷中止」をクリックして、印刷を中止することもできます。



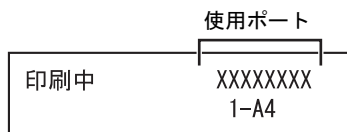
オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。リセットすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。

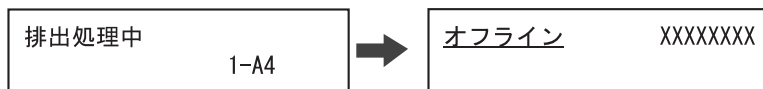
FUJITSU Printer XL プリンタドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中にオンラインスイッチを押します。

オペレータパネルの操作について詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.111）をご覧ください。



オペレータパネルに「排出処理中」と表示されて印刷中の用紙が排出され、オフライン状態になります。



2 リセットスイッチを押します。

「初期化しますか？ (Y,N)」と表示されます。このとき、オンラインスイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開できます。

初期化しますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

3 再度リセットスイッチを押します。

「初期化中」と表示され、初期化されます。

初期化中

受信データがあると、オンラインランプが点滅します。

初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

POINT

- ・プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。「Printianavi2」を使用しているときは、パソコン上の Printianavi2 メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

4 トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する

トナーカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB322B が約 15,000 ページ（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）、装置添付のトナーカートリッジ（スターター）の印刷量の目安は、約 6,000 ページ（A4LEF、約 5% 印字率、連続印刷時）です。

ドラムカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB322 および装置添付のドラムカートリッジ（スターター）とも約 40,000 ページ（4 ページ / ジョブ印刷時） / 約 25,000 ページ（1 ページ / ジョブ印刷時）です。

トナー残量が少なくなると、トナーカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されます。

トナーカートリッジの寿命については、印字率、1 ジョブあたりの印刷ページ数、用紙サイズなどによって、印刷枚数が規定枚数以下になる場合があります。

ドラムカートリッジの寿命については、間欠印刷、電源の ON/OFF 回数の多さなどによって、印刷枚数が半分以下になる場合があります。

重要

- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ / 汚れ / かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

警告



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。粉じん爆発やトナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
- ・使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（→ P.94）をご利用ください。
- ・トナーが目や口に入らないように注意してください。
トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・前カバーを開けると、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

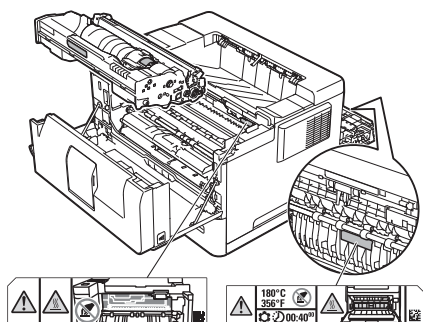
⚠ 注意



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、純正品をご使用ください。他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および製品破損の原因となることがあります。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。
立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。



- ・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



交換に関する留意事項

トナーカートリッジやドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。交換するときは、次の点に注意してください。

- ・直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のトナーカートリッジやドラムカートリッジを用意しておいてください。
- ・純正品以外のトナーカートリッジやドラムカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージがオペレータパネルに表示される場合があります。

K004 トナーカートリッジエラー
正しいトナーをご使用下さい

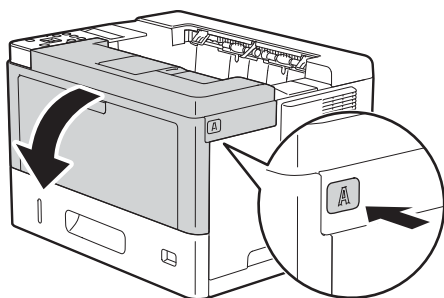
K006 ドラムカートリッジエラー
正しいドラムをご使用下さい

- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。
- ・交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換が必要です。
 - 縦のかすれや部分的なかすれがある場合
 - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
 - 適切な用紙に替えて印刷しても改善されない場合

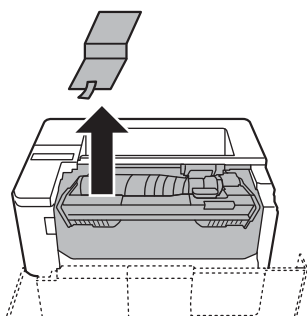
- ・トナー交換メッセージが表示された時に、トナーカートリッジ内に画質を維持するためのトナーが残る場合がありますが、交換メッセージ表示後は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーシールの引き抜き方（スターターのみ）

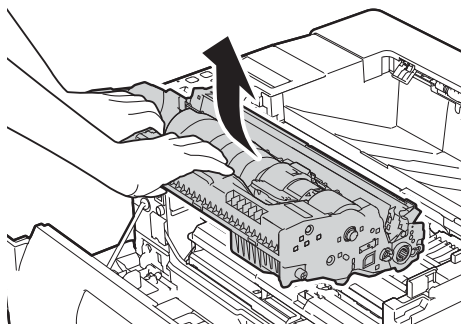
- 1 前カバーオープンボタン [A] を押し、前カバーをゆっくりと両手で開けます。



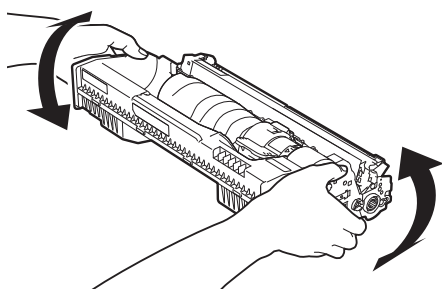
- 2 スタータードラムに貼ってある用紙をはがします。



- 3 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げます。

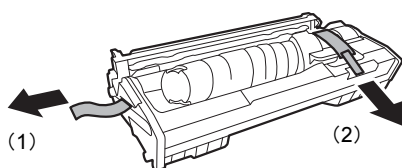


- 4** ドラムカートリッジを両手で持ち8回振ります。



- 5** ドラムカートリッジを平らなところに置きます。

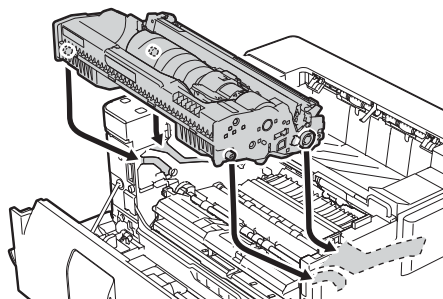
- 6** テープをはがし、トナーシールを (1)、(2) の順にゆっくりとまっすぐに引き抜きます。



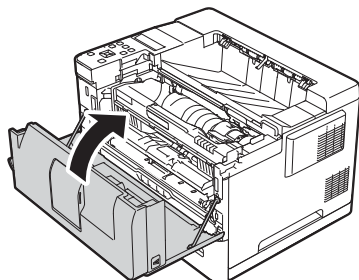
POINT

- ・トナーシールは、いったん上方向に引っ張り両面テープの接着部をはがすと、楽に引き抜くことができます。

- 7** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



8 前カバーを両手で静かに閉めます。



POINT

- ・新しいドラムカートリッジをセットしたときは、プリンタが印刷可能状態になるまで約2分半～3分の時間がかかりますが、そのまましばらくお待ちください。

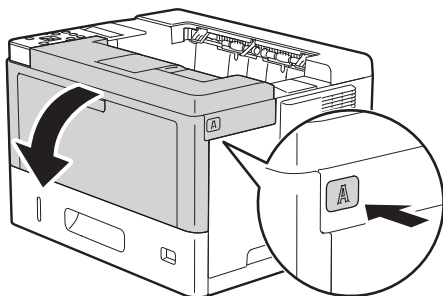
⚠ 注意



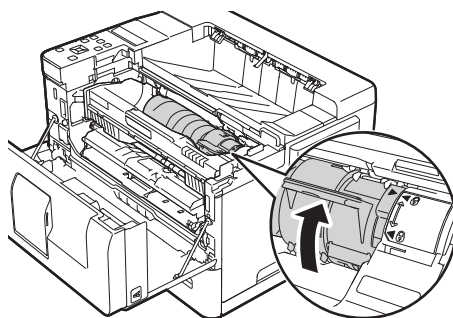
- ・トナーシールを引き抜くまでは、トナーロックレバーは、操作しないでください。

トナーカートリッジ交換方法

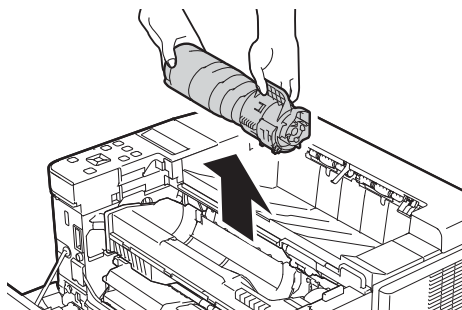
- 1 前カバーオープンボタン [A] を押し、前カバーをゆっくりと両手で開けます。



- 2 トナーロックレバーを、矢印の方向に突き当たるまで倒してロックを解除します。



3 トナーカートリッジをゆっくりと取り出します。

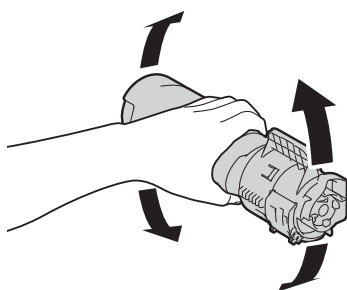


重要

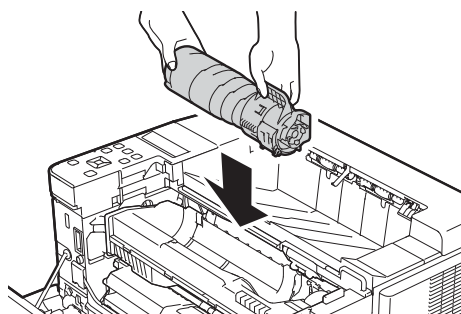
- ・ トナーカートリッジ内に画質を維持するためのトナーが残る場合がありますが交換メッセージ表示後は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

4 新しいトナーカートリッジを用意し、軽く 10 回振ります。

トナーカートリッジは、縦には持たず、横に持って振ってください。

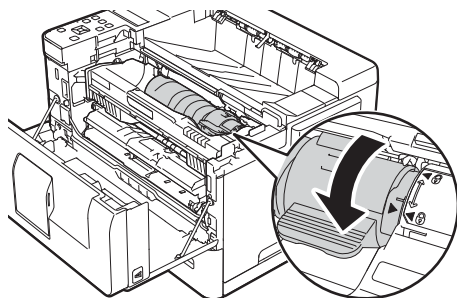


5 新しいトナーカートリッジを、ドラムカートリッジにしっかりと押し込みます。



4

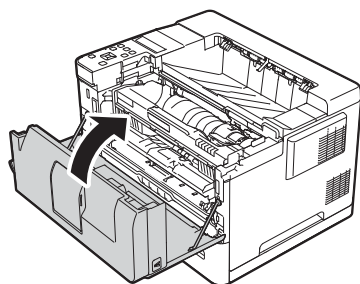
6 トナーロックレバーを手前に倒してロックします。



重要

- ・ トナーロックレバーは、トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットしてから、操作してください。

7 前カバーを両手で静かに閉めます。

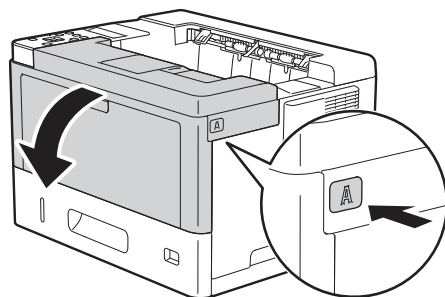


ドラムカートリッジ交換方法

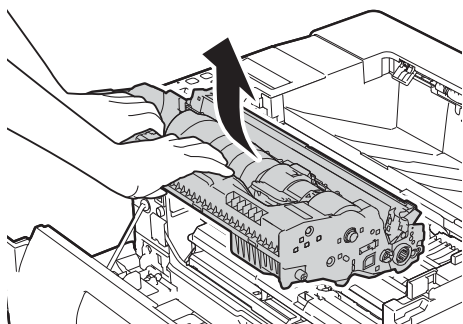
POINT

- ・ トナーカートリッジにトナーが残っていれば、今まで使用していたトナーカートリッジを新しいドラムカートリッジに取り付けて使用することができます。

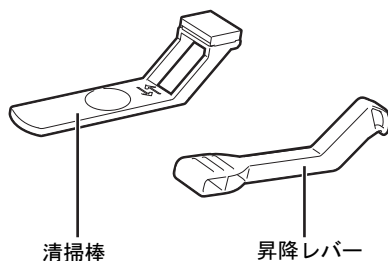
1 前カバーオープンボタン [A] を押し、前カバーをゆっくりと両手で開けます。



- 2** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。



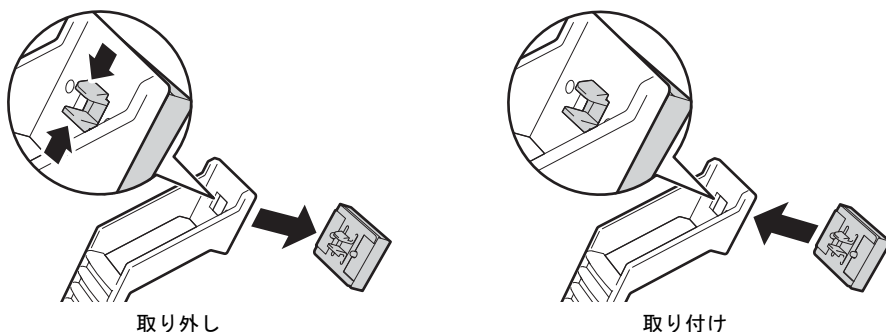
- 3** プリンタ本体に同梱されていた **LED 清掃キット**（清掃棒と **LED 昇降レバー**）を用意します。



重要

- ・ LED 清掃キットは、プリンタ本体に同梱されています。紛失しないよう、大切に保管してください。

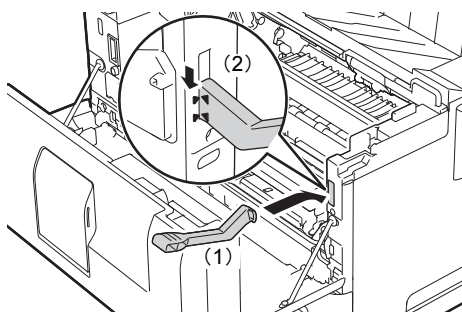
- 4** 清掃棒の清掃パッドを交換します。



POINT

- ・ 清掃パッドは、ドラムカートリッジに同梱されている、交換手順書に貼付されています。

- 5** (1) **LED 昇降レバー**をプリンタ右側の穴にまっすぐに挿入し、(2) プリンタの▶と **LED 昇降レバー**の◀を合わせます。

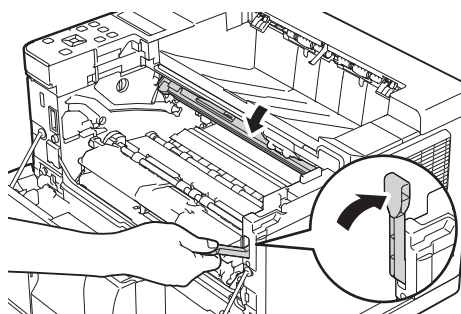


重要

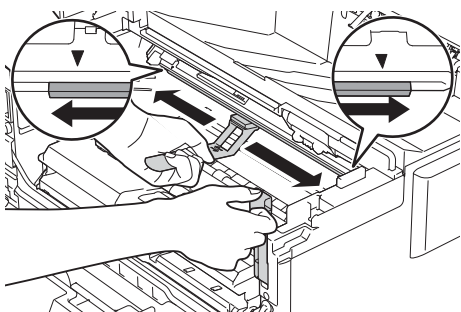
- ・ LED 昇降レバーは、必ずまっすぐに挿入してください。
まっすぐに挿入しないと、LED 清掃後に LED 昇降レバーが抜けなくなる場合があります。

- 6** **LED 昇降レバー**を持ち上げて、**LED ヘッド**を下げます。

LED 昇降レバーは持ち上げたままの状態を支えてください。



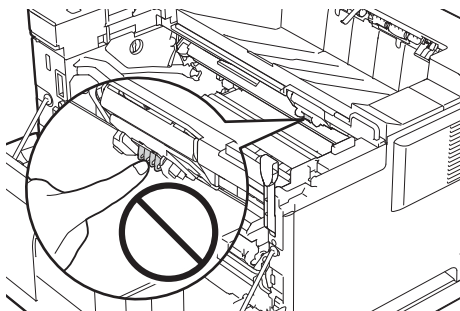
- 7** 清掃棒のパッド部分を **LED ヘッド**のレンズ面（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭きます。



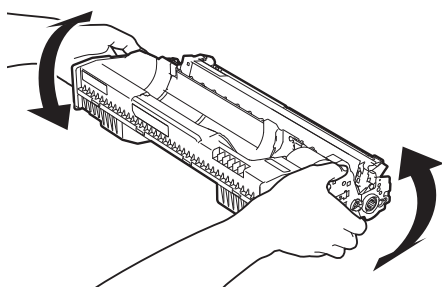
重要

- ・ LED ヘッドを清掃するときは、周囲の突起物に注意して清掃を行ってください。

・異常画像が発生しますので、LED ヘッドのレンズ面は素手で触らないでください。

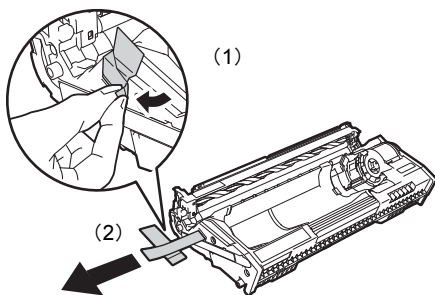


8 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、**8** 回振ります。

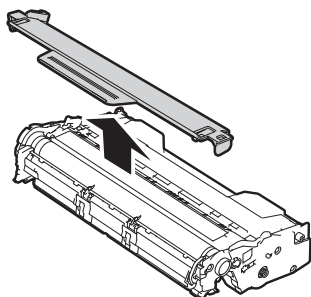


9 ドラムカートリッジを平らなところに置きます。

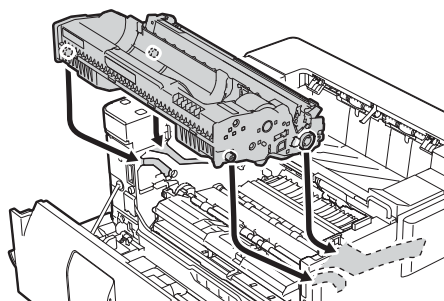
10 (1) テープをはがし、(2) トナーシールをまっすぐに引き抜きます。



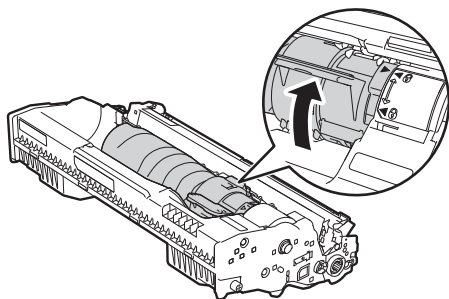
11 ドラムカートリッジを裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外します。
感光体には触れないようにしてください。



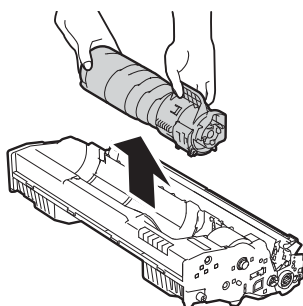
- 12** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



- 13** 古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジのロックレバーを奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



- 14** 古いドラムカートリッジから、トナーカートリッジをゆっくり取り出します。

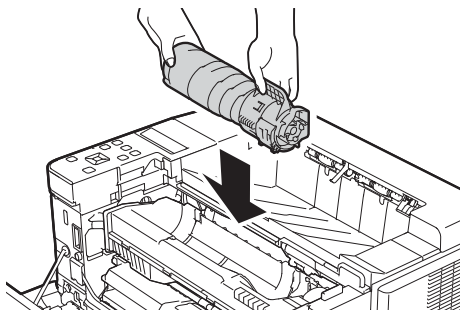


⚠ 注意

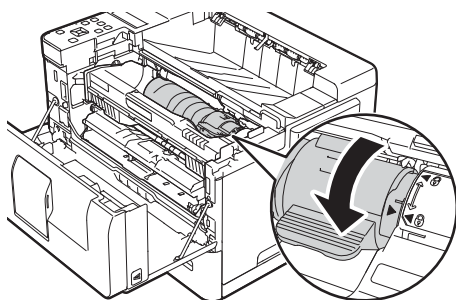


・一度使用したトナーカートリッジは振らないでください。振るとトナーがこぼれるおそれがあります。

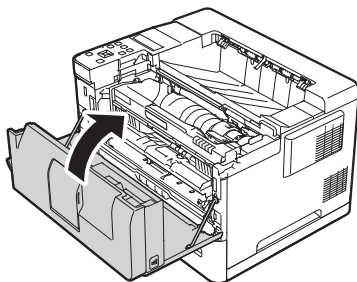
15 新しいドラムカートリッジに、トナーカートリッジをセットします。



16 トナーロックレバーを手前に倒してロックします。



17 前カバーを両手で静かに閉めます。



POINT

- ・新しいドラムカートリッジをセットしたときは、プリンタが印刷可能状態になるまで約2分半～3分の時間がかかりますが、そのまましばらくお待ちください。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。

回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。

「エコ受付センター」までご連絡ください。

- ・ エコ受付センター

通話料無料：0120-300-693

受付時間：月曜日～金曜日 8:40～12:00 および 13:00～17:30

（土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く）

- ・ プリンタ消耗品無償回収サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- ・ ドラムカートリッジを直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも5分以上は放置しないでください。
- ・ ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・ 寒い所から暖かい所へ移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・ 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・ トナーカートリッジやドラムカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・ 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・ トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できません）。

保管上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・ 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- ・ 直射日光を避け、次の環境で保管してください。
温度範囲 10～32℃、湿度範囲 15～80%RH（ただし、結露のないこと）
- ・ 高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・ 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・ CRT画面、ディスクドライブなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・ 小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

トナーカートリッジ寿命およびドラムカートリッジ寿命について

本プリンタではトナーカートリッジ寿命時やドラムカートリッジ寿命時に装置の故障を防ぐため、動作を停止させており印刷ができなくなります。オペレータパネル上に「トナーカートリッジ準備」や「ドラムカートリッジ準備」が表示された場合には、新しいカートリッジを準備してください。

「トナーカートリッジ準備」や「ドラムカートリッジ準備」が表示されてから、「トナーカートリッジ交換」や「ドラムカートリッジ交換」となって装置が停止するまでの印刷可能枚数の目安は以下となります（あくまでも目安であり、用紙種類や印刷条件などによって異なります）。

「トナーカートリッジ準備」～「トナーカートリッジ交換」：約 3,750 ページ

「ドラムカートリッジ準備」～「ドラムカートリッジ交換」：約 4,000 ページ

印刷可能枚数の目安は、A4（LEF）連続片面印刷（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）の条件で算出したものです。

カスタムモードについて

「トナーカートリッジ交換」となって動作が停止した状態において、やむを得ずトナーカートリッジを交換しないで継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」にすることで継続使用が可能になります。ただし「カスタムモード」は品質保証外のモードであり、本来の性能が発揮できない場合^{注1}があります。そのまま使い続けると装置が故障する原因となることがあります。

また「カスタムモード」時の装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。

注1：「トナーカートリッジ準備」の表示は出なくなります。

「カスタムモード」設定にしている場合は、設定の一覧を印刷すると「システム情報」の「トナーカートリッジカウンタ」が次のように表記されます。

FUJITSU XL-xxxx

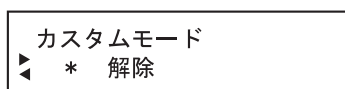
システム情報

装置号機	=	LFxxxxxxx
総印刷ページ数	=	1234567ページ
トナーカートリッジカウンタ	=	残り 0% [カスタムモード]

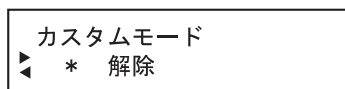
設定の一覧の印刷方法については、「設定の一覧印刷」（→ P.133）をご覧ください。

カスタムモードの設定／解除方法について

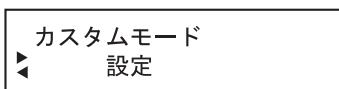
「オンライン」表示中（待機状態）または「トナーカートリッジ交換」が表示中に「設定」スイッチを3秒以上押してください。以下の表示になります。



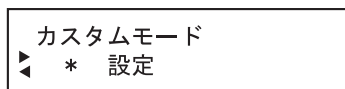
「◀」「▶」スイッチを押して設定／解除を選択してください。



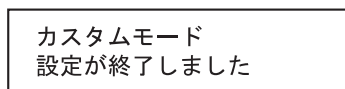
「▶」→
←「◀」



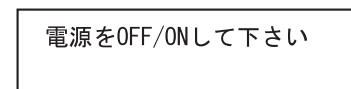
「設定」スイッチを押して、「*」を付けてください。「*」が付いている方が選択されている状態です。以下は設定したい場合の表示です。



「オンライン」スイッチを押してください。



→
交換表示
←



電源をOFF/ONすると、選択した状態になります。

重要

- ・トナーカートリッジ交換後は、必ずカスタムモードの設定を解除してください。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジ交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意



・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。



・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

👉 重要

- ・清掃時には、次の点にご注意ください。
 - ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
 - ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
 - ・油をさす必要はありません。注油はしないでください。
 - ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
 - ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。
 - ・クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・すき間からしみこんだり、プリンタのプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。

柔らかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を充分に取ります。

給紙カセットの用紙送りローラを清掃する

紙粉が多く出て用紙送りローラが汚れると、紙が重なって送られたり、詰まったりする原因になります。

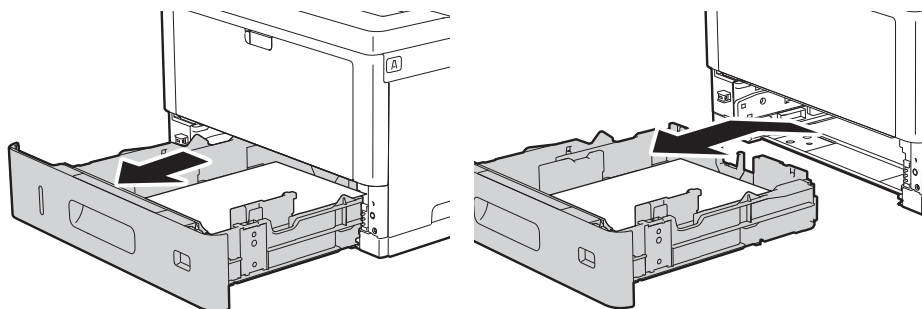
給紙カセットの用紙送りローラの清掃方法はどのカセットでも同じです。給紙カセットを例に説明します。

給紙カセット 1（標準）の用紙送りローラ

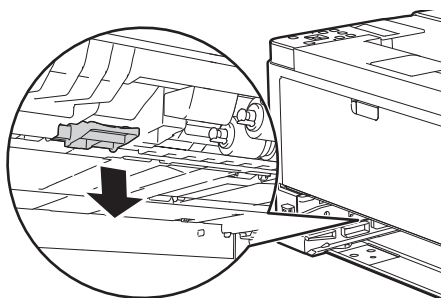
- 1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。

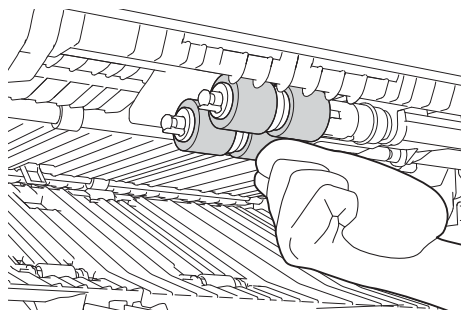
平らな場所に給紙カセットを置いて、セットしている用紙を取り出してください。



3 両面カバーの緑色のレバーを押し下げ、両面カバーを開けます。



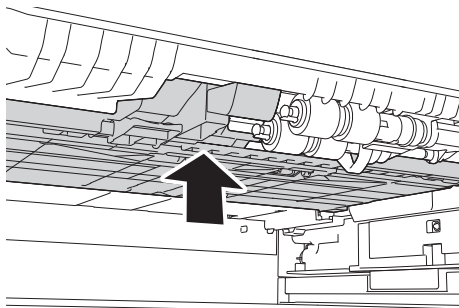
4 水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を回転させながら全体を拭きます。



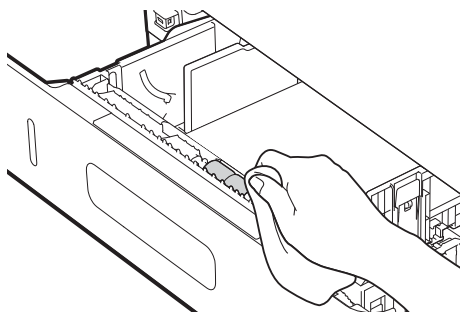
重要

- ・ プリンタ本体を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ プリンタ内部の他の部品には触れないでください。

5 緑色のレバーを上げて、両面カバーを閉じます。

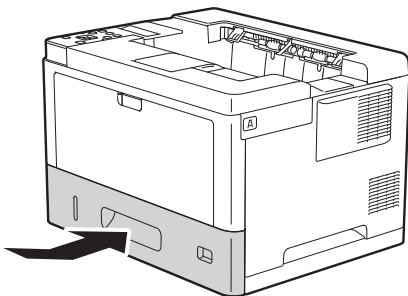


6 水で湿らせた柔らかい布で、給紙カセット内側の用紙送りローラを回転させながら全体を拭きます。



7 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

用紙をセットした給紙カセットを本製品にセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。



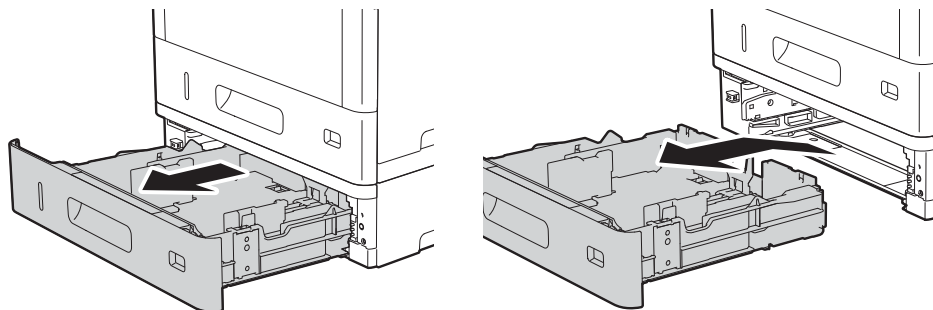
重要

・必ず両面カバーが閉じていることを確認してから、給紙カセットをセットしてください。

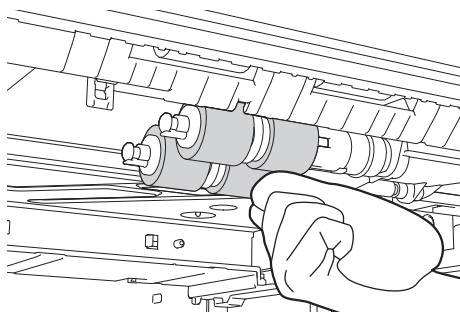
8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

拡張給紙ユニット（給紙カセット2～4）（オプション）の用紙送りローラ

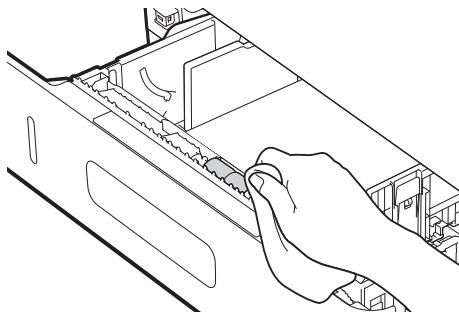
- 1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。



- 3 水で湿らせた柔らかい布を使用して、拡張給紙ユニット上側の用紙送りローラを回転させながら全体を拭きます。

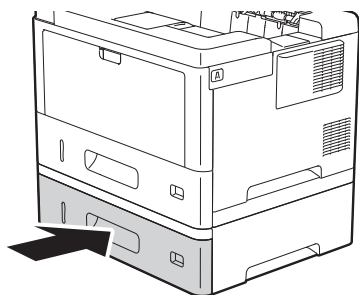


- 4 水で湿らせた柔らかい布で、給紙カセット内側の用紙送りローラを回転させながら全体を拭きます。



5 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

用紙をセットした給紙カセットを本製品にセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。



6 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

4

給紙トレイの用紙送りローラを清掃する

⚠ 注意



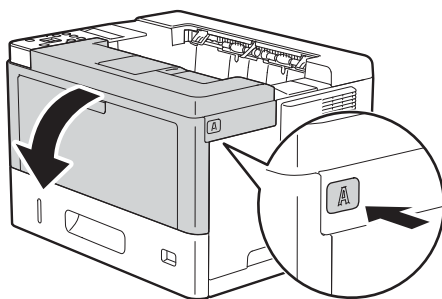
・ 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

👉 重要

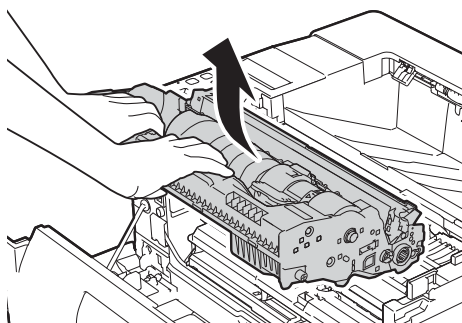
・ アルコールや洗剤などは使用しないでください。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり両手で開けます。



- 3** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。

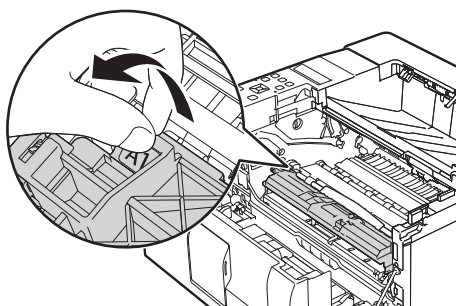


重要

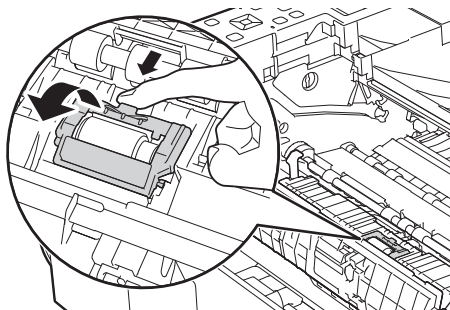
- ・ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも5分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

- 4** 給紙カバー [A1] 部を手前に開きます。

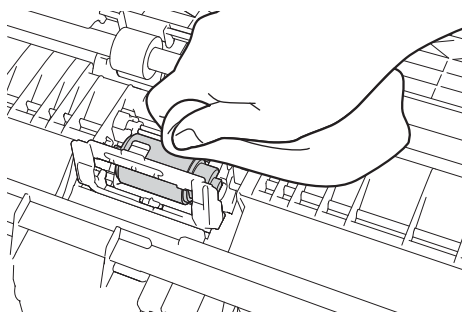
[A1] 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



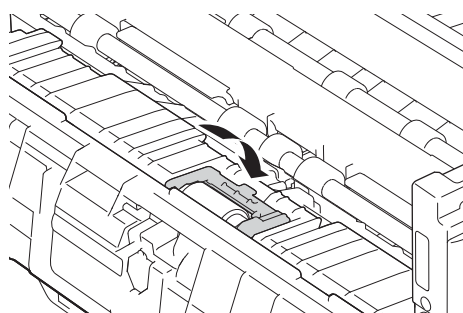
- 5** 用紙送りローラのカバーの突起を押しながら、手前に開きます。



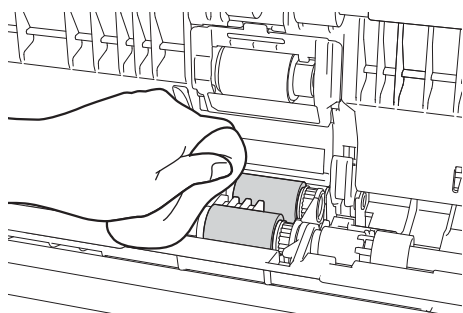
- 6** 用紙送りローラを水で湿らせた柔らかい布で回転させながら全体を拭きます。



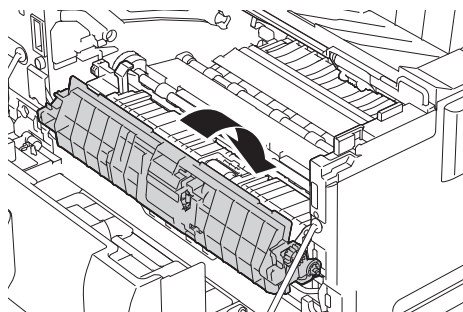
- 7** 用紙送りローラのカバーを閉じます。



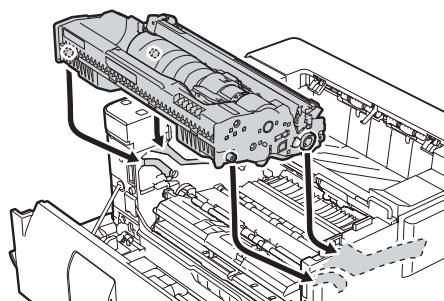
- 8** 水で湿らせた柔らかい布で [A1] 部の裏側にあるゴム部分を回転させながら全体を拭きます。



- 9** [A1] 部を閉じます。

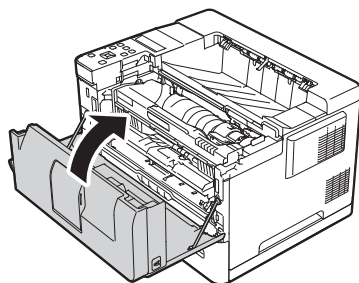


- 10** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



- 11** 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。



- 12** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

電源プラグについて

⚠ 警告



- ・ 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜にき裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

6 プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠ 警告

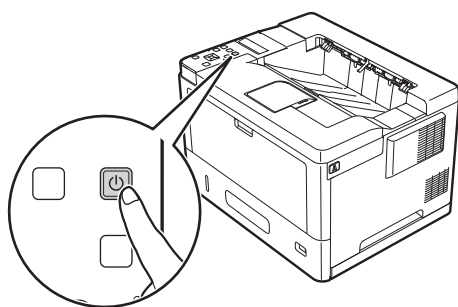


・電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源 / 節電解除スイッチ (🔌) を押して、プリンタの電源を切ります。



2 リセットスイッチ (Y) を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

電源OFFしますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

👉 重要

- ・連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・電源 / 節電解除スイッチ (🔌) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・電源 / 節電解除スイッチ (🔌) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (🔌) を押して、電源を切ってください。
- ・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。

- 3** オペレータパネルの液晶ディスプレイや **LED** が消灯し、電源が切れていることを確認します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

 重要

- ・ エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191) をご覧ください。

- 4** 用紙を取り出します。

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147) をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠ 注意



- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20.1kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

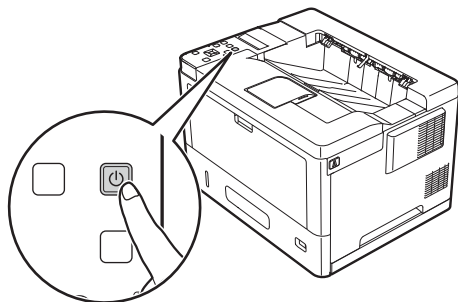
🔍 POINT

- ・拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、拡張給紙ユニットからプリンタ本体を取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくとう便利です。拡張給紙ユニットの取り外しについては、「取り外し」（→ P.58）をご覧ください。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

- 1 電源 / 節電解除スイッチ（）を押して、プリンタの電源を切ります。



- 2 リセットスイッチ（Y）を押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

電源OFFしますか (Y, N)?
リセットSW→Y オンラインSW→N

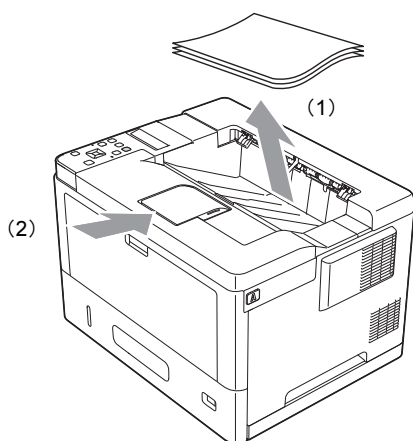
重要

- ・ 連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) が点灯中または点滅中のときは、プリンタが節電状態です。
- ・ 電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を一度押して、節電状態を解除してから電源 / 節電解除スイッチ (⏻) を押して、電源を切ってください。

3 ケーブル類を取り外します。

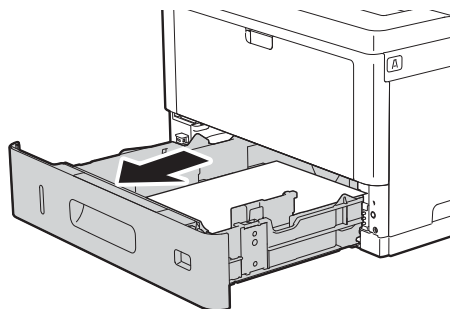
- ・ オペレータパネルの液晶ディスプレイやLED が消灯し、電源が切れていることを確認します。
- ・ 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・ パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

4 (1) 排紙トレイに用紙がある場合は用紙を取り除き、(2) 延長排紙トレイが開いている場合は元に戻します。



5 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147) をご覧ください。



POINT

- ・ 用紙の入っている給紙カセットは重いので、注意してプリンタから抜いてください。

6 適切な場所に設置し直します。

設置方法については『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

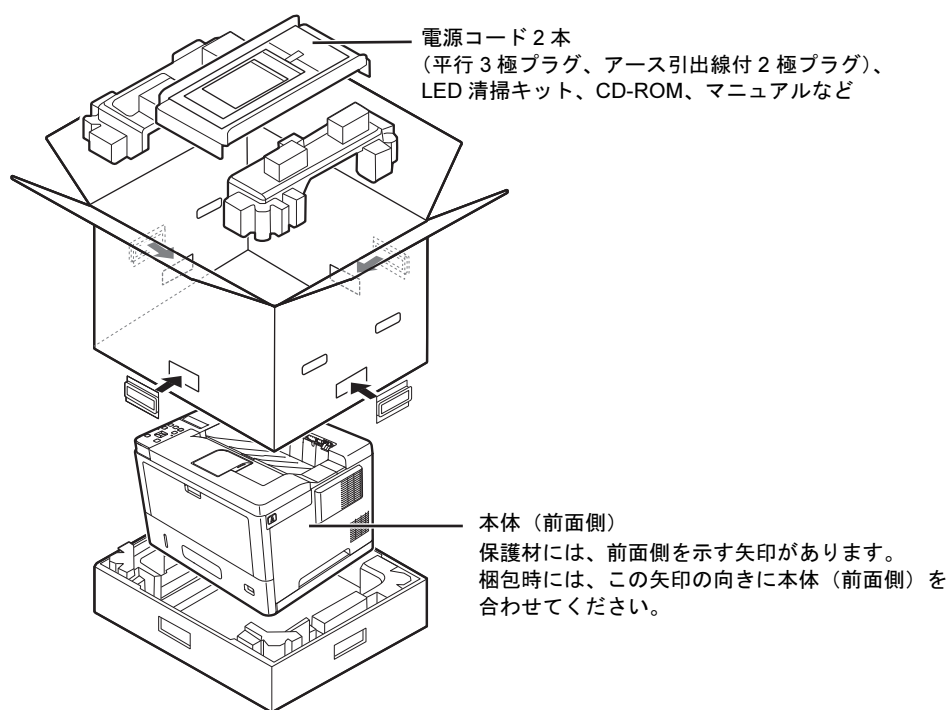
本製品を運搬するときは、取り付けである付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

1 「近くに移動する」(→ P.107) をご覧になり、用紙を取り外します。

2 次の図のように梱包し直して、運搬します。

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱ってください。

- ・ 梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。



重要

- ・ 運搬時の振動などで装置内部が汚れた場合は、プリンタを清掃してください。プリンタの清掃については、「プリンタを清掃する」(→ P.97) をご覧ください。
- ・ プリンタ清掃後は、オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか確認してください。

5

第 5 章

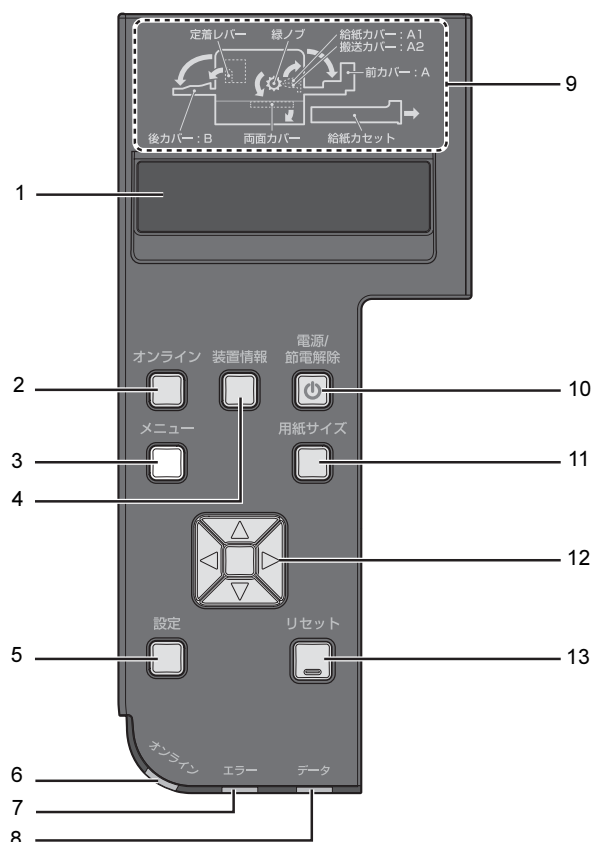
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

1 各部の名称と機能	112
2 液晶ディスプレイの表示内容	115
3 操作方法	119
4 代表的な設定項目とその操作方法	133

1 各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、キー、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。



1 液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などが表示されます。

2 オンラインスイッチ

オンライン／オフラインの切り替え、メニューモードを完了するときに押します。

3 メニュースイッチ

設定を変更したり、現在の設定を確認したりするときに押します。

4 装置情報スイッチ

印刷枚数、拡張給紙ユニット数、消耗品の使用状況を表示するときに押します。

A4換算印刷ページ数
▶ XXXXXXページ

「◀」「▶」スイッチを押すと、表示が切り替わります。

- ・◀スイッチ：「A4 換算印刷ページ数」(→ P.114)
- ・▶スイッチ：「装置寿命」(→ P.114)

5 設定スイッチ

メニューモードのときに、設定や設定値を確定させるときに押します。「◀」「▶」スイッチを押すと、表示が切り替わります。

6 オンラインランプ

オンライン中に点灯します。オフライン、節電モード（節電2／スリープ）のときは消灯します。

7 エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

- ・点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。
- ・消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

8 データランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9 紙詰まり発生時の確認ポイント

紙詰まりエラーが発生すると、エラーランプが点灯し、液晶ディスプレイに「紙詰まり」と表示されます。エラーメッセージには「両面カバー」「給紙カバー」「カセット n (n はカセット番号)」「プリンタ内部」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されますのでこの確認ポイントの場所に用紙が残っていないか確認します。

10 電源 / 節電解除スイッチ

電源を入 / 切します。節電モード中に押すと、節電モードを解除します。

- ・ランプの点灯：電源が入っている（オンライン、オフライン、印刷中）状態または節電モード（節電1／節電2）の状態
- ・ランプの点滅：節電モード（スリープ）の状態

11 用紙サイズスイッチ

各給紙口の用紙サイズを設定するときに押します。「用紙サイズスイッチからの操作方法」（→ P.114）をご覧ください。

12 方向スイッチ

メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。詳しくは、「操作方法」（→ P.119）をご覧ください。

なお、液晶ディスプレイの表示が「オンライン」、「オフライン」または「節電中」のときに、「▲」「◀」「▶」スイッチを押すと、次のメニューが液晶ディスプレイに表示されます。

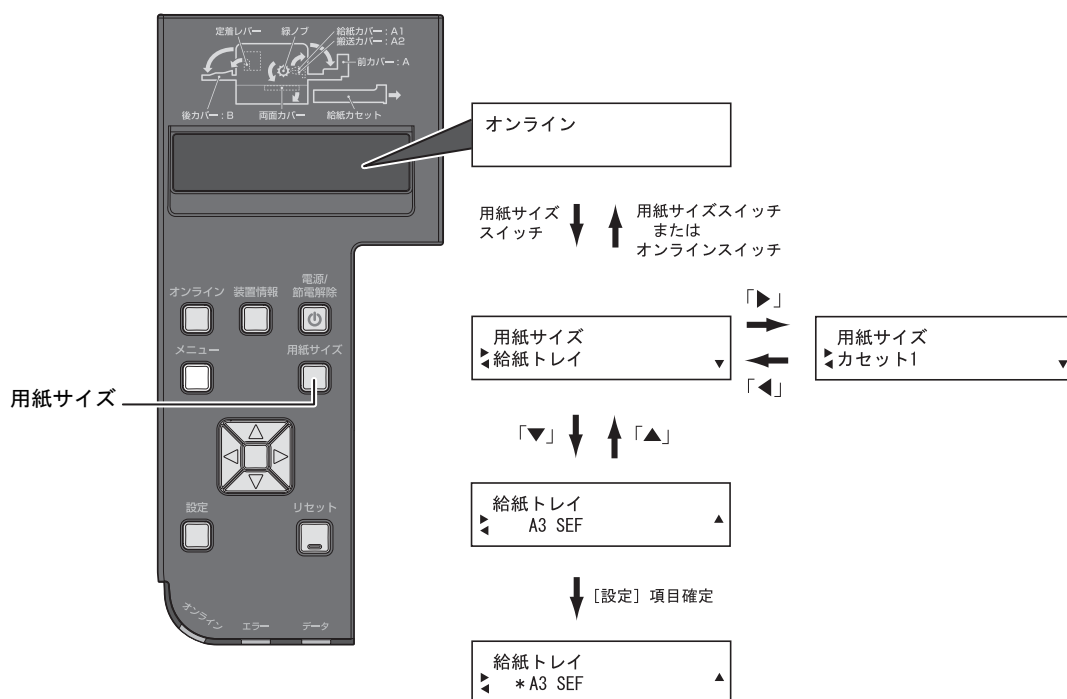
- ・▲スイッチ：「システム印刷」（→ P.123）
- ・◀スイッチ：「初期設定」（→ P.124）
- ・▶スイッチ：「印刷設定」（→ P.128）

オンラインスイッチおよびメニュースイッチを押すと、「オンライン」または「節電中」表示へ戻ります。

13 リセットスイッチ

オフライン時に、未処理のジョブを破棄し、プリンタをリセットします。

用紙サイズスイッチからの操作方法



注：「カセット2」、「カセット3」、「カセット4」は、それぞれが装着されている場合に表示されます。

装置情報スイッチで確認できる項目

装置情報スイッチから確認できる項目の一覧は次のとおりです。

表：装置情報スイッチで確認できる項目一覧

表示項目	説明
A4 換算印刷ページ数	A4LEF サイズで換算した総印刷枚数です。
拡張給紙ユニット	拡張給紙ユニットの装着数 未装着状態が 0、最大装着数は 3 になります。
トナーカートリッジ	トナーの残量を 100% → 0% で表示します。
ドラムカートリッジ	ドラムカートリッジの消耗率を表示します。
定期交換キット	定期交換キットの消耗率を表示します。
600K 交換キット	600K 交換キット（60 万ページ印刷を目安に交換）の消耗率を表示します。
装置寿命	プリンタの消耗率（装置寿命）の消耗率を表示します。

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1行全角で13文字（半角26文字）、2段に表示されます。エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

- ・メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→P.191）をご覧ください。

電源を入れたときの表示内容

本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

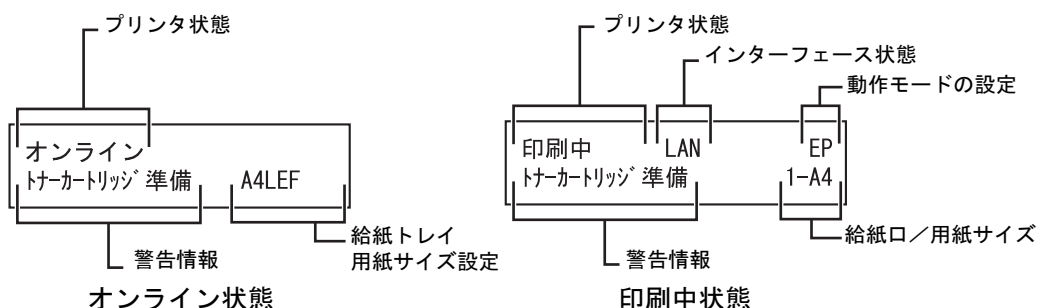
オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。

- ・「エラーメッセージ一覧」（→P.192）
- ・「警告メッセージ一覧」（→P.203）



項目	表示内容	説明
プリンタ状態	オンライン	オンライン状態または印刷データ受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	印刷中	印刷を行っています。
	プロセス調整中 [注 1]	新しいドラムカートリッジを取り付けたとき、または画質調整中です。
	準備中 [注 1]	ウォームアップ中です。
	クールダウン 1 [注 1]	定着器を冷却中です。
	クールダウン 2	機内を冷却中です。
	クリーニング中	クリーニング中です。
	節電中	節電中です。
動作モードの設定	EP	エミュレーションの ESC/P モードでの印刷が可能状態です。
	HX	HEX ダンプ印刷モードです。
	表示なし	FUJITSU Printer XL プリンタドライバの印刷モードのみ、印刷が可能な状態です。
	MW	FUJITSU Printer XL プリンタドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中です。
	MR	FUJITSU Printer XL プリンタドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中です。
インターフェース状態	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	LAN	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	USB	USB ポート経由でパソコンと通信しています。

項目	表示内容		説明
給紙口/用紙サイズ	給紙口	1-	給紙カセット 1 から給紙、印刷中です。
		2- [注 2]	給紙カセット 2 から給紙、印刷中です。
		3- [注 2]	給紙カセット 3 から給紙、印刷中です。
		4- [注 2]	給紙カセット 4 から給紙、印刷中です。
		M-	給紙トレイから給紙、印刷中です。
	用紙サイズ	A3	A3 用紙を給紙、印刷中です。
		A4	A4 用紙を給紙、印刷中です。
		A5	A5 用紙を給紙、印刷中です。
		A6	A6 用紙を給紙、印刷中です。
		B4	B4 用紙を給紙、印刷中です。
		B5	B5 用紙を給紙、印刷中です。
		B6	B6 用紙を給紙、印刷中です。
		リーガル	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
		レター	レター用紙を給紙、印刷中です。
		はがき	郵便はがきを給紙、印刷中です。
		ユーザ	ユーザ定義サイズ of 用紙を給紙、印刷中です。
		長尺紙	長尺紙を給紙、印刷中です。
		封筒	封筒用紙を給紙、印刷中です。
用紙サイズ設定	「用紙サイズスイッチからの操作方法」(→ P.114) で設定した給紙トレイの用紙サイズが表示されます。		
警告情報 [注 3]	データあり	未処理データがある状態です。	
	カセット n 確認	カセットなし状態です (n はカセット番号)。	
	トナーカートリッジ準備	トナーカートリッジの交換準備が必要な状態です。	
	定期交換キット準備	定期交換キットの交換準備が必要な状態です。	
	定期交換キット交換	定期交換キットの交換時期です。	
	ドラムカートリッジ準備	ドラムカートリッジの交換準備が必要な状態です。	
	ドラムカートリッジ交換	ドラムカートリッジの交換時期です。	
	600K 交換キット準備	600K 交換キット準備が必要な状態です。	
	600K 交換キット交換	600K 交換キットの交換時期です。	
	装置寿命残り xx%	プリンタ本体が装置寿命に近づいた状態です。 xx には「20」、「10」のいずれかが表示されます。	

注1 : 印刷可能状態になるまで、時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

注2 : カセット 2 ~ 4 はオプションです。

注3 : 警告情報が複数ある場合には、メッセージ部が 2 秒間隔で切り替わります。

節電モード

節電モードとは、一定時間印刷しなかった場合、節電時間設定の待機時間が経過すると、自動的に節電モード設定の節電処理を実行することにより、消費電力を節約するための機能です。節電時間設定は、メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「節電時間」で設定します（初期値＝「10 秒」）。

節電モード設定は、メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「節電モード」で設定します（初期値＝「スリープ」）。

節電モードは以下の処理を行います。

- ・ 節電 1

節電時間が経過すると、エンジン部が省電力状態となります。このとき、電源／節電ランプは点灯状態で、液晶ディスプレイに「節電中」と表示されます。

- ・ 節電 2

節電時間が経過すると、エンジン部のみ電源オフとなります。このとき、電源／節電ランプは点灯状態で、液晶ディスプレイは消灯します。

- ・ スリープ

節電時間が経過すると節電 2 状態となり、さらに約 67 秒経過すると、コントローラ部の CPU を停止します。このとき、電源／節電ランプは点滅状態で、液晶ディスプレイは消灯します。

POINT

- ・ メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「消耗品警告時の動作」の設定を「節電 1 に制限」としている場合は、消耗品警告が発生すると、節電モードは節電 1 となります。

節電時は、印刷データを受信するか、電源／節電解除スイッチを押すことにより、ウォームアップが開始され、オンライン状態となります。

3 操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

基本的な操作方法

使用するスイッチ

通常モードにてメニュースイッチが押された場合に起動し、プリンタ本体に関する各種設定や装置情報の印刷などを実行します。

先頭の第一階層は次の項目となります。

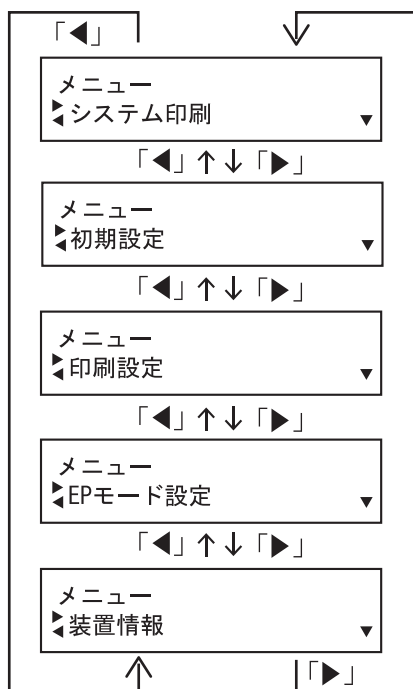
第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層
システム印刷				
初期設定				
印刷設定				
EP モード設定				
装置情報				

第一階層は、◀スイッチまたは▶スイッチで選択し、▼スイッチで第二階層に移動します。

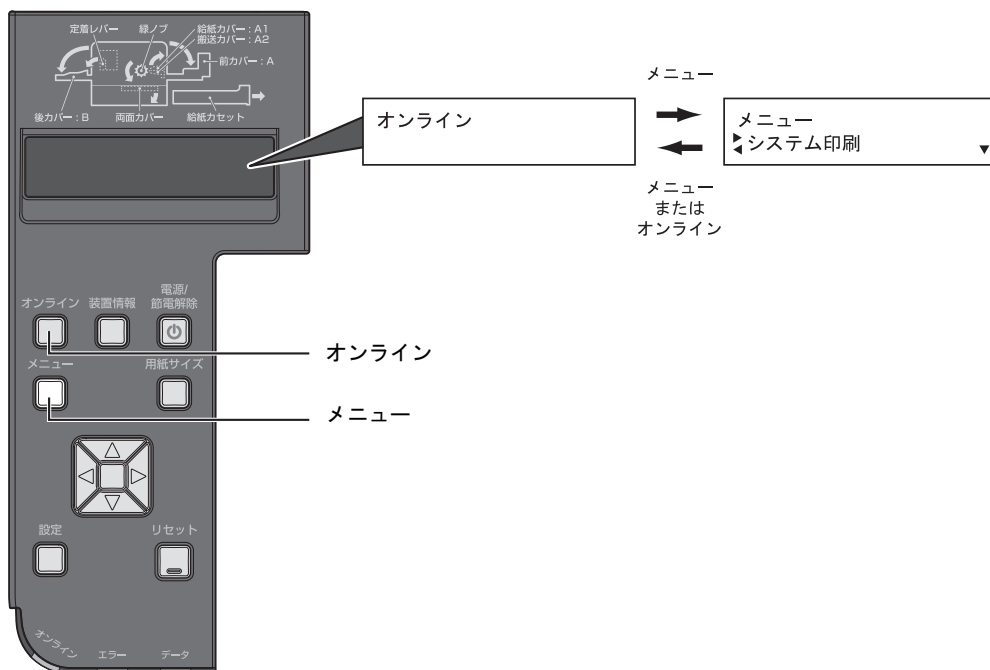
第一階層では、▲スイッチは無効となります。

第二階層以降は「設定項目一覧」(→ P.123)をご覧ください。

メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「エミュレーション設定」が解除となっている場合、「EPモード設定」は表示されません。



メニューモードに入るときは、メニュースイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、メニュースイッチまたはオンラインスイッチを押します。



スイッチ操作		メインメニューからの移動先	
メニュー		メニューモードを終了します。	
オンライン		メニューモードを終了します。	
方向	▲	無効	
	▼	システム印刷	「システム印刷」へ移動します。
		初期設定	「初期設定」へ移動します。
		印刷設定	「印刷設定」へ移動します。
		装置情報	「装置情報」へ移動します。
	◀	前の項目へ移動します。ただし、先頭項目の場合には、最終項目へ移動します。	
	▶	次の項目へ移動します。ただし、最終項目の場合には、先頭項目へ移動します。	
設定		無効	
上記以外のスイッチ		無効	

メニューモードでは、目的の設定値を上位の階層から順に選んで表示し、設定します。設定値までの階層の深さは項目によって異なります。

POINT

- ・プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、メニュースイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（オペレータパネルのデータランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データあり」と表示されている場合）は、メニューモードには移行できません。
- ・電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルに「節電中」と表示されることがありますが、メニューモードに移行できます。
- ・オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」（→ P.145）をご覧ください。

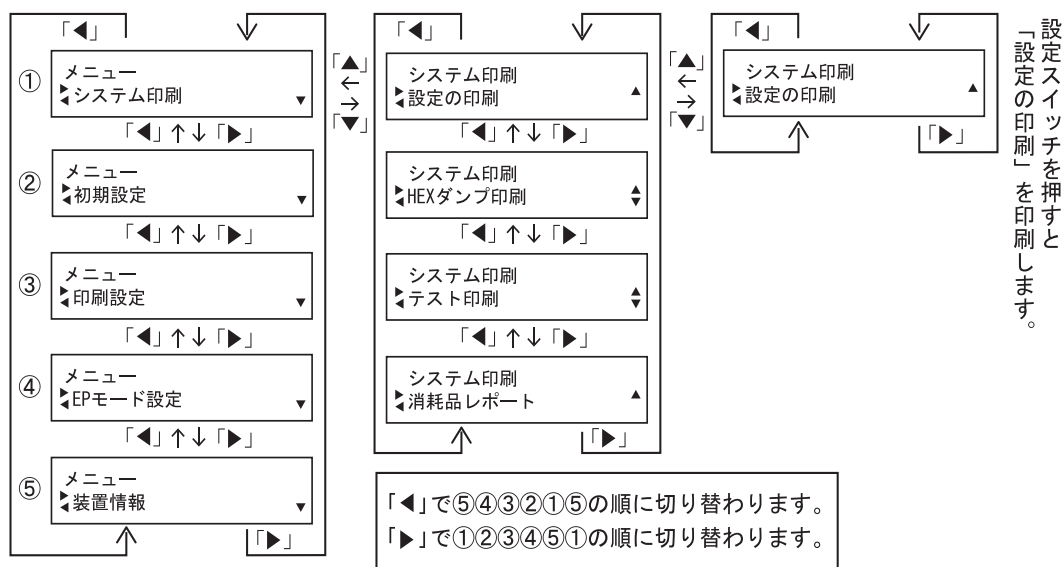
パスワード
▶ []

使用するスイッチ

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

スイッチ	説明
◀スイッチまたは▶スイッチ	同じ階層で項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
▲スイッチまたは▼スイッチ	上の階層または下の階層に移動します。
設定スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

■各スイッチによる切り替え例（設定の印刷時）



スイッチの使い分けと設定例

◀スイッチまたは▶スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は▲スイッチ、▼スイッチを使用します。

IPv4 アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

- 1 ▶スイッチまたは▶スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

IPv4アドレス

▶ * 0. 0. 0. 0 ▼

- 2 ▲スイッチ（加算）、▼スイッチ（減算）で値を設定します。

IPv4アドレス

▶ 192. 0. 0. 0 ▼

- 3 各ブロックの設定が終わったら、◀スイッチまたは▶スイッチでカーソルを左端に移動し、設定スイッチを押します。

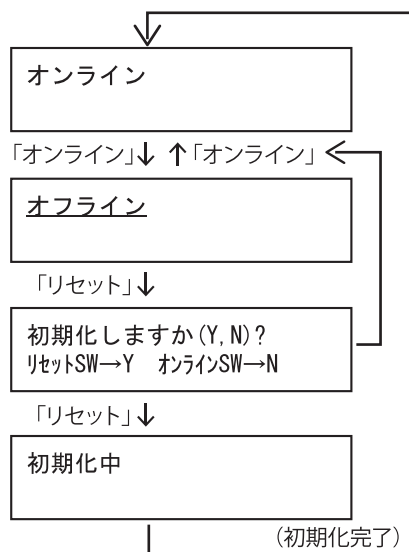
IPv4アドレス

▶ 192. 168. 100. 100 ▼

- 4 メニュースイッチ、またはオンラインスイッチを押します。

プリンタのリセット

オフライン状態でリセットスイッチを押すことにより、リセット処理を実行します。
リセット処理を実行した場合、印刷またはテスト印刷（連続印刷）を中断し、本体内部にあるジョブも消去されます。



テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、リセットスイッチを押すと終了します。

設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。
各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」（→ P.119）をご覧ください。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
システム印刷	設定の印刷				実行	現在の設定内容を印刷します。
					中止	
	HEX ダンプ印刷 [注 2]				設定	HEX ダンプ印刷を設定します。
					中止	
	テスト印刷	5%印字サンプル			実行	A4 SEF サイズ、300dpi で、印字率 5% のサンプルを印刷します。
					中止	
		ESC/P 印刷 [注 2]			実行	ESC/P モードで使用する各種文字（ANK、漢字、修飾）をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
					中止	
	消耗品レポート				実行	消耗品の交換履歴や警告発生履歴を印刷します。
					中止	

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
初期設定	IPv4アドレス 設定 [注 5]	DHCP 自動取得			* 設定	DHCP により、IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動取得します。
					解除	DHCP により、IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動取得しません。
		IPv4 アドレス [注 3]				IPv4 アドレス（0.0.0.0 ～ 255.255.255.255）を設定します。
		サブネット マスク [注 3]				サブネットマスク（0.0.0.0 ～ 255.255.255.255）を設定します。
		ゲートウェイ [注 3]				ゲートウェイ（0.0.0.0 ～ 255.255.255.255）を設定します。
	IPv6アドレス 設定 [注 5]	IPv6 アドレス				IPv6 アドレス （0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 ～ FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF）を 1 桁単位（0-F の範囲）で設定します。
	LAN 設定	MAC アドレス				MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ			* 自動	Ethernet のタイプを自動検出して動作します。
					1 0 0 M b p s Full	100Mbps（全二重）で動作します。
					1 0 0 M b p s Half	100Mbps（半二重）で動作します。
					10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IPv4 プロトコル			* 有効	TCP/IPv4 プロトコルを有効にします。
					無効	TCP/IPv4 プロトコルを無効にします。
		TCP/IPv6 プロトコル			有効	TCP/IPv6 プロトコルを有効にします。
					* 無効	TCP/IPv6 プロトコルを無効にします。
		ポート番号	印刷 ポート 番号		9313	印刷を受け付ける場合に使用するポート番号を、1 ～ 65535 の範囲で設定します。
			検索 ポート 番号		9313	ネットワーク内のプリンタ装置を検索する場合に使用するポート番号を、1 ～ 65535 の範囲で設定します。
		サービス設定 [注 4]	プリンタ検索		* 有効	プリンタ検索サービスを有効にします。
					無効	プリンタ検索サービスを無効にします。
			Internet Service		* 有効	Internet Service を有効にします。
					無効	Internet Service を無効にします。
			SNMP		* 有効	SNMP を有効にします。
					無効	SNMP を無効にします。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
初期設定	LAN 設定	サービス設定 [注 4]	プリンタ 起動通知		* 定期通知	プリンタ起動通知を有効にします (プリンタ起動時に通知し、以後 15 秒ごとに通知します)。	
					起動時のみ	プリンタ起動通知を有効にします (プリンタ起動時のみ通知しま す)。	
					無効	プリンタ起動通知を無効にしま す。	
				BPP 印刷		* 有効	LAN 印刷（BPP 印刷）を有効に します。
					無効	LAN 印刷（BPP 印刷）を無効に します。	
				IPP 印刷		* 有効	IPP 印刷を有効にします。
					無効	IPP 印刷を無効にします。	
				LPR 印刷		* 有効	LPR 印刷を有効にします。
					無効	LPR 印刷を無効にします。	
				RAW 印刷		* 有効	RAW 印刷を有効にします。
					無効	RAW 印刷を無効にします。	
			省電力 (EEE) 機能		* 有効	省電力（EEE）機能を有効にしま す。	
				無効	省電力（EEE）機能を無効にしま す。		
		ポート設定	パラレル ポート設定	双方向モード		* 設定	双方向インターフェースを有効に します。
						解除	双方向インターフェースを無効に します。
	INIT 受信				* 有効	INIT 信号を受信した場合の初期化 動作を有効にします。	
					無効	INIT 信号を受信した場合の初期化 動作を無効にします。	
	タイムアウト 時間				30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、 他のポートからの印刷を可能とす るまでの時間を、10 ～ 3600 秒の 範囲（10 秒単位）で設定します。	
	USB ポート 設定			タイムアウト 時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、 他のポートからの印刷を可能とす るまでの時間を、10 ～ 3600 秒の 範囲（10 秒単位）で設定します。
	管理 / 初期化		メニュー操作 制限 [注 4]			設定	メニューモード起動時にパスワー ドを要求します。 ただし、項目確定にはパスワード が必要となります。
					* 解除	メニューモード起動時にパスワー ドを要求しません。	
		LAN 初期化					IP アドレス、LAN 設定、お気に入り の URL（Internet Service）設定 内容をご購入時の初期値に戻しま す。
		設定初期化					Flash-ROM、Panel-RAM、Active- RAM の内容をご購入時の初期値 に戻します。 ただし、IP アドレス、LAN 設定の 設定内容は、初期化の対象外とな ります。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）		
初期設定	管理 / 初期化	パスワード 変更					パスワード（1 ～ 4 桁の数字）を 変更（設定）します。このパス ワードは、「メニュー操作制限」 を設定する場合と、メニュー操作 制限設定時にメニューモードを起 動する場合に使用します。	
		消耗品履歴 初期化					消耗品の交換履歴および警告発生 履歴をご購入時の初期値に戻し ます。	
	その他の設定	節電モード				* スリープ	「節電時間」で設定された時間が 経過した場合には節電 2 状態と なります。また、節電 2 状態への 移行から約 67 秒経過後、装置制御 CPU を停止します。	
						節電 2	「節電時間」で設定された時間が 経過した場合、エンジン部ヒー ター、FAN、モーター、およびエン ジン部 CPU を停止し、オペレー タパネル表示を OFF にします。	
						節電 1	「節電時間」で設定された時間が 経過した場合、エンジン部のヒー ターとモーターを OFF にします。	
		節電時間					* 10 秒	節電モードとなるまでの時間を 10 秒に設定します。
							1 分	節電モードとなるまでの時間を 1 分に設定します。
							15 分	節電モードとなるまでの時間を 15 分に設定します。
							30 分	節電モードとなるまでの時間を 30 分に設定します。
							60 分	節電モードとなるまでの時間を 60 分に設定します。
							120 分	節電モードとなるまでの時間を 120 分に設定します。
		ブザー					* 2 秒	アラームが発生時に、ブザーが 2 秒間鳴動します (いずれかのスイッチを押すか、 エラーが自動で解除された場合は 鳴動が停止します)。
							10 秒	アラームが発生時に、ブザーが 10 秒間鳴動します (いずれかのスイッチを押すか、 エラーが自動で解除された場合は 鳴動が停止します)。
							連続	アラームが発生時に、ブザーが連 続で鳴動します (いずれかのスイッチを押すか、 エラーが自動で解除された場合は 鳴動が停止します)。
							OFF	アラームが発生しても、ブザーが 鳴動しません。
		タッチ音					* ON	スイッチを押したとき、タッチ音 が鳴動します。
							OFF	スイッチを押しても、タッチ音が 鳴動しません。
		印字濃度調整					0	印字濃度を -3（薄）から 3（濃） の範囲（7 段階）で設定します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
初期設定	その他の設定	主 走 査 方 向 位置	給紙トレイ		0.0mm	スキャン方向の印刷位置を -3.5 ～ +3.5mm の範囲（0.5mm 単位）で設定します。
			カセット 1			
			カセット 2 [注 1]			
			カセット 3 [注 1]			
			カセット 4 [注 1]			
			両面設定	給紙トレイ		「両面設定」が選択された場合の設定対象（給紙トレイ、各カセット）を選択します。第五階層で設定対象（給紙トレイ、各カセット）ごとに、両面印刷時のスキャン方向の印刷位置が設定できます。
				カセット 1		
				カセット 2 [注 1]		
				カセット 3 [注 1]		
				カセット 4 [注 1]		
		副 走 査 方 向 位置	給紙トレイ		0.0mm	紙送り方向の印刷位置を -3.5 ～ +3.5mm の範囲（0.5mm 単位）で設定します。
			カセット 1			
			カセット 2 [注 1]			
			カセット 3 [注 1]			
			カセット 4 [注 1]			
			両面設定	給紙トレイ		「両面設定」が選択された場合の設定対象（給紙トレイ、各カセット）を選択します。第五階層で設定対象（給紙トレイ、各カセット）ごとに、両面印刷時のスキャン方向の印刷位置が設定できます。
				カセット 1		
				カセット 2 [注 1]		
				カセット 3 [注 1]		
				カセット 4 [注 1]		
		エミュレーション設定			* 解除	標準添付ドライバモードで動作します。 標準添付ドライバモード以外のモード用の各種コマンドを受信した場合には、何も処理をせず、コマンドを破棄します。
					ESC/P [注 6]	ESC/P エミュレーションモードで動作します。
		カートリッジ準備			* 続行	トナーカートリッジの交換準備検出後も印刷を続行します。
					停止	トナーカートリッジの交換準備検出で印刷を停止します。
		消耗品警告時の動作			* 節電 1 に制限	消耗品警告が発生すると、節電モードは節電 1 となります。
					節電設定に従う	消耗品警告が発生しても、節電モードの設定に従います。
		USB Serial No 通知			* 有効	USB シリアル No 通知機能が有効になります。
					無効	USB シリアル No 通知機能が無効になります。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
印刷設定	給紙口				給紙トレイ	1 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。	
					* カセット 1	2 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。	
					カセット 2 [注 1]	3 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。	
					カセット 3 [注 1]	4 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。	
					カセット 4 [注 1]	5 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。	
	自動給紙設定	給紙トレイ			* 有効	自動給紙の対象とします。	
		カセット 1			無効	自動給紙の対象としません。	
		カセット 2 [注 1]					
		カセット 3 [注 1]					
		カセット 4 [注 1]					
	用紙種類	給紙トレイ			* ドライバ 優先	給紙口ごとにセットする用紙の種類を設定します。	
		カセット 1			普通紙 L		
		カセット 2 [注 1]			普通紙		
		カセット 3 [注 1]			普通紙 H		
		カセット 4 [注 1]			厚紙 1L		
					厚紙 1		
					厚紙 2		
					ラベル紙 1		
					ラベル紙 2		
					封筒 [注 9]		
	ユーザ定義 サイズ [注 2]		給紙トレイ	ユーザ定義幅		297mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 片面時：70 ～ 297mm 両面時：100 ～ 297mm
				ユーザ定義 長さ		210mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 片面時：127 ～ 432mm 両面時：148 ～ 432mm
			カセット 1	ユーザ定義幅		297mm	カセット 1 にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 片面時：90 ～ 297mm 両面時：100 ～ 297mm
				ユーザ定義 長さ		210mm	カセット 1 にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148 ～ 432mm

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
印刷設定	ユーザ定義 サイズ [注2]	カセット2 [注1]	ユーザ定義幅		297mm	カセット2にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 片面時：90～297mm 両面時：100～297mm
			ユーザ定義長さ		210mm	カセット2にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148～432mm
		カセット3 [注1]	ユーザ定義幅		297mm	カセット3にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 片面時：90～297mm 両面時：100～297mm
			ユーザ定義長さ		210mm	カセット3にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148～432mm
		カセット4 [注1]	ユーザ定義幅		297mm	カセット4にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 片面時：90～297mm 両面時：100～297mm
			ユーザ定義長さ		210mm	カセット4にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148～432mm
	両面印刷				設定	両面印刷を実行します。
					* 解除	両面印刷を実行しません（片面印刷を実行します）。
	印刷方向 [注2]				縦	行が用紙の短辺と平行になるように印刷します。 ただし、上端および左端の余白は追加しません。
					縦余白	行が用紙の短辺と平行になるように印刷します。 また、上端および左端の余白も追加します。
					横	行が用紙の長辺と平行になるように印刷します。 ただし、上端および左端の余白は追加しません。
					横余白	行が用紙の長辺と平行になるように印刷します。 また、上端および左端の余白も追加します。
縮小印刷 [注2]					* 100%	縮小印刷の設定値を100%（通常）に設定します。
					75%	縮小印刷の設定値を75%（A3→B4、A4→B5）に設定します。
					70%	縮小印刷の設定値を70%（A3→A4、A4→A5、B4→B5）に設定します。
					リスト印刷 A4	縮小印刷の設定値をリスト印刷 A4（A4 横、75% 縮小）に設定します。
					リスト印刷 B4	縮小印刷の設定値をリスト印刷 B4（B4 横）に設定します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
印刷設定	コピー枚数 [注 2]				1 枚	ESC/P モードで印刷を実行する場合のコピー枚数を、1 ～ 999 枚の範囲で設定します。
	とじしろ方向 [注 2]				長辺とじ	用紙の長辺側をとじしろにします。
					短辺とじ	用紙の短辺側をとじしろにします。
	とじしろモード [注 2]				左 / 上とじ	用紙の左側または上側をとじしろにします。
					右 / 下とじ	用紙の右側または下側をとじしろにします。
	とじしろ量 [注 2]	おもて			0mm	表のとじしろ量を、0 ～ 30mm の範囲で設定します。
		うら			0mm	裏のとじしろ量を、0 ～ 30mm の範囲で設定します。
	スムージング [注 2]				* 設定	印刷時、文字や図形の輪郭を滑らかにします。
					解除	印刷時、文字や図形の輪郭を滑らかにしません。
	トナーセーブ [注 2]				設定	印刷時、トナーの消費量を節約します。[注 7]
					* 解除	印刷時、トナーの消費量を節約しません。
	データなし印刷 [注 2]				設定	データなしページの場合でも印刷します。
					* 解除	データなしページの場合には印刷しません。 ただし、オーバーレイ登録中の場合には、データなしページであっても印刷します。
EP モード 設定 [注 2]	文字コード				* カタカナ	カタカナコード表を使用します。
					グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。
	給紙位置 [注 8]				* 8.5mm	給紙位置を 8.5mm に設定します。
					22.0mm	給紙位置を 22.0mm に設定します。
	右 マー ジン 位置				* 用紙幅	使用する用紙の印刷領域の幅に設定します。
					136 桁	使用する用紙に関係なく、136 桁（13.6 インチ）に設定します。 用紙幅が 136 桁未満の場合、印刷領域を超えた部分は印刷されません。
	ANK 文字				* Roman	ANK 文字を Roman 書体で印刷します。
					SansSerif	ANK 文字を SansSerif 書体で印刷します。
	漢字書体				* 明朝	漢字を明朝体で印刷します。
					ゴシック	漢字をゴシック体で印刷します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
EP モード 設定 [注 2]	CR コード				*	CR のみ	CR（復帰）動作のみを行います。
						CR&LF	CR（復帰）動作と LF（改行）動作を行います。
	たて余白設定	たて上端余白				8.5mm	給紙位置 [注 8] が 8.5mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 8.5mm ～ 50.0mm
						22.0mm	給紙位置 [注 8] が 22.0mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 22.0mm ～ 50.0mm
		たて左端余白				5.0mm	左端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 5.0mm ～ 50.0mm
	よこ余白設定	よこ上端余白				8.5mm	給紙位置 [注 8] が 8.5mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 8.5mm ～ 50.0mm
						22.0mm	給紙位置 [注 8] が 22.0mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 22.0mm ～ 50.0mm
		よこ左端余白				5.0mm	左端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 5.0mm ～ 50.0mm
	印字位置調整	たて印字位置調整				0.0mm	縦方向の印字位置を、-30.0 ～ 30.0mm の範囲で、0.1mm 単位で設定します。
		よこ印字位置調整				0.0mm	横方向の印字位置を、-30.0 ～ 30.0mm の範囲で、0.1mm 単位で設定します。
装置情報	印刷ページ数					xxxxxxx ページ	総印刷ページ数を、0 ～ 9999999（10 進数）で表示します。
	カウンタ （A4 換算）					xxxxxxx ページ	A4 換算した場合の総印刷ページ数を、0 ～ 9999999（10 進数）で表示します。 A4 LEF サイズで換算した総印刷枚数です。
	メモリ容量					xxxx Mbyte	メモリ容量で表示します。 メモリ容量の値は、標準メモリと増設メモリの合計値（10 進数）となります。
	メイン ROM 版数					Version xx.xx	プログラム ROM の版数を表示します。
	ネットワーク 版数					Version xx.xx	ネットワーク版数を表示します。
	制 御 チ ッ プ 版数					Version xx.xx	制御チップ版数を表示します。
	エンジン ROM 版数					Version xx.xx	エンジン ROM 版数を表示します。
	エンジン ステータス					ST=xx	エンジンステータスの内容を表示します。
	センサー ステータス					XXX- XXX=XX	センサーステータスの内容を表示します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
装置情報	トナーカートリッジステータス	ID			XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX	トナーカートリッジ情報を表示します。
		PV			XXXXXXXXXX	
	ドラムカートリッジステータス	ID			XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX	ドラムカートリッジの情報を表示します。
		PV			XXXXXXXXXX	
	USBステータス				XXXXXXXXXX	USBの接続状態を表示します。
	LANステータス				a.bcd.efg.hi. j	LANの接続情報を表示します。
	IPv4アドレス表示	IPv4アドレス			xxx.xxx.xx x.xxx	IPv4アドレス（IPアドレス）の内容を表示します。
		サブネットマスク			xxx.xxx.xx x.xxx	IPv4アドレス（サブネットマスク）の内容を表示します。
		ゲートウェイ			xxx.xxx.xx x.xxx	IPv4アドレス（ゲートウェイ）の内容を表示します。
	IPv6アドレス表示	IPv6 アドレス	手動設定		xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6の各種アドレス（手動設定）を表示します。
			グローバル		xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6の各種アドレス（グローバル）を表示します。
			リンクローカル		xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6の各種アドレス（リンクローカル）を表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ X-X			* OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。変更しないでください。
					ON	

注1：「カセット2」、「カセット3」、「カセット4」は、それぞれが装着されている場合、表示されます。

注2：「エミュレーション設定」が解除されている場合は表示されません。

注3：「DHCP 自動取得」が設定されている場合、「IPv4 アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は表示されません。

注4：設定について詳しくは、「セキュリティに関する設定」をご覧ください。設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（FUJITSU Printer Internet Service）」の説明をご覧ください。

注5：「IPv4 アドレス設定」は「TCP/IPv4 プロトコル」が有効時のみ、「IPv6 アドレス設定」は「TCP/IPv6 プロトコル」が有効時のみ表示されます。

注6：ウイングアーク 1st 株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時に、プリンタの機種を「EPSON ESC/Page」にして印刷するときは、エミュレーション設定を「ESC/P」にします。なお、プリンタの機種を「Dot Printer」（ESC/P）や「FUJITSU VSP」（FM シーケンス）にして印刷することはできませんので、ご注意ください。

注7：トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

注8：給紙位置が余白の最小値となります。

注9：角形2号、洋形長3号は「給紙トレイ」と「カセット1」にセットできます。
その他の封筒は「給紙トレイ」のみです。

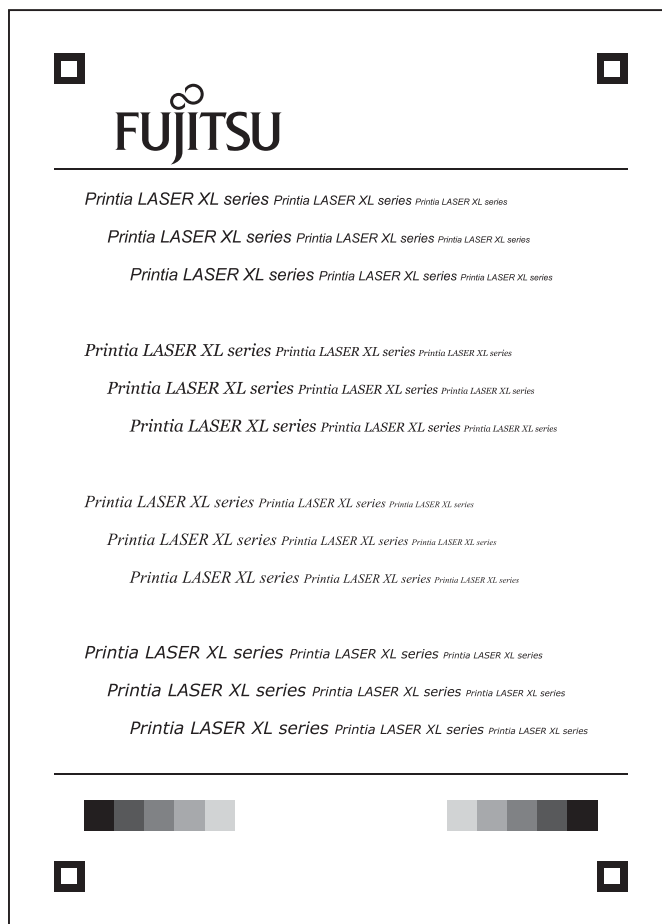
POINT

- ・印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがきサイズより小さいユーザー定義サイズの用紙は印刷できません。
印刷した場合は、「用紙サイズ不一致」または「用紙サイズ不足」と表示されますので、オペレータパネルに表示されたサイズの用紙をセットして再度印刷するか、いったん印刷をキャンセルして、他の用紙サイズに変更してから、再度印刷してください。
- ・用紙がない場合は「用紙なし」と表示されますので、用紙を補給してください。
- ・印刷を中止する場合は、リセットスイッチを押してください。
- ・LAN 設定で「TCP/IPv4 プロトコル」、「TCP/IPv6 プロトコル」を「無効」にしたときは、詳細な LAN 設定内容は印刷されません。また、「エミュレーション設定」を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

テスト印刷（印字率約 5% サンプル）

300dpi で印字率約 5% のサンプルを印刷します。印字率約 5% のサンプルは「システム印刷」→「テスト印刷」→「5%印字サンプル」で印刷します。

■印刷例



IP アドレスの設定

ここでは、プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。

設定方法は、お使いの環境（IPv4 アドレス環境／IPv6 アドレス環境）により異なります。

IPv4 アドレスの場合

本製品に IPv4 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- ・プリンタに直接設定する手動設定
- ・プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバーから自動的に取得する自動取得設定

なお、IPv4 アドレスの設定は、ネットワークに接続されたパソコンから、添付の㊟「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法については、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

■手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」で、まず「DHCP 自動取得」を解除してから、IPv4 アドレスの設定を行います。

メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除します。

- ▶スイッチまたは◀スイッチを押して、「解除」を選択します。設定スイッチを押すと、値が設定されます。初期設定は「設定」です。

DHCP自動取得	
▶ * 解除	▲

2 IPv4 アドレスを設定します。

1. ▲スイッチを押して、次の表示にします。

IPv4アドレス設定	
▶ DHCP自動取得	▼

2. ▶スイッチを押して「IPv4 アドレス」を選択し、▼スイッチを押します。

IPv4アドレス設定	
▶ IPv4アドレス	▼

3. ▶スイッチまたは◀スイッチを押して IP アドレスを変更するブロックを選択して、▲スイッチまたは▼スイッチで値を設定します。

IPv4アドレス	
▶ 192. 0. 0. 0	▼

4. 各ブロックすべてを設定したら設定スイッチを押します（この操作では、IPv4 アドレスはまだ反映されません）。

IPv4アドレス ▶ 192.168.100.100 ▼

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、▲スイッチを押して手順2の表示に戻した後、▶スイッチ◀スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で手順3～手順4の操作を行ってください。

3 設定が終わったらメニュースイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。

設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

■ DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」→「DHCP 自動取得」が「設定」になっていることを確認します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCP サーバーと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。プリンタの起動時に IPv4 アドレスを DHCP サーバーから取得します。

POINT

- ・「DHCP 自動取得」が設定されている場合、「IPv4 アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は表示されません。
- ・ DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じ IP アドレスを取得できるように、DHCP サーバーにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「MAC アドレス」をご覧ください。設定の一覧を印刷してください。
- ・ DHCP による自動取得の場合、IPv4 アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
取得した IPv4 アドレスは、メニューモードの「装置情報」→「IPv4 アドレス表示」で確認することができます。
- ・ IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IPv4 アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」→「DHCP 自動取得」（「手動設定の場合」（→ P.135）の手順1～手順2参照）が「設定」になっているか確認します。「解除」の場合は、「設定」に変更してください（初期値は「設定」です）。
設定変更後、メニューモードを解除するとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

IPv6 アドレスの場合

本製品に IPv6 アドレスを設定する場合、次の2種類の方法で自動取得できます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法もあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- ・ リンクローカルアドレス

同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。リンクローカルアドレスは、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」に設定すると、「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは1つです。

- ・グローバルアドレス

インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA (Router Advertisement) と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信された RA に含まれるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。

重要

- ・リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
- ・グローバルアドレスは、DHCPv6 を用いたステートフルアドレスを設定できません。ステートレスアドレスのみ設定できます。

■自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、メニューモードの「システム印刷」→「設定の印刷」で設定一覧を印刷し、「IP アドレス設定」内の「IPv6 アドレス設定」欄で確認できます。

■手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」で、「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」にしてから、IPv6 アドレスの設定を行います。

メニューモードで「初期設定」→「IPv6 アドレス設定」の順にクリックし、次の手順で設定してください。

重要

- ・次の IPv6 アドレスは、他の装置などで、すでに用途が定められている予約アドレスのため使用できません。プリンタに設定しないでください。
 - ・FE80 ～ FFFF で始まるアドレス（リンクローカルアドレス）
 - ・FF00 ～ FFFF で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）
- 間違って IPv6 アドレスを設定した場合は、正しい IPv6 アドレスに設定し直してください。

1 プリンタのオペレータパネルの表示が「オンライン」または「節電中」になっていることを確認します。

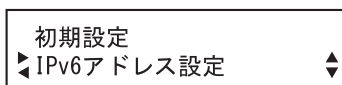
POINT

- ・プリンタの節電中ランプが点灯し、液晶ディスプレイが消えている場合は、節電中ランプ / 解除スイッチを押して、節電状態を解除してから設定してください。

2 メニュースイッチを押し、メニューモードに入ります。



3 ▶スイッチを押し、▼スイッチを押して「IPv4 アドレス設定」を選択します。



- 4** ▶スイッチを押して「IPv6 アドレス設定」を選択し、▼スイッチを押します。

IPv6アドレス設定	▼
IPv6アドレス	▼

- 5** ▼スイッチを押して「IPv6 アドレス」と表示します。

IPv6アドレス (1/2)	▼
▶ 0000:0000:0000:0000:	▼

- 6** ▶スイッチまたは◀スイッチで、カーソルを移動して▲スイッチまたは▼スイッチで（0～F）を1桁ずつ設定します。

IPv6アドレス (2/2)	▼
▶ 2000:0000:0000:0000:	▼

- 7** (1/2) 画面の設定が終わったら、▶スイッチを押して、(2/2) も設定します。

- 8** すべてを設定したら設定スイッチを押します。

ここではまだIPv6 アドレスは反映されていません。

IPv6アドレス (2/2)	▼
▶ 2001:DB80:1111:0000:	▼

- 9** 設定が終わったらメニュースイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。

設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

POINT

- ・設定するアドレスは、ルーターに設定されている、RA と同じアドレスを設定してください。合わせていない場合は、プリンタと通信できません。

(例)

ルーターの RA で設定しているアドレス：

2001:0DB8:1111:1000::

ルーターアドレス：

2001:0DB8:1111:1000:B494:35D0:8F88:2A3A

設定アドレス：

2001:0DB8:1111:1000:0217:42FF:FE78:A974

設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

TCP/IP の動作確認

TCP/IPv4、TCP/IPv6 が正常に動作しているかどうかの確認は、メニューモードの「システム印刷」→「設定の印刷」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IPv4、TCP/IPv6 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。

FUJITSU XL-xxxx

システム情報

装置号機	= LFxxxxxx	メインROM版数	= Ver xx.xx
総印刷ページ数	= 1234567ページ	ネットワーク版数	= Ver xx.xx
トナーカートリッジカウンタ	= 残り xx%	制御チップ版数	= Ver x.xx
ドラムカートリッジカウンタ	= 残り xx% (消耗率 xx%)	エンジンROM版数	= Ver xx.xx
定期交換キットカウンタ	= 残り xx% (消耗率 xx%)	メモリ容量	= 128MB
600K交換キットカウンタ	= 残り xx% (消耗率 xx%)		

装置寿命カウンタ = 残り
カウンタ (A4換算) = 12345
／装置寿命ページ数 = 12345
電源投入後総印刷ページ数 = 0
カートリッジ情報 = H
USBステータス = H

IPアドレス設定

IPv4アドレス設定		
DHCP自動取得	解除	
IPアドレス	192.1	66: 7777: 8888
サブネットマスク	= 255.2	66: 7777: 8888
ゲートウェイ	= 0.	66: 7777: 8888

LAN設定

MACアドレス	= 00000E850006	
Ethernetタイプ	= 自動認識	
TCP/IPv4プロトコル	= 有効	
TCP/IPv6プロトコル	= 有効	
印刷ポート番号	= 9313	
検索ポート番号	= 9313	
TCP/IPv4動作状態	= 2 (IPv4アドレス要求中)	
TCP/IPv6動作状態	= 0 (正常動作中)	
LANステータス	= 1.011.011.11	
アクセス管理	= 有効	
プリンタのURL (IPv4)	=	
プリンタのURL (IPv6)	=	

MACアドレス = 00000E850006
Ethernetタイプ = 自動認識
TCP/IPv4プロトコル = 有効
TCP/IPv6プロトコル = 有効
印刷ポート番号 = 9313
検索ポート番号 = 9313
TCP/IPv4動作状態 = 2 (IPv4アドレス要求中)
TCP/IPv6動作状態 = 0 (正常動作中)
LANステータス = 1.011.011.11
アクセス管理 = 有効
プリンタのURL (IPv4) = http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123
プリンタのURL (IPv6) = http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123

アクセス管理設定

アクセス管理	= 有効
プリンタのURL (IPv4)	= http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123
プリンタのURL (IPv6)	= http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123

TCP/IPv4 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IPv4 は正常に動作しています。
1	IPv4 アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IPv4 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IPv4 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切り、再び入れてください。
5	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。

コード	内容と処置
6	IPv4 アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IPv4 アドレスを設定してください。 DHCP で IPv4 アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。 STP（スパニングツリープロトコル）の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると、プリンタの IPv4 アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

TCP/IPv6 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IPv6 は正常に動作しています。
1	IPv6 グローバルアドレス取得中です。

LAN ステータス

LAN の接続情報を表示します。

参照画面では、▲スイッチで 1 つ上の階層へ戻ります。

LANステータス a.bcd.efg.hi.j ▲

LAN の接続状態を「a.bcd.efg.hi.j」の形式で表示します。各部の意味は次のとおりです。

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・ 1 : ネットワークに接続されています。 ・ 0 : ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bcd	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・ 1 桁目 ...1000Base-T (0 : Half/Full 無効 / 2 : Full 有効) ・ 2 桁目 ...100Base-TX (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効) ・ 3 桁目 ...10Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 3 : Half/Full 有効) 注 : メニューモードの「LAN 設定」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。
efg	ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・ 1 桁目 ...1000Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効) ・ 2 桁目 ...100Base-TX (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効) ・ 3 桁目 ...10Base-T (0 : Half/Full 無効 / 1 : Half 有効 / 2 : Full 有効 / 3 : Half/Full 有効) 注 : ハブによっては「000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。

各部	意味
hi	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・ 1 桁目 ...0 : Half / 1 : Full ・ 2 桁目 ...0 : 10Mbps / 1 : 100Mbps / 2 : 1000Mbps 注 : a が 0 のときは、「—」と表示されます。
j	省電力モード状態を表します ・ j=1 : 省電力モードが動いています。 ・ j=0 : 省電力モードが動いていません。

給紙トレイからの印刷

給紙トレイから印刷する場合で、プリンタドライバとオペレータパネルの設定内容、および異なるサイズ of 用紙を連続で印刷するときの対処方法について説明します。

必要な設定は、次の項目になります。

- ・ プリンタドライバの印刷設定
 - 用紙サイズ
印刷する用紙のサイズを指定します。
 - 給紙方法
「自動給紙」または「給紙トレイ」を指定します。
 - 給紙方向
「LEF（横送り）」または「SEF（縦送り）」を指定します。
また、給紙方法が「給紙トレイ」の場合は「プリンタ設定に従う」が指定でき、オペレータパネルの用紙サイズ設定で設定している給紙方向で印刷されます。
- ・ オペレータパネルの設定
 - 用紙サイズ設定
用紙サイズスイッチの「給紙トレイ」と「カセット n (n: カセット番号)」で、さまざまな用紙サイズを設定することができます。
初期設定は「A4LEF」です。
設定方法は、「用紙サイズスイッチからの操作方法」(→ P.114) をご覧ください。

POINT

- ・ 「ドライバ優先」を設定すると、プリンタドライバで指定された用紙サイズと給紙方向で印刷されます。
給紙トレイの用紙サイズは、「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.148) をご覧ください。

- 自動給紙設定
メニューモードの「印刷設定」→「自動給紙設定」で自動給紙の有効、無効を設定します。
初期設定は「有効」です。
「給紙トレイ」と「カセット n (n: カセット番号)」それぞれに、自動給紙の有効、無効の設定ができます。
メニューモードの設定方法は、「操作方法」(→ P.119) をご覧ください。

A4 用紙を LEF で印刷したい場合

プリンタドライバとオペレータパネルを次のように設定します。

- ・オペレータパネルで給紙トレイの用紙サイズ設定を A4LEF に設定します。

設定項目	プリンタドライバの設定			オペレータパネルの設定		印刷結果
	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]	
設定値	A4	自動給紙	—	A4LEF	有効 [注]	A4LEF で印刷されます
		給紙トレイ	LEF (横送り) プリンタ設定に従う			

注：設定値は、ご購入時に登録されている初期設定の状態です。

オペレータパネルの設定と異なった用紙サイズで印刷し、「用紙サイズ不一致」というエラーが表示された場合の対処方法

対処方法は 2 種類の方法があります。

例えば、A4LEF で印刷した後に、B5 用紙を LEF 方向でセットし、B5LEF 印刷する方法を説明します。

次のように、オペレータパネルが A4LEF の設定状態のままで B5LEF を印刷すると、オペレータパネルに「用紙サイズ不一致」エラーが表示され、印刷が停止されます。

設定項目	プリンタドライバの設定			オペレータパネルの設定	
	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]
設定値	B5	自動給紙	—	A4LEF	有効 [注]
		給紙トレイ	LEF (横送り) プリンタ設定に従う		



印刷結果
「用紙サイズ不一致」エラーで停止

注：設定値は、ご購入時に登録されている初期設定の状態です。

■オペレータパネルの用紙サイズ設定を「B5LEF」に変更する

1 給紙トレイの用紙サイズ設定を B5LEF に変更します。

オペレータパネルの用紙サイズ設定をプリンタドライバの設定と合わせることで、自動的にエラーを解除し、正常に印刷されます。

2 続けて、B5LEF で印刷します。

設定した用紙サイズで継続して印刷を行うことができます。

■給紙トレイの用紙の抜き差しを行う

1 B5 用紙を LEF 方向に再度セットします。

オペレータパネルの用紙サイズ設定は A4LEF のままで、給紙トレイの用紙を再セットすることで、自動的にエラーを解除し、正常に印刷されます。

POINT

用紙サイズ設定の状態は、プリンタドライバの設定により変わります。

- ・給紙方法が「自動給紙」の場合
印刷終了後、用紙サイズ設定は印刷した用紙サイズ（B5LEF）に変更されます。
- ・給紙方法が「給紙トレイ」の場合
印刷終了後、用紙サイズ設定はエラー発生時の状態のまま（A4LEF）ですが、一時的にプリンタドライバで指定された用紙サイズ（B5LEF）が印刷可能な状態となります。この一時的な印刷可能状態は、給紙トレイの用紙をすべて印刷するか、装置電源をオフすると、用紙サイズ設定の用紙サイズ（A4LEF）のみが印刷可能となります。

2 続けて、B5LEF で印刷します。

異なるサイズの用紙を連続で印刷する場合に、「用紙サイズ不一致」エラーが発生しないようにする方法

例えば、A5LEF で印刷した後に、B5LEF で印刷する方法を説明します。

1 次のように、用紙サイズ設定を「ドライバ優先」に設定します。

用紙サイズ設定を「ドライバ優先」に設定すると、プリンタドライバから指定された用紙サイズで印刷することができます。

A5LEF を印刷すると、正しく印刷されます。

設定項目	プリンタドライバの設定			オペレータパネルの設定	
	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]
設定値	A5	自動給紙	—	ドライバ優先	有効 [注]
		給紙トレイ	LEF（横送り）		
			プリンタ設定に従う		



印刷結果
A5LEF で印刷されます

注：設定値は、ご購入時に登録されている初期設定の状態です。

2 続けて用紙サイズ設定を「ドライバ優先」のまま B5LEF を印刷しても、エラーが表示されることなく印刷します。

プリンタドライバの設定				オペレータパネルの設定	
設定項目	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]
設定値	B5	自動給紙	—	ドライバ優先	有効 [注]
		給紙トレイ	LEF (横送り)		
			プリンタ設定に従う		



印刷結果
B5LEF で印刷されます

注：設定値は、ご購入時に登録されている初期設定の状態です。

給紙トレイに特殊紙、給紙カセットに普通紙をセットし、給紙口を指定して印刷する方法

特殊紙（プレプリント紙など）と普通紙が同じ用紙サイズで印刷したい給紙口を指定したい場合は、次のように設定します。

- 給紙トレイの特殊紙（A4LEF サイズ）を印刷する場合

給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「給紙トレイ」にして、用紙サイズ設定と同じ用紙サイズで印刷します。

プリンタドライバの設定				オペレータパネルの設定		印刷結果
設定項目	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]	
設定値	A4	「給紙トレイ」	LEF	A4LEF [注]	無効	



- 給紙カセットの普通紙（A4LEF サイズ）を印刷する場合

給紙トレイの自動給紙設定を「無効」、カセットの自動給紙設定を「有効」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「自動給紙」にして、用紙サイズ（サイズキー）と同じ用紙サイズで印刷します。

プリンタドライバの設定				オペレータパネルの設定			印刷結果
設定項目	用紙サイズ	給紙方法	給紙方向	給紙トレイの用紙サイズ設定 [用紙サイズスイッチ]	給紙トレイの自動給紙設定 [印刷設定メニュー]	カセットの自動給紙設定 (印刷設定)	
設定値	A4		LEF	A4LEF [注]	無効	有効 [注]	



注：設定値は、ご購入時に登録されている初期設定の状態です。

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

- ・セキュリティに関するすべての機能は、「FUJITSU Printer Internet Service」から設定することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。
「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「FUJITSU Printer Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「サービス設定」から行います。

POINT

- ・各設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IPv4 アドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IPv4 アドレス) を制限するかしないかを設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「アクセス管理」から行います。

POINT

- ・IP アドレスによるアクセス管理は、IPv4 アドレスのみ使用できます。
- ・IPv4 アドレスを制限する場合は、あらかじめ「FUJITSU Printer Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード (4 桁以内の数字) で制限します。

設定は、メニューモードの「初期設定」→「管理／初期化」→「メニュー操作制限」から行います。

パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニューモードの「初期設定」→「管理／初期化」→「パスワード変更」から行ってください。

「メニュー操作制限」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移行するときにパスワードの入力を要求されます。

パスワード ▶ []

▶ スイッチまたは ◀ スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、▲ スイッチまたは ▼ スイッチで値を設定した後、設定スイッチを押してください。

POINT

- ・パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
 - ・「FUJITSU Printer Internet Service」で新しいパスワードを設定
「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。
 - ・オペレータパネル操作制限無効モードで起動
メニュースイッチと設定スイッチを同時に押しながら、本製品の電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのトナーカートリッジやドラムカートリッジなど、消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

POINT

- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止し、通知する方法もあります。メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「カートリッジ準備」で「停止」を選択してください。
- ・「FUJITSU Printer Internet Service」の「E メール送信設定」を利用すると、消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーの発生などを、E メールで受信することができます。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。

履歴の保存

履歴は最大 500 件まで自動的に保存されます。500 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 500 件を保存します。

履歴の出力

履歴は次の方法で出力できます。

- ・レポート印刷

メニューモードの「システム印刷」→「消耗品レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。
消耗品履歴レポートの出力例

XL-XXXX 消耗品履歴レポート						
装置情報						
MACアドレス : xxxxxxxxxxxxxx						
ROM版数 : Ver xx, xx						
[ID]	[履歴採取日時]	[総印刷頁数]	[カウンタ (A4換算)]	[電源投入時間]	[ログ情報]	[要因]
OXX	yy/mm/dd xx:xx:xx	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	定期交換部品	定期交換キット警告発生
OXX	yy/mm/dd xx:xx:xx	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	定期交換部品	定期交換キット警告解除
:						
OXX	yy/mm/dd xx:xx:xx	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	カートリッジ	ドラム準備警告発生
OXX	yy/mm/dd xx:xx:xx	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	装置寿命	寿命残り20%

POINT

- ・「電源投入時間」では、電源が入れられていた累積時間が表示されます。単位は、時間になります。
- ・「FUJITSU Printer Internet Service」による CSV ファイル出力
「管理者モード」→「オプション情報」→「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。

6

第 6 章

使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で可以使用できる用紙とその保管方法について説明します。

1 使用できる用紙	148
2 使用できない用紙	154
3 用紙保管上のご注意	156

1 使用できる用紙

本製品で可以使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

給紙方法	用紙種類	重量	収容枚数	用紙サイズ
給紙トレイ	普通紙 L	60 ～ 80g/ m ²	約 100 枚 (64g/ m ² の用紙の場合)	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、 B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6LEF、B6SEF、 A6SEF、リーガル SEF、レター LEF、レ ター SEF、ユーザ定義サイズ
	普通紙	60 ～ 80g/ m ²		
	普通紙 H	60 ～ 80g/ m ²		
	厚紙 1L	81 ～ 105g/ m ²	横ガイドの上限線まで 郵便はがき：約 45 枚 封筒：約 10 枚 (レーザープリンタ用 封筒の場合) ラベル紙：約 75 枚	
	厚紙 1	106 ～ 163g/ m ²		
	厚紙 2	164 ～ 220g/ m ²		
	ラベル紙 1	75 ～ 90g/ m ²		
	ラベル紙 2	106 ～ 130g/ m ²		
	郵便はがき	190g/ m ²		
	往復はがき	190g/ m ²		
	封筒	封筒		
	長尺紙		1 枚	幅:2970mm(固定)×長さ:432.1 ～ 1200mm
給紙カセット (標準)	普通紙 L	60 ～ 80g/ m ²	約 550 枚 (64g/ m ² の用 紙の場合)	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、 B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6SEF、A6SEF、 リーガル SEF、レター LEF、レター SEF、 ユーザ定義サイズ
	普通紙	60 ～ 80g/ m ²		
	普通紙 H	60 ～ 80g/ m ²		
	厚紙 1L	81 ～ 105g/ m ²	横ガイドの上限線まで 郵便はがき：約 230 枚 封筒：約 55 枚 (レーザープリンタ用 封筒の場合) ラベル紙：約 380 枚	
	厚紙 1	106 ～ 163g/ m ²		
	厚紙 2	164 ～ 220g/ m ²		
	ラベル紙 1	75 ～ 90g/ m ²		
	ラベル紙 2	106 ～ 130g/ m ²		
	郵便はがき	190g/ m ²		
	往復はがき	190g/ m ²		
	封筒	封筒		
				はがき SEF
				往復はがき LEF、往復はがき SEF
			封筒 (洋形長 3 号 SEF、角形 2 号 SEF)	

給紙方法	用紙種類	重量	収容枚数	用紙サイズ
拡張給紙ユニット (オプション)	普通紙 L	60 ～ 80g/ m ²	約 550 枚 (64g/ m ² の用紙の場合)	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6SEF、A6SEF、リーガル SEF、レター LEF、レター SEF、ユーザ定義サイズ
	普通紙	60 ～ 80g/ m ²		
	普通紙 H	60 ～ 80g/ m ²		
	厚紙 1L	81 ～ 105g/ m ²	横ガイドの上限線まで郵便はがき：約 230 枚 封筒：約 55 枚 (レーザープリンタ用封筒の場合) ラベル紙：約 380 枚	
	厚紙 1	106 ～ 163g/ m ²		
	厚紙 2	164 ～ 220g/ m ²		
	ラベル紙 1	75 ～ 90g/ m ²		
	ラベル紙 2	106 ～ 130g/ m ²		

重要

- ・用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ・はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ・ラベル紙を印刷する場合は、ラベル紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き (用紙の送り方向)」の指定があるものは、その指定に合わせてください。
- ・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- ・厚紙を印刷する場合は、厚紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。
指でこすると、印字がはがれることがありますので、「普通紙 L」「普通紙」「普通紙 H」は選択しないでください。
- ・ユーザ定義サイズ用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
- ・ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。詳しくは、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」(→ P.219)をご覧ください。
- ・幅が 297 mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- ・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- ・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- ・用紙 (特に再生紙) は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
- ・シワ／斜行／角折れ／二重送り／紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール／反りを直してから用紙をセットしてください。
また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管／運用してください。
- ・用紙の状態によっては、紙詰まりやシワ／カールが発生する場合があります。
次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」(→ P.156) をご確認ください。
 1. 印刷方向を変えてみる (90° または 180°)。
 2. 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる。
 3. プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」(トナーの定着温度を少し低くする設定) にしてみる。
- ・封筒使用時は印刷品質が低下する場合があります。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。

一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけ「印刷確認済みの用紙」の推奨用紙をご使用ください。詳しくは、「推奨用紙」（→ P.227）をご覧ください。

項目	測定方法	推奨仕様 [注 1]
坪量	—	64 ～ 68g/ m ²
連量	—	55 ～ 58 kg
紙厚	JIS P-8118	88 ～ 94μm
密度	—	0.68 ～ 0.74g/cm ³
平滑度	JIS P-8119	表：23 ～ 47 秒、裏：20 ～ 37 秒
剛度（クラーク式）	JIS P-8143	主走査：28 ～ 60cm ³ /100、 副走査：70 ～ 123cm ³ /100
水分	JIS P-8127	4 ～ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止：0.45 ～ 0.75、動：0.40 ～ 0.70
紙質	—	中性紙
すき目方向	—	用紙の搬送方向と同じすき目の用紙 [注 2]

注1：開封直後の用紙を常湿環境（23℃、50%RH）で測定した値

注2：A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 230℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送／印刷／定着に関係する部品が汚損／変質／摩耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。プレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントは、ベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

重要

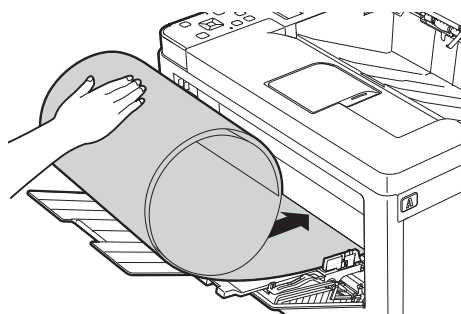
- ・金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
 - ・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
 - ・位置精度：A4 サイズで ±2 mm 程度（普通紙推奨用紙の場合）
 - ・用紙の傾き：100 mm あたり ±1 mm 程度（普通紙推奨用紙の場合）
 - ・画像の伸縮：100 mm あたり ±1 mm 程度（普通紙推奨用紙の場合）
- [注]：普通紙推奨用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

長尺紙

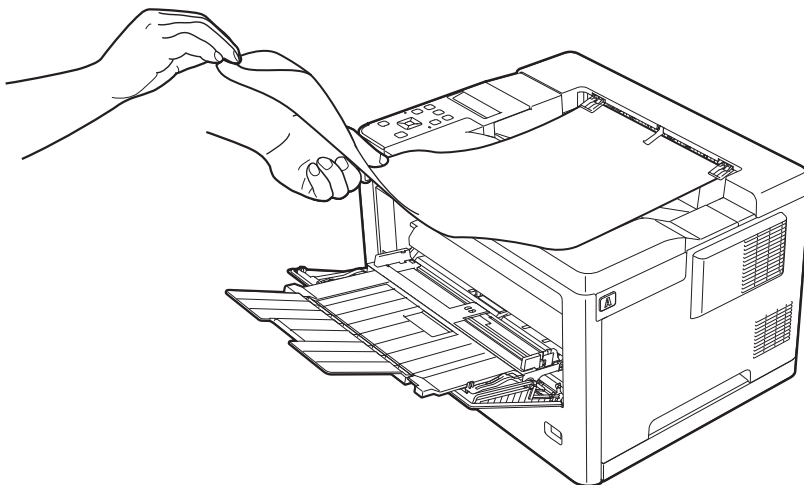
- ・ 縦や横に長いデータ（1200 mmの長さまで）を印刷することができます。印刷は FUJITSU Printer XL プリンタドライバのみ使用可能です。
- ・ 長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
給紙トレイに用紙をセットする方法は、「給紙トレイに用紙をセットする」(→P.68)をご覧ください。
- ・ 長尺紙は、「印刷確認済みの用紙」に記載の長尺紙をご使用ください。その他の用紙を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。
本製品で使用できる長尺紙については、「推奨用紙」(→P.227)をご覧ください。
- ・ 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

重要

- ・ 幅が 297 mm未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- ・ アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- ・ 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を充分に（10 mm以上）取って印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- ・ 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- ・ 長尺紙をセットするときは、給紙トレイに印刷面を上にして、次の図のように後端をまとめて手で支えてください。



- ・ 長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- ・ 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙詰まりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

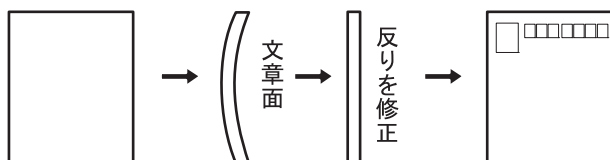


郵便はがき

郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください（ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください（両面印刷機能には、対応していません）。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。

1. 文章面を印刷
2. 反りがあるときは修正
3. 宛名面を印刷

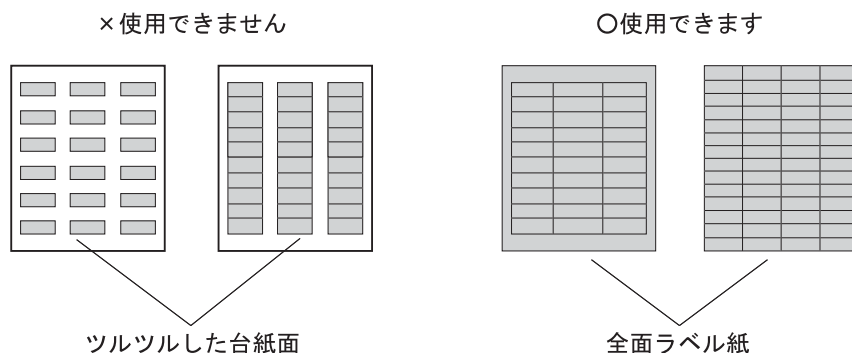


郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- ・印刷面を上にしてセットしてください。
- ・使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約230℃）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。



重要

- ・ラベル紙を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

封筒

給紙口によってセットできる封筒サイズが異なります。「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.148)をご覧ください。

重要

封筒を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。

2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

紙詰まり、二重送り、斜行を起こしやすい用紙

- ・ 厚すぎる用紙（220g/ m²より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（60g/ m²未満）
- ・ 湿っている用紙、濡れている用紙、乾燥しすぎている用紙
- ・ 一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
- ・ カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- ・ 表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- ・ 静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- ・ 四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
※ 四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- ・ 用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

印刷品質低下の原因となる用紙

- ・ ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- ・ 酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- ・ 表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- ・ 貼り合わせた用紙や、のりなどが付いている用紙
- ・ ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- ・ 紙粉の多い用紙
- ・ インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- ・ 水転写紙、布地転写紙
- ・ 絵入りはがき
- ・ クリーンルーム用の用紙（無じん紙）
- ・ 炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- ・ 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外の「ラベル紙」（→ P.152）
- ・ タックフィルム
- ・ インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230℃の熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- ・ 230℃の熱で溶けたり、変質したりする用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

- ・ 厚紙（164g/㎡～220g/㎡）、ラベル紙、長尺紙、郵便はがき、往復はがき、封筒

給紙カセットで使用できない用紙

角形 2 号、洋形長 3 号（SEF）以外の封筒、長尺紙は、給紙カセットでは使用できません。
給紙トレイを使用してください。

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・ 暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
- ・ 平らなパレットの上
- ・ 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

- ・ 床の上（直接置く）
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 外壁の内側の近く
- ・ 段差や、曲がりのある場所
- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- ・ 複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

- ・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・ 本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

- ・ 長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
 - ・ 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
 - ・ 印刷した用紙にシワが発生する
 - ・ 紙詰まりが発生する
- ・ 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- ・ 用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

7

第7章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

1 紙詰まりになったとき	158
2 故障かなと思ったとき	178
3 印刷品質が低下したとき	183
4 メッセージ一覧	191

1 紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラー番号と「紙詰まり」または「用紙残り」と表示されます。また、エラーメッセージには、「カセット n (n はカセット番号)」「プリンタ内部」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参照先については、「エラーメッセージ一覧」(→ P.192)をご覧ください。

表：エラーメッセージ一覧

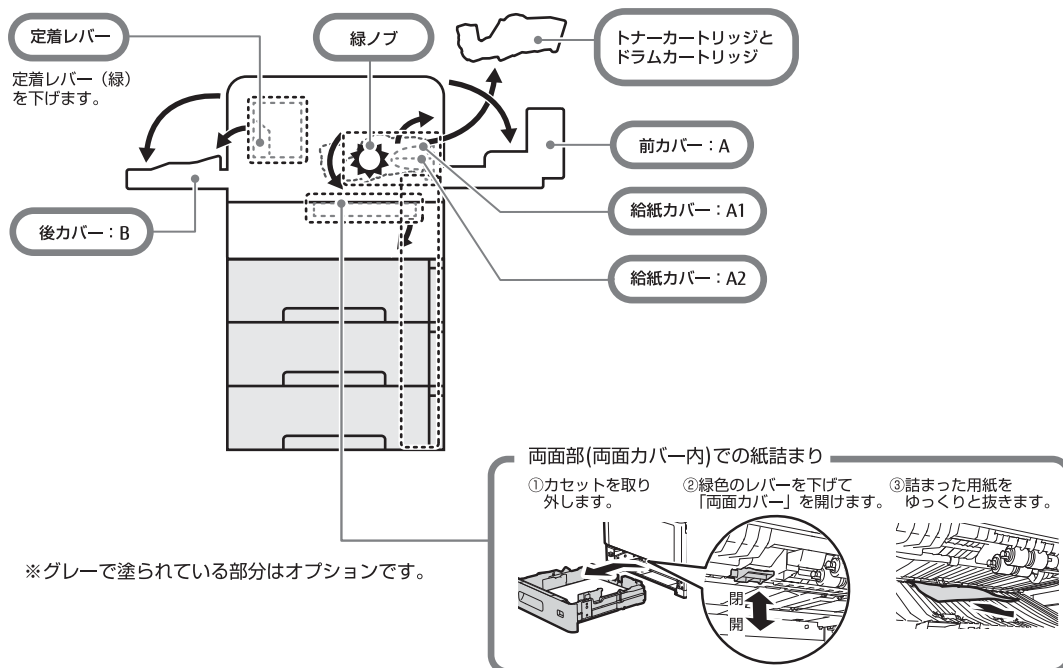
表示メッセージ	参照先
2401 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開ける	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162)
2402 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開ける	「搬送カバー [A2] 部に用紙が詰まっている場合」(→ P.166)
2403 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開ける	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2404 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開ける	
2405 紙詰まり<カセット 1> カセット 1 を抜く	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2242 紙詰まり<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2243 紙詰まり<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2244 紙詰まり<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去	
2245 紙詰まり<カセット 4> カセット 4 を抜き用紙除去	
2246 紙詰まり<給紙トレイ> 前カバーを開けて用紙除去	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「給紙トレイでの紙詰まり」(→ P.176)
2247 紙詰まり<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去	「給紙トレイでの紙詰まり」(→ P.176)
2252 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162) 「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)
2253 紙詰まり<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2254 紙詰まり<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去	
2261 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162) 「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2262 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2263 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162)
2264 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去	「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2265 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去	
2274 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2275 紙詰まり<両面部> 前後 / 両面カバー開け用紙除去	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162) 「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171) 「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2411 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開ける	「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2412 用紙残り<前カバー> 前カバーを開ける	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「搬送カバー [A2] 部に用紙が詰まっている場合」(→ P.166)
2413 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開け用紙除去	「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2415 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開け用紙除去	
2421 用紙残り<両面部> カセット 1 を抜く	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2431 用紙残り<プリンタ内部> 前カバー及び後カバーを開ける	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162) 「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169) 「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2441 用紙残り<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2442 用紙残り<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去	
2443 用紙残り<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去	
2444 用紙残り<カセット 4> カセット 4 を抜き用紙除去	
2445 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去	「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162) 「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)
2451 用紙残り<カセット 1/2> カセット 1/2 を抜き用紙除去	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2452 用紙残り<カセット 2/3> カセット 2/3 を抜き用紙除去	
2453 用紙残り<カセット 3/4> カセット 3/4 を抜き用紙除去	
5003 排紙トレイフル 用紙を取除いて下さい	排紙トレイから用紙を取り除いてください。

発生場所

次の図の $\cdots$ で囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。



紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- ・ プリンタを水平に設置する
- ・ 適切な用紙を使用する
- ・ 給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
- ・ カールしていない用紙を使用する
- ・ 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- ・ セットした用紙のサイズとサイズダイヤルとを一致させる
- ・ A4 サイズの場合は、用紙をセットする向きを変えてみる

A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで紙詰まりが改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。

詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

重要

- ・ 詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。
- ・ 詰まった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- ・ 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- ・ オペレータパネルのメッセージが、前カバーを開くと「0001 カバーオープン 前カバーを閉じてください」、後カバーを開くと「0004 カバーオープン 後カバーを閉じてください」と表示されます。前後カバーを開く前に紙詰まりのエラーメッセージ内容を確認してください。
また、前後カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。
- ・ 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- ・ 用紙は破れないように確実に取り除いてください。プリンタ本体の内部に紙片が残ると、再び用紙が詰まったり、故障の原因になったりします。
- ・ 何度も用紙が詰まるときは、次の原因が考えられます。
 - ・ 給紙カセットまたは拡張給紙カセットの横ガイドや縦ガイド、または給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、「用紙をセットする」(→ P.60)をご覧ください。
 - ・ 上記の内容を確認したうえでも用紙が詰まるときは、「お問い合わせ窓口」(→ P.232)に連絡してください。
- ・ カセットを外すときには手前を持ち上げながら引いてください。
- ・ トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

注意



- ・ 詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
ネクレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- ・ 詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「お問い合わせ窓口」(→ P.232)にご連絡ください。



- ・ プリンタ本体内部には高温の部分があります。紙詰まりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

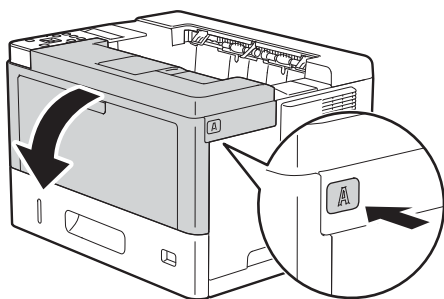


- ・ 紙詰まりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

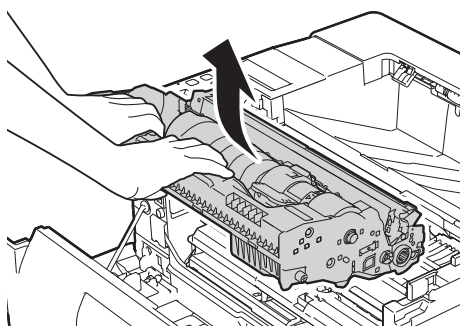
前カバー [A] での紙詰まり

奥側に用紙が詰まっている場合

- 1 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり両手で開けます。



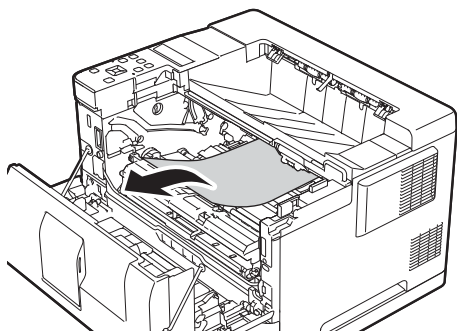
- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。



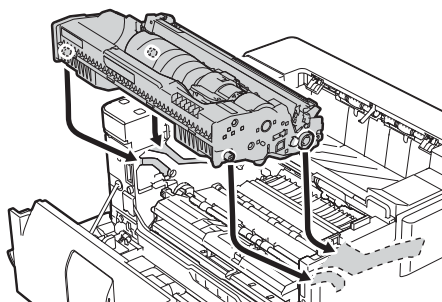
重要

- ・ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

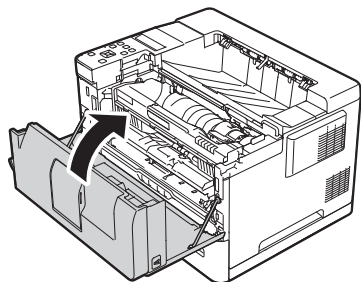


4 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



5 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

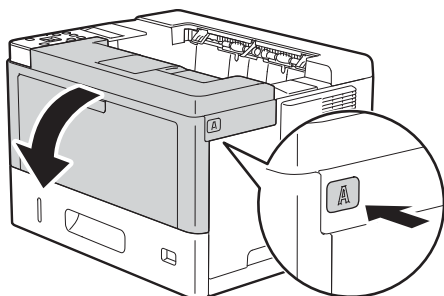


POINT

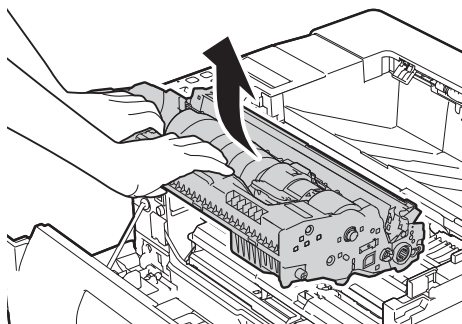
- ・ 前カバーを閉じるときは、カバー部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・ 前カバー開閉を実施しないとエラー解除ができません。

給紙カバー [A1] 部に用紙が詰まっている場合

- 1 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり両手で開けます。



- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。

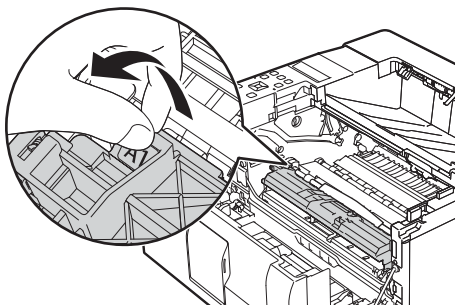


重要

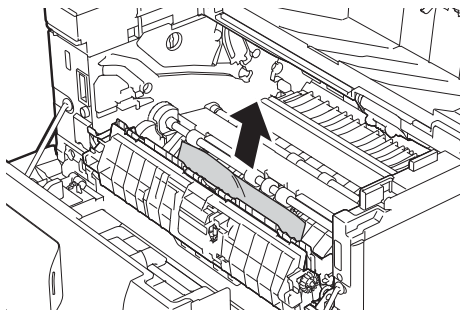
- ・ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも5分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

- 3 給紙カバー [A1] 部を手前に開きます。

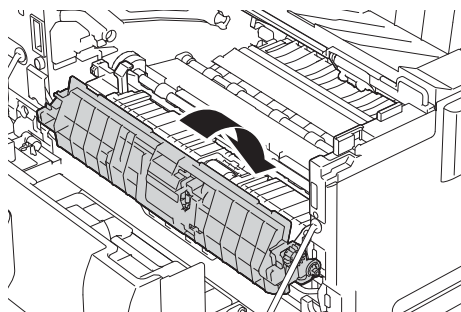
[A1] 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



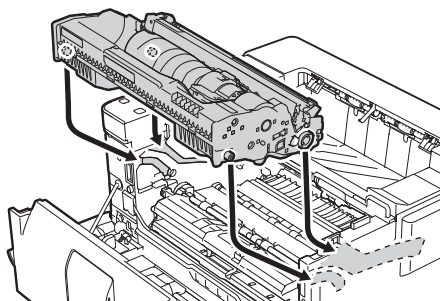
- 4** 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。



- 5** [A1] 部を閉じます。

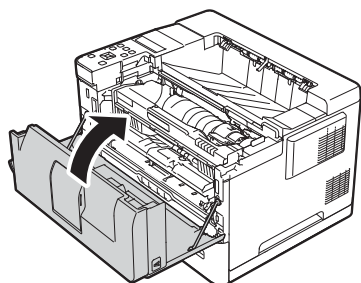


- 6** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



7 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

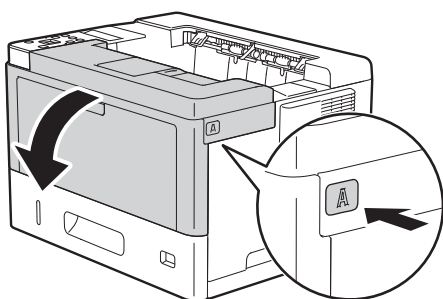


POINT

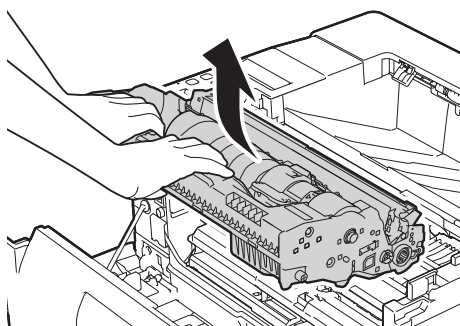
- ・ 前カバーを閉じるときは、カバー部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・ 前カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。

搬送カバー [A2] 部に用紙が詰まっている場合

- 1 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり両手で開けます。



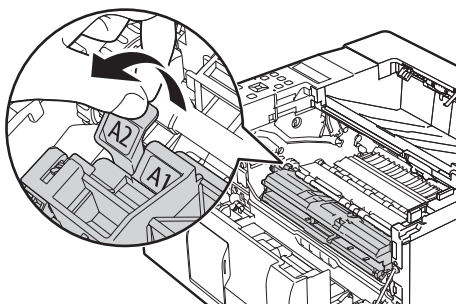
- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。



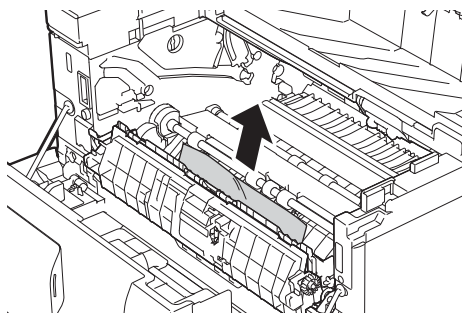
重要

- ・ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも5分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

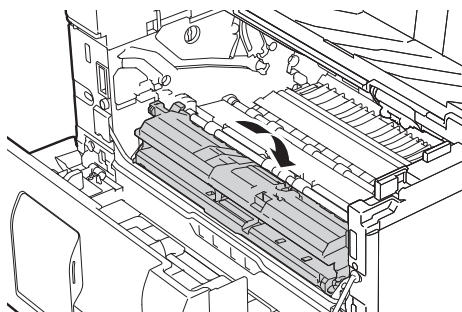
3 [A2] 部を手前に開け、閉じないように手で押さえます。



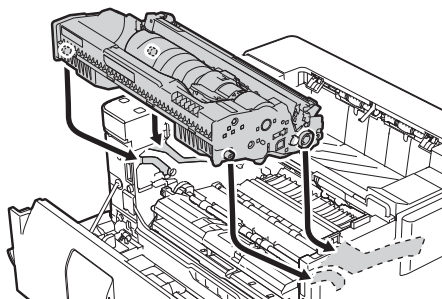
4 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。



5 [A2] 部を閉じます。

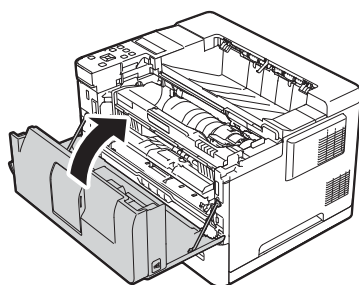


- 6** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



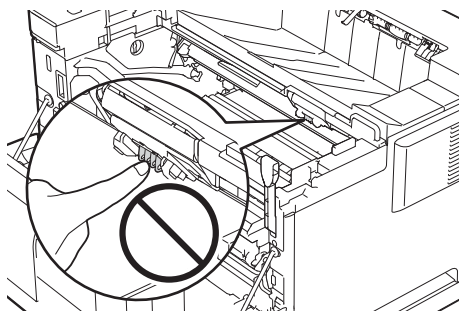
- 7** 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。



重要

- ・周囲の突起物には触らないでください。

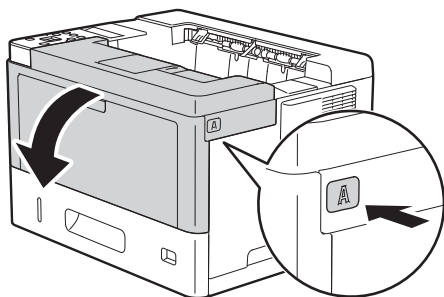


POINT

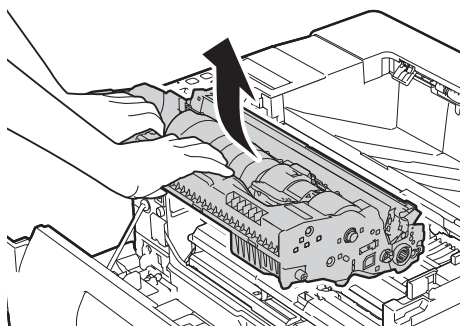
- ・前カバーを閉じるときは、カバー部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・前カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。

用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く

- 1 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり両手で開けます。



- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。

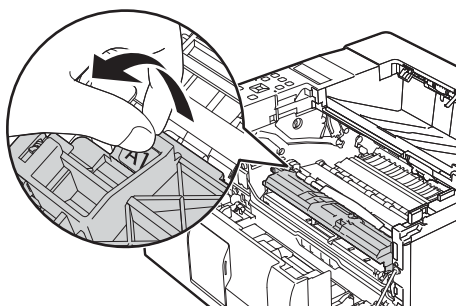


重要

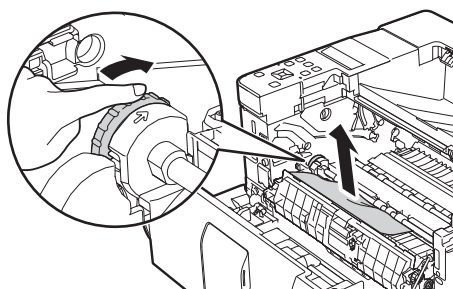
- ・ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。直射日光や強い光に当てないでください。通常の室内灯の下でも5分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

3 給紙カバー [A1] 部を手前に開きます。

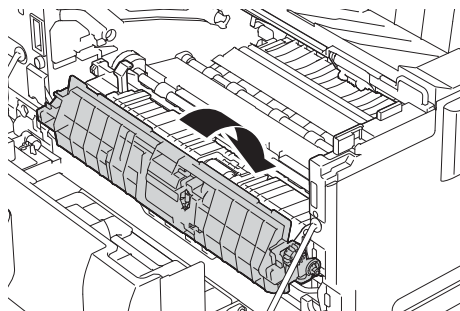
[A1] 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



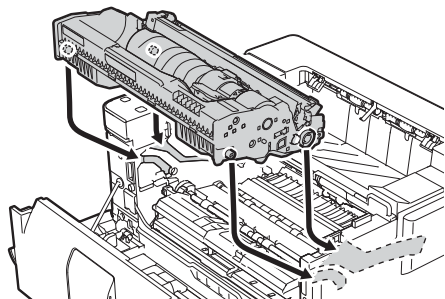
4 図の位置にある緑色のノブを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除きます。



5 [A1] 部を閉じます。

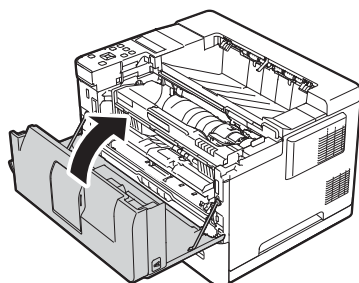


- 6** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



- 7** 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。



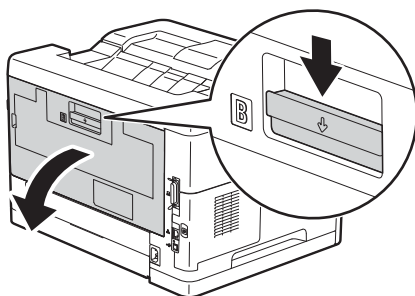
POINT

- ・前カバーを閉じるときは、カバー部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・前カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。

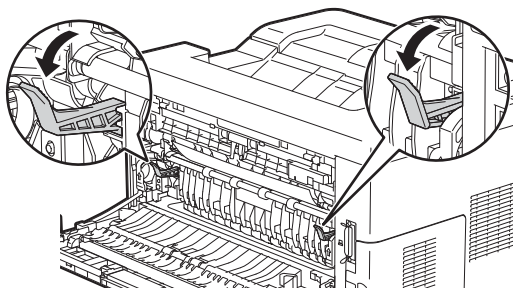
7

後カバー [B] での紙詰まり

- 1** 後カバーオープンボタン [B] を押して、後カバーを開けます。



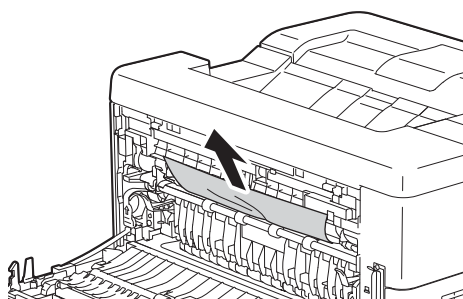
2 定着器の両端にある、緑色の定着レバーを下げます。



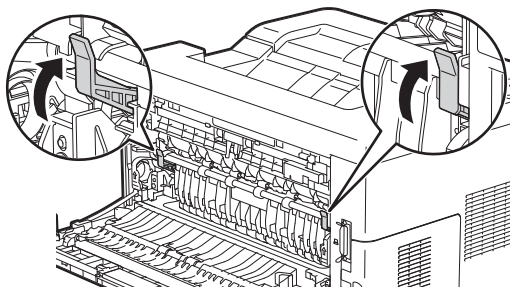
重要

定着器は高温になっています。直接触れるとやけどをすることがありますので、充分に注意してください。

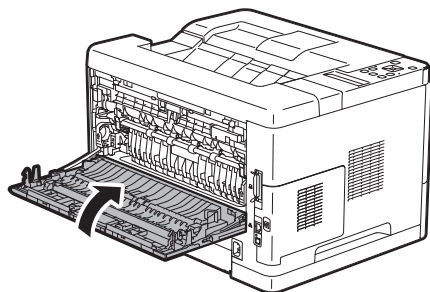
3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 緑色の定着レバーを矢印の方向に戻します。



5 後カバーをゆっくりと閉めます。



POINT

- ・ 後カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりを押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・ 後カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。
- ・ 後カバーに取り付けられているパネルは取り外さないでください。外れた場合は、両手で押し込んでください。

給紙カセットでの紙詰まり

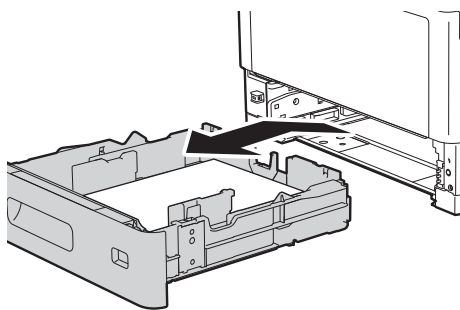
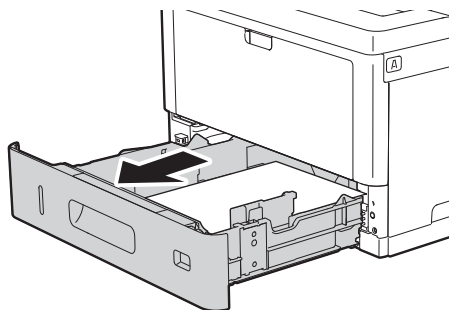
両面カバーに用紙が詰まっている場合

POINT

給紙カセット 2～4 は、オプションです。

1 給紙カセットの取っ手の部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。

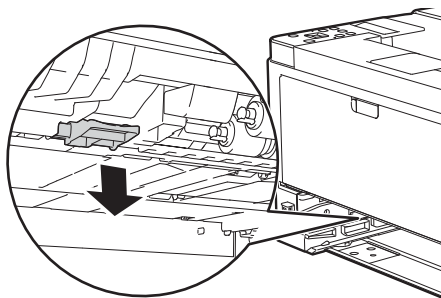
給紙カセットは平らな場所に置いてください。



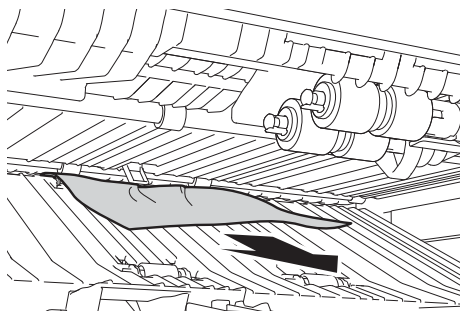
重要

2 つ以上の給紙カセットを同時に引き出さないでください。プリンタが転倒する可能性があります。

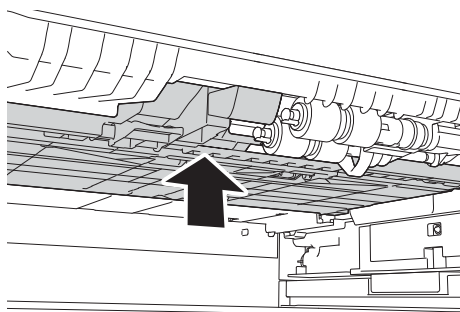
- 2** 両面カバーの緑色のレバーを押し下げ、両面カバーを開けます。



- 3** 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

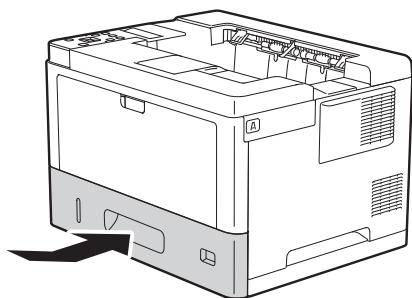


- 4** 緑色のレバーを上げて、両面カバーを閉じます。



- 5** 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。

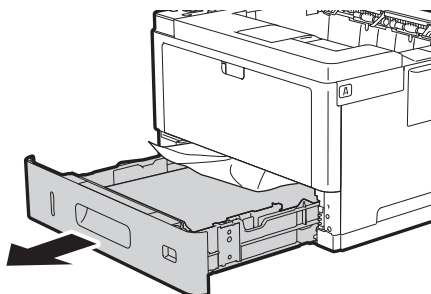


重要

- ・必ず両面カバーが閉じていることを確認してから、給紙カセットをセットしてください。
- ・勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて紙詰まりとなったり、装置破損の原因となったりします。

給紙カセット内に用紙が詰まっている場合

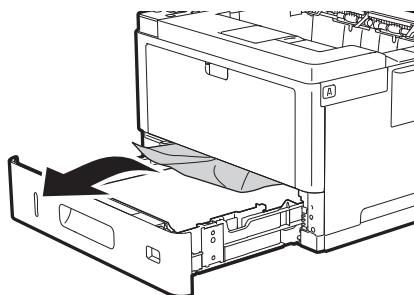
- 1 給紙カセットの取っ手の部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出します。



重要

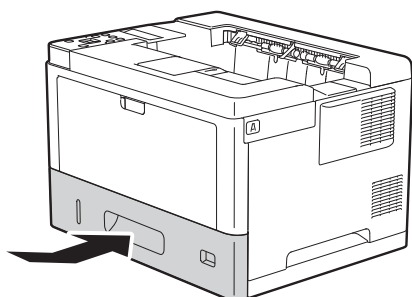
紙詰まりの位置を確認しないで給紙カセットを引き出すと、用紙が破れてプリンタの中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、液晶ディスプレイに表示されているエラーメッセージを確認してから処置をしてください。

- 2 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。
用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



- 3** 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。



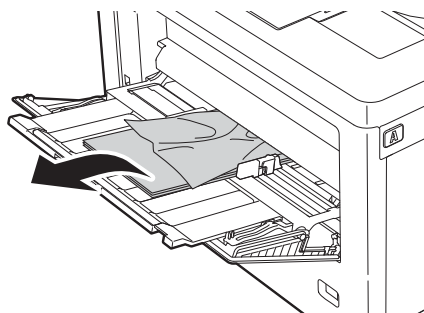
重要

勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて紙詰まりとなったり、装置破損の原因となったりします。

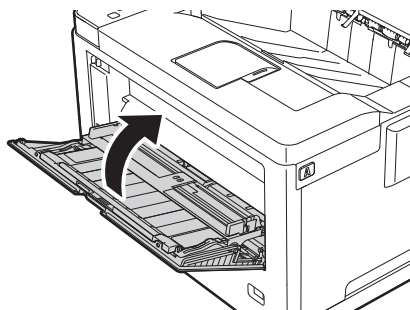
給紙トレイでの紙詰まり

- 1** 給紙トレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除きます。

用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

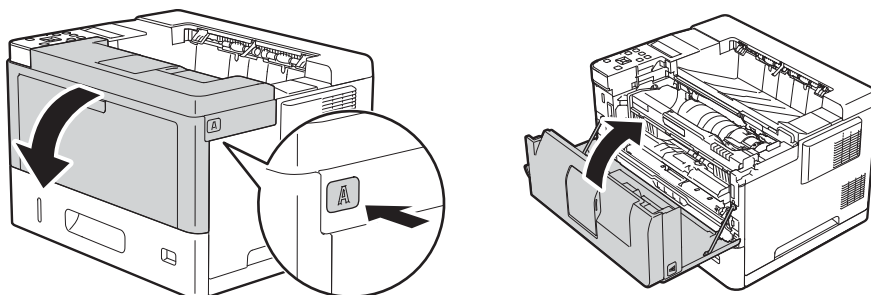


- 2** 給紙トレイを閉じます。



3 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを静かに閉じます。

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。



POINT

- ・ 前カバーを閉じるときは、カバー部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- ・ 前カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。

2 故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。それでも解決しないときは、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

POINT

- ・パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
・電源が入らない ・電源を入れてもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う ・電源スイッチを押しても電源が入らない	・電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（オペレータパネルの液晶ディスプレイ表示やLEDの点灯や点滅）ことを確認してください。 ・他の電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 ・電源コードを抜いて10分間放置後に再度電源コードを挿入して電源スイッチを押し、電源が入ることを確認してください。	・「安全上のご注意」（→ P.10） ・『設置ガイド』 ・「各部の名称と機能」（→ P.22）
印刷されない	・プリンタの電源が入っていない。 ・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。	・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。	・『設置ガイド』 ・「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.34） ・「パラレルケーブル接続の場合」（→ P.39） ・「プリンタ USB ケーブル接続の場合」（→ P.37）
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	サイズダイヤルまたはオペレータパネルの用紙サイズが正しくない。	・用紙サイズダイヤルの設定、用紙サイズダイヤルに設定のない用紙をお使いの場合は、オペレータパネルのメニューモードで用紙の設定が必要です。 ・カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされているか確認してください。	・「操作方法」（→ P.119） ・「用紙サイズスイッチからの操作方法」（→ P.114） ・「用紙をセットする」（→ P.60）
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている。	オペレータパネルの操作制限を解除してください。	「オペレータパネルの操作制限」（→ P.145）
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	スイッチの中央部をしっかりと押してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.111）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
オペレータパネルの液晶表示に何も表示されていない	節電モード（節電 2 またはスリープモード）に入っています。	オペレータパネルの電源／節電解除スイッチを押して節電を解除してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.111)
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。	・「用紙をセットする」(→ P.60) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.158)
用紙が傾く、破れる、詰まる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・給紙トレイや給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「安全上のご注意」(→ P.10) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147) ・「プリンタを清掃する」(→ P.97)
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「用紙をセットする」(→ P.60) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147) ・「プリンタを清掃する」(→ P.97)
紙詰まりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 ・給紙カセットが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙のセット方向を確認してください（A4 は横送り、縦送りの両方でセットできます）。 ・A3、B4、リーガルサイズの内紙は、縦送りでセットしてください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。 ・A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。 ・A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の内紙をお勧めします。A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の内紙をお勧めします。	・「安全上のご注意」(→ P.10) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.158) ・「プリンタを清掃する」(→ P.97)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切った。 ・紙詰まりが発生している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・電源を切った後（オペレータパネルの液晶ディスプレイやすべての LED が消灯していることを確認する）、数秒経過後に入れてください。	・『設置ガイド』 ・「紙詰まりになったとき」(→ P.158)

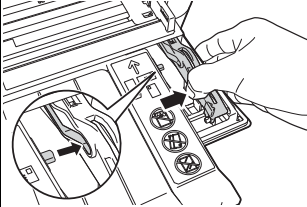
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。	「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191)
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・転写ローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙の裏紙を使用している。	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 ・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。	・「プリンタを清掃する」(→ P.97) ・「基本的な操作方法」(→ P.119) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.147)
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定 (OFF) にしている。 ・給紙トレイから用紙を補給している。	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「2 秒」、「10 秒」または「連続」の鳴動設定にしてください。 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。	「基本的な操作方法」(→ P.119)
トナーカートリッジを取り付けても「カートリッジ確認」エラーが表示される	・トナーカートリッジが正しくセットされていない ・トナーカートリッジが正しく認識されていない	・トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 ・トナーカートリッジがセットされていて、次のエラーメッセージが表示される場合には、トナーカートリッジを、セットし直してください。 K001 トナーカートリッジ 確認 トナーカートリッジを確認下さい	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けても、「カートリッジ確認」、または「カートリッジエラー」が表示される	・他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けている。 ・トナーカートリッジやドラムカートリッジが故障している。	・他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していないか確認してください。 ・前カバーを開いている場合には、前カバーを閉じてください。 ・純正のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合にはトナーカートリッジやドラムカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジに交換してください。 K004 トナーカートリッジエラー 正しいトナーをご使用下さい K006 ドラムカートリッジエラー 正しいドラムをご使用下さい	
印刷開始時や印刷中に「準備中」と表示される	印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	—
印刷中に「クールダウン1」もしくは「クールダウン2」と表示される	・大量に両面連続印刷した。 ・用紙サイズが切り替わった。	定着器や機内の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	—

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
1ページなのに両面印刷される	プリンタドライバの印刷面の設定が「両面」になっています。	本製品のプリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」です。「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「印刷面」の設定を「片面」に変更してください。	・『ソフトウェアガイド』 ・「印刷する」(→ P.76)
印刷中に「プロセス調整中」と表示され、印刷がいったん停止する	印刷中に、印刷画質の調整が必要になった。	ドラムカートリッジ / トナーカートリッジ内で印刷画質の調整をしています。プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	—
・液晶ディスプレイの表示が判読できない ・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動が起きた。	アースが正しく接続されていることを確認してください。	「安全上のご注意」(→ P.10)
連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い	アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。	・解像度を下げてください。 ・他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。	『ソフトウェアガイド』
	連続で 1 分以上、用紙幅 182mm 未満の用紙を印刷した場合	定着器の温度調整中でありプリンタの異常ではありません。	—
連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い (ユーザ定義サイズ用の紙を使用)	—	プリンタの異常ではありません。	「ユーザ定義サイズ用の紙を印刷する場合の印刷速度」(→ P.219)
・ネットワークに接続できない (リンクランプが点灯しない) ・ネットワーク経由での印刷速度が遅い	・LAN ケーブルが抜けている。 ・通信速度に適していない LAN ケーブルを使用している。 ・プリンタ、もしくはハブユニットの Ethernet タイプが一致していない。	・LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 ・通信速度に適した LAN ケーブルをご使用ください。 ・プリンタ、またはハブユニットの Ethernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。 Ethernet タイプには速度 (自動、100Mbps、10Mbps)、双方向モード (Full、Half) があります。	「LAN ケーブル接続の場合」(→ P.34)
ドラムカートリッジ交換後に印刷可能状態 (オンライン) になるまで時間がかかる	—	プリンタの異常ではありません。約 2 分半～3 分待つとオンラインになります。そのまましばらくお待ちください。	「ドラムカートリッジ交換方法」(→ P.88)
連続印刷中にいったん停止する	—	画質の調整中、または温度調整中です。プリンタの異常ではありません。	—

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
「プロセス調整中」、「準備中」、「クールダウン」のいずれかが表示されたままになり印刷可能状態にならない	—	お使いの環境によっては、印刷可能状態になるまで最長で5分程度かかる場合があります。5分を過ぎても印刷可能状態にならない場合は前カバーを一度開けて「カバーオープン」のエラーメッセージが表示される（プリンタは正常に動作していること）を確認してください。正常にエラー表示されたら、エラーを解除して印刷可能状態になるまで、しばらくお待ちください。	—
連続印刷中に排紙口付近から煙のようなものが出るときがある	—	プリンタの異常ではありません。 装置が比較的冷えている状態で、吸湿した用紙を使用すると定着器で用紙が加熱され水蒸気（湯気）が発生することがあります。 周囲および装置が温まると水蒸気（湯気）は見えなくなります。	—
給紙トレイの延長ガイドが外れた	給紙トレイの延長トレイは、斜めに力を加えると外れる場合があります。	外れた場合は、給紙トレイのレール部分を外側に押しながら、延長トレイの突起部分を溝に入れてください。 	—

3 印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

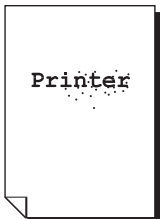
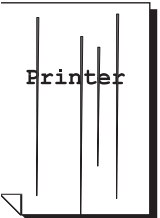
警告

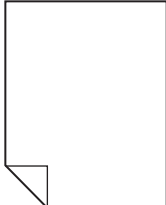
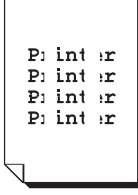


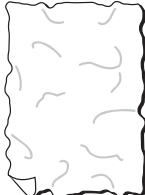
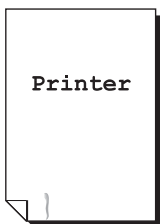
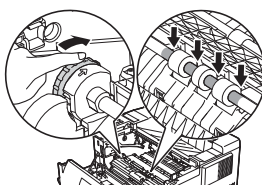
- ・ プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

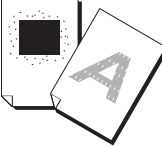
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）  	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「印字濃度調整」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.111）
	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「ドラムカートリッジ交換方法」（→ P.88）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.60）
	トナーカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 × × × × × × トナーカートリッジ準備	新しいトナーカートリッジに交換してください。 トナーカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化することがあります。 トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.82）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
	一度に複数枚の用紙が搬送されます。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	「用紙をセットする」（→ P.60）
	用紙が斜めにセットされています。	用紙をセットし直してください。	
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」（→ P.148） ・『ソフトウェアガイド』
	1dot/1line 線を印刷している。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「写真をきれいに印刷する」を ☒ にする、または解像度を落とすことで、改善されることがあります。	『ソフトウェアガイド』

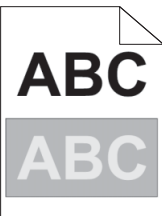
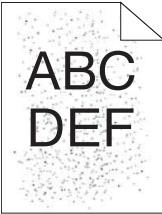
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）	図形の網かけなど、パターンで塗りつぶした文書が薄い。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「図形の中塗りパターンを拡大する」を ☒ にする、または解像度を 300dpi にすると、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「トナーセーブ」を ☒ にしている。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「トナーセーブ」を ☐ にすることで、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
	メニューモードにして、「印刷設定」→「トナーセーブ」を「設定」にしている。 「トナーセーブ」設定は「初期設定」→「その他の設定」→「エミュレーション設定」で「ESC/P」時に表示されます。	メニューモードにして、「印刷設定」→「トナーセーブ」を「解除」にすることで、改善される場合があります。	「トナーセーブ」(→ P.130)
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される 	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。 炭酸カルシウムを多く含んだ用紙は使用しないでください。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	トナー残量が少なくなった。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。		
	定期交換部品の交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× 定期交換キット準備 ×××××× 600K交換キット準備	オペレータパネルに表示されている定期交換部品を交換してください。	「定期交換部品について」(→ P.225)
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。		
		オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「テスト印刷（印字率約5%サンプル）」(→ P.134) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.158)

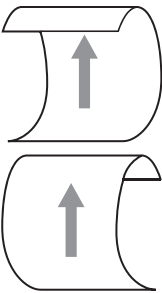
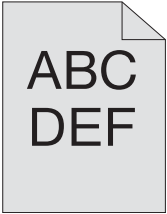
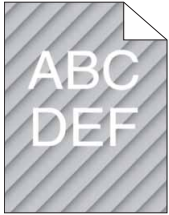
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
黒点や黒線が印刷される 等間隔に汚れる   	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。	「テスト印刷 (印字率約 5% サンプル)」(→ P.134)
	定着器が劣化、または損傷しています。	定着器の状態によって交換が必要な場合があります。 「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』
指でこすると、印字がはがれる 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	結露している。	プリンタを室温に充分になじませてください。	—
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』
	定着器が劣化、または損傷しています。	定着器の状態によって交換が必要な場合があります。 「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙全体に黒色が付いて印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない。	ドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
何も印刷されない 	装置添付のトナーカートリッジ(スターター) 使用時において、トナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。	「トナーシールの引き抜き方(スターターのみ)」(→ P.84)
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	ドラムカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
白抜けや白スジが出る  	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「ドラムカートリッジ交換方法」(→ P.88)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	トナーカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 × × × × × × トナーカートリッジ準備	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	ドラムカートリッジが寿命、劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
	定着器が劣化、または損傷しています。	定着器の状態によって交換が必要な場合があります。「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙にシワが付く 用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重走される 用紙が斜めに送られる 	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してみてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』
	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	プリンタが水平な場所に設置されていない。	プリンタを平らな場所に設置し直してください。	「プリンタを設置・接続する」(→ P.27)
給紙カセットがセットされていない。 紙の継ぎ足しをしている。	給紙カセットがセットされていない。	給紙カセットを、プリンタの奥までしっかりと押し込んでください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	紙の継ぎ足しをしている。	給紙カセットの用紙を使い切る前に用紙を継ぎ足す場合は、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。	
用紙の後端が汚れる 	プリンタ内部が汚れています。	プリンタ内部を清掃してください。 1. 清掃するときは「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)の手順 1~7 を実行します。 2. 緑色のノブを奥側に回しながら、図で示した部分を柔らかい布で拭いてください。  3. 清掃が終わったら「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)の手順 5~7 を実行します。	「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
文字がにじむ 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	ドラムカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。		
	x x x x x x ドラムカートリッジ準備		
縦長に白抜けする  矢印は用紙送り方向	トナーカートリッジが正しくセットされていない、またはトナーカートリッジやドラムカートリッジ内のトナーがかたよっている。	トナーロックレバーがロックされていることを確認し、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを正しくセットし直してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「ドラムカートリッジ交換方法」(→ P.88)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
	ドラムカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。		
	x x x x x x ドラムカートリッジ準備		
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みが かかっている 	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
不要なトナーが付く 	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「印字濃度調整」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.111)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 ドラムカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
文字や図形に残像が写る 	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」(→ P.111) ・「プリンタを清掃する」(→ P.97) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.158)
	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。	『ソフトウェアガイド』
	一度印刷された用紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.227) ・「使用できる用紙」(→ P.148) ・「使用できない用紙」(→ P.154)
	裏紙を使用している。		
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。		
ビーズ状の小さな点がある 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙がカールする  矢印は用紙送り方向	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です(用紙の裏表を逆にしたり、SEF(縦送り)/LEF(横送り)を入れ替えてたりして印刷してみてください。カールが低減される場合があります)。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.60)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。 特に、再生紙はカールしやすい傾向があります。「普通紙L」に設定し、印刷してみてください。	・「使用できる用紙」(→ P.148) ・『ソフトウェアガイド』
画像がぼやけている 	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「ドラムカートリッジ交換方法」(→ P.88)
斜線が入る 	トナー残量が少なくなった。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
斜めに印刷される 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60)

4 メッセージ一覧

オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージと、「Printianavi2」および「FUJITSU Printer Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

- ・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.191)
- ・「Windows 画面に表示されるメッセージ一覧」(→ P.205)

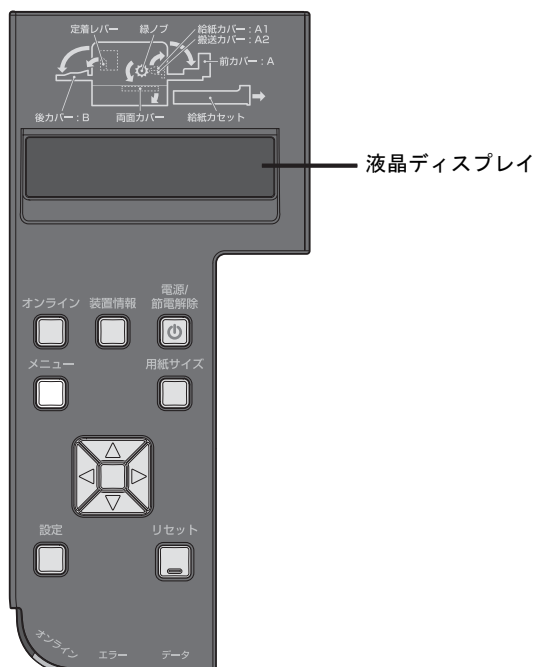
オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。

- ・「オンライン（印刷できる状態）時の表示内容」(→ P.115)
- ・「エラーメッセージ一覧」(→ P.192)
- ・「警告メッセージ一覧」(→ P.203)



エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0001 カバーオープン 前カバーを閉じて下さい	前カバーが開いていると表示されます。 前カバーを閉じてください。	—
0004 カバーオープン 後カバーを閉じて下さい	後カバーが開いていると表示されます。 後カバーを閉じてください。	
1007 カセットなし<カセット> カセットをセットして下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 (メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき) 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズ用の紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 (→ P.60)
1021 カセットなし<カセット1> カセットをセットして下さい	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット1に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1022 カセットなし<カセット2> カセットをセットして下さい	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット2に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1023 カセットなし<カセット3> カセットをセットして下さい	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット3に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1024 カセットなし<カセット4> カセットをセットして下さい	給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット4に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1100 用紙なし ccccccc → 給紙トレイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「用紙なし」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	
1101 用紙なし ccccccc → カセット1	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット1に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット1に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1102 用紙なし ccccccc → カセット2	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット2に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット2に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1103 用紙なし ccccccc → カセット3	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット3に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1104 用紙なし ccccccc → カセット 4	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 4 に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 (→ P.60)
1106 用紙なし ccccccc → トレイ / カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 自動給紙対象の給紙カセット (1 ~ 4) または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1107 用紙なし ccccccc → カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 (メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき) 自動給紙対象の給紙カセット (1 ~ 4) に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1221 用紙サイズ不一致 ccccccc → カセット 1	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1222 用紙サイズ不一致 ccccccc → カセット 2	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1223 用紙サイズ不一致 ccccccc → カセット 3	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1224 用紙サイズ不一致 ccccccc → カセット 4	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 4 に、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1226 用紙サイズ不一致 ccccccc → トレイ / カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット (1 ~ 4) または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズ of 用紙をセットすると印刷を開始します。	
1227 用紙サイズ不一致 ccccccc → カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1240 用紙サイズ不一致 ccccccc → 給紙トレイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 (→ P.60)
1320 用紙サイズ確認 ccccccc → 給紙トレイ	- 給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 - 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で利用できる用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.60) 「使用できる用紙」(→ P.148) 「使用できない用紙」(→ P.154)
1321 用紙サイズ確認 ccccccc → カセット 1	- 給紙カセット 1 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 - 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で利用できる用紙を正しくセットしてください。	
1322 用紙サイズ確認 ccccccc → カセット 2	- 給紙カセット 2 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 - 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で利用できる用紙を正しくセットしてください。	
1323 用紙サイズ確認 ccccccc → カセット 3	- 給紙カセット 3 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 - 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で利用できる用紙を正しくセットしてください。	
1324 用紙サイズ確認 ccccccc → カセット 4	- 給紙カセット 4 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 - 用紙が2枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で利用できる用紙を正しくセットしてください。	
1400 用紙サイズ不足 A4LEF → 給紙トレイ	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさを再度印刷してください。	「用紙をセットする」 (→ P.60)
1640 未サポート用紙サイズ 給紙トレイの用紙サイズを確認	指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2242 紙詰まり<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／ 排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが 発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を 取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外して プリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰 まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169) ・「給紙トレイでの紙 詰まり」(→ P.176)
2243 紙詰まり<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去		「給紙カセットでの紙 詰まり」(→ P.173)
2244 紙詰まり<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去		
2245 紙詰まり<カセット 4> カセット 4 を抜き用紙除去		
2246 紙詰まり<給紙トレイ> 前カバーを開け用紙除去		・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169) ・「給紙トレイでの紙 詰まり」(→ P.176)
2247 紙詰まり<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去		「給紙カセットでの紙 詰まり」(→ P.173)
2252 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去		・「前カバー [A] での 紙詰まり」(→P.162) ・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169)
2253 紙詰まり<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去		・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169) ・「給紙カセットでの 紙詰まり」(→P.173)
2254 紙詰まり<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去		
2261 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去		・「前カバー [A] での 紙詰まり」(→P.162) ・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169)
2262 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去		・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169) ・「後カバー [B] での 紙詰まり」(→P.171)
2263 紙詰まり<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去		「前カバー [A] での紙 詰まり」(→ P.162)
2264 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去		「後カバー [B] での紙 詰まり」(→ P.171)
2265 紙詰まり<排紙口> 後カバーを開け用紙除去		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2274 紙詰まり＜プリンタ内部＞ 前カバーを開け用紙除去	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外してプリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→P.169) ・「給紙カセットでの紙詰まり」(→P.173)
2275 紙詰まり＜両面部＞ 前後／両面カバー開け用紙除去	両面部で紙詰まりが発生すると表示されます。 プリンタ内部、排紙口／給紙カセット、または両面カバーの内部を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外してプリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、以下のカバーを閉じてください。 ・前カバー ・後カバー ・両面カバー（給紙カセット1内）	・「前カバー [A] での紙詰まり」(→P.162) ・「後カバー [B] での紙詰まり」(→P.171) ・「給紙カセットでの紙詰まり」(→P.173) ・「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→P.169)
2401 用紙残り＜プリンタ内部＞ 前カバーを開ける ↓ (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ドラムカートリッジを抜き 用紙除去	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外してプリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「前カバー [A] での紙詰まり」(→P.162) ・「後カバー [B] での紙詰まり」(→P.171)
2402 用紙残り＜プリンタ内部＞ 前カバーを開ける ↓ (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ドラムカートリッジを抜き 搬送カバーを開け用紙除去		
2403 用紙残り＜プリンタ内部＞ 前カバーを開ける ↓ (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ドラムカートリッジを抜き搬送 カバー を開け緑ノブを回し用紙除去		
2404 用紙残り＜プリンタ内部＞ 前カバーを開ける ↓ (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ドラムカートリッジを抜き搬送 カバー を開け緑ノブを回し用紙除去		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2405 用紙残り<カセット 1> カセット 1 を抜く ↓ ↓ (カセットを抜くと、表示変更) ↓ ↓ 両面カバーを開けて 用紙除去	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外してプリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2411 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開ける ↓ ↓ (後カバーを開けた後、表示変更) ↓ ↓ 定着レバーを倒し用紙除去		「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2412 用紙残り<前カバー> 前カバーを開ける ↓ ↓ (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ↓ ドラムカートリッジを抜き 搬送カバーを開け用紙除去		「前カバー [A] での紙詰まり」(→ P.162)
2413 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開け用紙除去		「後カバー [B] での紙詰まり」(→ P.171)
2415 用紙残り<プリンタ内部> 後カバーを開け用紙除去		
2421 用紙残り<両面部> カセット 1 を抜く ↓ ↓ (カセットを抜いた後、表示変更) ↓ ↓ 両面カバーを開け、用紙除去		「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2431 用紙残り<プリンタ内部> 前カバー及び後カバーを開ける ↓ ↓ (カバーを開けた後、表示変更) ↓ ↓ ドラムカートリッジを抜き定着 レバー を倒し用紙除去		・「前カバー [A] での紙詰まり」(→P.162) ・「後カバー [B] での紙詰まり」(→P.171) ・「用紙送りローラ付近で詰まった用紙を取り除く」(→ P.169)
2441 用紙残り<カセット 1> カセット 1 を抜き用紙除去		「給紙カセットでの紙詰まり」(→ P.173)
2442 用紙残り<カセット 2> カセット 2 を抜き用紙除去		
2443 用紙残り<カセット 3> カセット 3 を抜き用紙除去		
2444 用紙残り<カセット 4> カセット 4 を抜き用紙除去		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2445 用紙残り<プリンタ内部> 前カバーを開け用紙除去 (前カバーを開けた後、表示変更) ↓ ドラムカートリッジを抜き 給紙カバーを開け用紙除去	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／ 排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが 発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を 取り出し、ドラムカートリッジ／給紙カセットを取り外して プリンタ内部の表示されている箇所を確認してください。詰 まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「前カバー [A]」での 紙詰まり」(→P.162) ・「用紙送りローラ付 近で詰まった用紙 を取り除く」(→ P.169)
2451 用紙残り<カセット 1/2> カセット 1/2 を抜き用紙除去		「給紙カセットでの紙 詰まり」(→ P.173)
2452 用紙残り<カセット 2/3> カセット 2/3 を抜き用紙除去		
2453 用紙残り<カセット 3/4> カセット 3/4 を抜き用紙除去		
5003 排紙トレイフル 用紙を取除いて下さい	排紙トレイが用紙でいっぱいです。 すべての用紙を取り除いてください。	—
7002 メモリオーバー<停止中> 設定 SW で 1 部印刷します	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷 用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと 1 部のみ印 刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示 後、部単位印刷が再開されます。	—
7003 メモリ不足<停止中> 設定 SW で片面印刷します	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えま せん。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を ☒ にしている。 ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が ☒ のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保 できないとき 「Printianavi2」使用時は、設定スイッチを押す、または 3 秒経 過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと片面で印刷 されます。	「プリンタ RAM モ ジュールの取り付け」 (→ P.47)
7004 給紙指定エラー 自動給紙設定を設定して下さい	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を 「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示さ れます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙 設定を「有効」にして、印刷をし直してください。	—
7005 アンダーランエラー プリンタドライバの設定を確認	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されま す (アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処 理が追いつかない場合に発生します)。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さ くする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリ を増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってくだ さい。	—
7007 解像度無効 プリンタドライバを確認	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを 受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	—

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
7008 印刷データエラー 印刷データ及び接続を確認	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	—
7009 印刷データエラー 印刷データ及び接続を確認		
7020 印刷データエラー 印刷データ及び接続を確認		
7030 未サポートサイズ 印刷設定の用紙サイズを確認		
9001 コントローラエラー RAM エラー	ROM および RAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.232)
9003 コントローラエラー MAC アドレスエラー		
9004 コントローラエラー FLASH-ROM エラー		
9006 コントローラエラー EEPROM エラー		
9007 コントローラエラー プログラム ROM エラー		
9008 コントローラエラー USB デバイスエラー		
9009 コントローラエラー USB ホストエラー		
9101 拡張メモリエラー メモリ交換	いったん電源を切り、オプションの RAM モジュールを取り付け直してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9102 メモリバスエラー 拡張メモリ 取り外し		
9103 設定メモリエラー 登録初期化します		
9105 プログラムエラー プログラム ROM エラー		
9106 コントローラエラー FPGA エラー		
H091 定着器ユニット確認 定着器を確認して下さい	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に「電源を OFF/ON して下さい」というメッセージと交互に表示されます。 定着器を正しく装着してください。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
H092 拡張給紙ユニット確認 拡張給紙を確認して下さい	拡張給紙が外れてるか、正しく認識されていない場合に「電源を OFF/ON して下さい」というメッセージと交互に表示されます。 拡張給紙を正しく装着してください。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.232)
K001 トナーカートリッジ確認 トナーカートリッジを確認下さい	トナーカートリッジがセットされていないか、正しく認識されていない場合に表示されます。 トナーカートリッジをセット、またはセットし直してください。	「トナーカートリッジ やドラムカートリッジを交換する」 (→ P.82)
K002 ドラムカートリッジ確認 ドラムカートリッジを確認下さい	ドラムカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジをセットしてください。	
K003 トナーカートリッジ交換準備 設定 SW で印刷継続します	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、トナーカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）が近づくと表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（100 ページ以下）の印刷は可能です。	
K004 トナーカートリッジエラー 正しいトナーをご使用下さい	トナーカートリッジがセットされていないか、正しく認識されていない場合に表示されます。 トナーカートリッジをセット、またはセットし直してください。	
K005 トナーカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい	トナーカートリッジの交換時期（トナー残量がない）になると表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。	
K006 ドラムカートリッジエラー 正しいドラムをご使用下さい	ドラムカートリッジがセットされていないか、正しく認識されていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジをセット、またはセットし直してください。	
K007 トナーカートリッジ確認 トナー / ドラムを振り再セット	トナーカートリッジが正しく認識されていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジ（トナーカートリッジをセットした状態で）一度取り外し、振ってからセットし直してください。	
K008 トナーカートリッジ確認 トナーシールを引抜いてください	トナーシールが引き抜かれていない場合に表示されます。 トナーシールを引き抜いて、セットし直してください。	
K015 ドラムカートリッジ交換 設定 SW で印刷継続します	ドラムカートリッジの交換時期（感光体が寿命に達した）になると表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にドラムカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（100 ページ以下）の印刷は可能です。	
K016 ドラムカートリッジ交換 設定 SW で印刷継続します		
K017 ドラムカートリッジ交換 設定 SW で印刷継続します		
K018 ドラムカートリッジ交換 設定 SW で印刷継続します		
K019 ドラムカートリッジ交換 設定 SW で印刷継続します		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
K020 ドラムカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい	ドラムカートリッジの交換時期（感光体が寿命を過ぎた）になると表示されます。本エラーが表示されてからはドラムカートリッジを交換するまでは印刷を継続することができません。早急にドラムカートリッジを交換してください。	「トナーカートリッジ やドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
K021 ドラムカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい		
K022 ドラムカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい		
K023 ドラムカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい		
K024 ドラムカートリッジ交換 寿命です 交換して下さい		
M250 ハードエラー 通信エラー	ハードウェアの異常を検出した場合に、「電源を OFF/ON して下さい」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.232)
M251 ハードエラー 通信エラー		
M260 ハードエラー 通信エラー		
M2A0 ハードエラー 通信エラー		
M2A1 ハードエラー 通信エラー		
M2A2 ハードエラー 通信エラー		
M2A3 ハードエラー 通信エラー		
M2A4 ハードエラー 通信エラー		
M2B0 ハードエラー 通信エラー		
M2B1 ハードエラー 通信エラー		
M2B2 ハードエラー 通信エラー		
M2E0 ハードエラー 通信エラー		
M2E1 ハードエラー 通信エラー		
M2E2 ハードエラー 通信エラー		
M2F0 ハードエラー 通信エラー		
M2FF ハードエラー MCU エラー		
M300 ハードエラー MCU EEPROM エラー		
M301 ハードエラー 通信エラー		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
M302 ハードエラー 通信エラー	ハードウェアの異常を検出した場合に、「電源を OFF/ON して下さい」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.232)
M303 ハードエラー MCU エラー		
M304 ハードエラー MCU エラー		
M305 ハードエラー MCU エラー		
M400 ハードエラー 定着器エラー		
M420 ハードエラー トナーカートリッジエラー		
M430 ハードエラー ドラムカートリッジエラー		
M440 ハードエラー 温度センサエラー		
M441 ハードエラー 温度センサエラー		
M450 ハードエラー メインモータエラー		
M460 ハードエラー LPH エラー		
M461 ハードエラー ATC エラー		
M470 ハードエラー MCU ボードエラー		
M471 ハードエラー MCU ボードエラー		
M480 ハードエラー MCU ボードエラー		
M490 ハードエラー 高温異常検知		
M492 ハードエラー ファンエラー		
M510 ハードエラー 給紙カセット構成異常		
M511 ハードエラー 給紙カセット構成異常		
M520 ハードエラー カセット 2 モーターエラー		
M521 ハードエラー カセット 3 モーターエラー		
M522 ハードエラー カセット 4 モーターエラー		
M530 ハードエラー カセット 2 エラー		

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
M531 ハードエラー カセット 3 エラー	ハードウェアの異常を検出した場合に、「電源を OFF/ON して下さい」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.232)
M532 ハードエラー カセット 4 エラー		
M540 ハードエラー カセット通信 エラー		

警告メッセージ一覧

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段に表示します。

警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

- ・警告メッセージの例

オンライン
カセット1 確認

POINT

- ・警告が複数発生している場合は、次の表の該当する警告が、表の上から順番に交互に表示されます。

表：警告メッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置
データあり	・データあり 未処理データがある状態です。
ドラムカートリッジ 準備	・ドラムカートリッジ交換準備 ドラムカートリッジの交換時期が近づいた場合に表示されます。 - ドラムカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。
ドラムカートリッジ 交換	・ドラムカートリッジ交換 「K014 カートリッジ交換」エラー発生後、設定スイッチにより印刷を続行して、再度エラーとなるまで（100 ページ以下の印刷は可能）の表示です。 - ドラムカートリッジ 交換 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。
トナーカートリッジ 準備	・トナーカートリッジ準備 - トナーが少なくなり、交換時期が近づいた場合に表示されます。 - メニューモードの「初期設定」－「その他の設定」－「カートリッジ準備」で「続行」になっている場合 - 「K003 トナーカートリッジ交換準備」エラー発生後、設定スイッチにより印刷を続行して、再度エラーになるまで（100 ページ以下の印刷まで）表示されます。 - 新しいトナーカートリッジを準備してください。 - トナーカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。

表：警告メッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置
装置寿命 残 xx%	- 装置寿命 装置が寿命に近づいている（装置寿命消耗率 80%以上）場合の警告です。 本製品では、180 万枚が装置寿命です。 - 表示は残り寿命率で表示されます。 10%刻みで表示され 0%に達した場合「装置寿命」表示となります。 【例】装置寿命消耗率 80%となった場合 「装置寿命 残り 20%」 - 他の警告発生中は、表示されない場合があります。
装置寿命	- 装置寿命（180 万枚）に達した場合に表示されます。 - 装置寿命以降の印字品質については保証できません。
600K 交換キット交換	600K（60 万枚）交換キット交換時期（CE 交換） 600K 交換キットの交換時期となった場合に表示されます。「お問い合わせ窓口」（→ P.232）へご連絡ください - 警告発生以降の印字品質については保証できません。
600K 交換キット準備	600K（60 万枚）交換キット交換準備 600K 交換キットの交換時期が近づいた場合に表示されます。「お問い合わせ窓口」（→ P.232）へご連絡ください
定期交換キット交換	- 定期交換キット交換時期（CE 交換） 定着器を含む定期交換キット部品が交換時期となった場合の警告です。 本製品では、定着器、用紙搬送ローラキット、給紙トレイ搬送ローラキット、転写ローラキットが対象となります。「お問い合わせ窓口」（→ P.232）へご連絡ください。 警告を解除した後、エンジン内でカウントを行っている走行距離または枚数が、エンジン内で規定している値となった場合、警告発生となります。 - 他の警告発生中は、表示されない場合があります。 - 装置寿命警告発生後は、定着器の交換警告は表示されません。 - 警告発生以降の印字品質については保証できません。
定期交換キット準備	定期交換キット交換準備 定着器を含む、定期交換キットの交換時期が近づいた場合に表示されます。「お問い合わせ窓口」（→ P.232）へご連絡ください
カセット n 確認	- カセット確認 カセットが外れている場合の警告です。 - 複数カセットが同時に外れている場合は、優先順位の一番高いカセットの警告を 1 つだけ表示します。（優先順位：1 > 2 > 3 > 4） - 外れているカセットを指定して印刷を行うと、カセットなしエラーに移行します。 - 他の警告発生中は、表示されない場合があります。
カセット用紙サイズ確認	- カセットサイズ確認 カセットのサイズが正しくない場合の警告です。 - 複数カセットが同時にサイズが正しくない場合は、優先順位の一番高いカセットの警告を 1 つだけ表示します。（優先順位：1 > 2 > 3 > 4） - サイズが正しくないカセットを指定して印刷を行うと、カセットサイズエラーに移行します。 - 他の警告発生中は、表示されない場合があります。

警告が複数同時発生している場合は、2 秒間隔でメッセージが切り替わります。
ただし、データあり警告が発生している場合、他の警告は表示しません。

Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

「Printianavi2」および「FUJITSU Printer Internet Service」を利用時に、Windows 画面に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

「Printianavi2」および「FUJITSU Printer Internet Service」について詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■「Printianavi2」／「Printianavi」の場合



■「FUJITSU Printer Internet Service」の場合



表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****.****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	0100	[オンライン]	印刷可能です。	—
0000	0200	[パワーセーブ中]	パワーセーブ中です。パワーセーブ（節電中 1）とパワーセーブ（節電中 2）の時があります。印刷可能です。	
0000	0300	[準備中...] 印刷の準備中です。 しばらくお待ちください。	しばらくお待ちください。	
0000	0400	[印刷中...]	印刷中です。	
0000	2200	[印刷の再開準備中...] 印刷の再開準備中です。 しばらくお待ちください	しばらくお待ちください	
0000	0102	[オンライン（消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	消耗品の交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：印刷可能 （トナーカートリッジ準備）、（ドラムカートリッジ準備）または（ドラムカートリッジ交換）	
0000	0302	[準備中...（消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	消耗品の交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：準備中 （トナーカートリッジ準備）、（ドラムカートリッジ準備）または（ドラムカートリッジ交換）	
0000	0402	[印刷中...（消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	消耗品の交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：印刷中 （トナーカートリッジ準備）、（ドラムカートリッジ準備）または（ドラムカートリッジ交換）	
0000	1000	[印刷中...] 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）	片面で印刷（プリンタメモリ不足）	
0000	1000	[印刷中...] 両面印刷の指定は無効です。（未サポート用紙指定）	片面で印刷（未サポート用紙指定）	
0000	1000	[印刷中...] 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）	1 部のみ印刷（プリンタメモリ不足）	
0000	1000	[印刷中...] 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリオーバー）	1 部のみ印刷（プリンタメモリオーバー）	
0000	1000	[印刷中...] と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足） or（未サポート用紙指定） 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足） or（プリンタメモリオーバー）	以下の組み合わせまたはいずれか 片面で印刷（プリンタメモリ不足） or（未サポート用紙指定） 1 部のみ印刷（プリンタメモリ不足） or（プリンタメモリオーバー） ※ 分類枠内に収まらない部分は表示されない	
0000	1001	[印刷中...（消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。 と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足） or（未サポート用紙指定） 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足） or（プリンタメモリオーバー） 排紙方法の指定は無効です。（オプション未装着／指定誤り）	トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ※[印刷中...（消耗品交換）] 時、ステータス表示 /IntetnetService で表示したとき	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号	表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	1001 1000 [印刷中... (消耗品交換)] 消耗品の交換時期が近づきました。 または [印刷中...] と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足) or (未サポート用紙指定) 部単位印刷の指定は無効です。(プリンタメモリ不足) or (プリンタメモリアーバー) 排紙方法の指定は無効です。(オプション未装着/指定誤り) ステープルの指定は無効です。(針なし/用紙サイズ混在/規定枚数超過)	トナーの残量が少なくなりました。 ドラムカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ステープル針がなくなりました。 トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ※[印刷中... (消耗品交換)] 時、ステータス表示 /IntetnetService で表示したとき	—
0000	2000 通信中	プリンタとの通信中に表示されます。	
0000	2100 [他で使用中] プリンタが他で使用中です。	他で使用中：印刷・保存待ち	
0305	5002 [****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	前カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	
0305	0102 [****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	後カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	
0330	0108 [****-**** ユニット確認] 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、定着器を正しく装着してください。	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
0330	0123 [****-**** ユニット確認] 拡張給紙が外れています。 プリンタの電源を切り、ユニットの接続を確認してください。	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	・「拡張給紙ユニットの取り付け」(→ P.51) ・「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
0319	0101 [****-**** カートリッジなし] トナーカートリッジが正しくセットされていません。 トナーカートリッジをセットし直してください	トナーカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 トナーカートリッジをセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
0319	0102 [****-**** カートリッジなし] ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 ドラムカートリッジをセットし直してください。	ドラムカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジをセットしてください。	
0420	0102 [****-**** カートリッジ不一致] 装着されたトナーカートリッジは使えません。 トナーカートリッジを交換してください。	セットされたトナーカートリッジが使用できない場合に表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	
0420	0104 [****-**** カートリッジ不一致] 装置されたドラムカートリッジは使えません。 ドラムカートリッジを交換してください。	セットされたドラムカートリッジが使用できない場合に表示されます。 ドラムカートリッジを交換してください。	
0420	0890 [****-**** トナーカートリッジ確認] トナーシールが引き抜かれていません。 トナーカートリッジを確認してください。	トナーカートリッジが正しく認識されていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジ (トナーカートリッジをセットした状態で) 一度取り外し、振ってからセットし直してください	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0420	0891	[****-**** トナーカートリッジ確認] トナーカートリッジが検知されません。 トナー／ドラムカートリッジを確認してください。	トナーシールが引き抜かれていない場合に表示されます。 トナーシールを引き抜いて、セットし直してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.82)
0420	0103	[****-**** カートリッジ寿命] トナーカートリッジの交換時期です。 トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のトナーカートリッジを準備してください。	
0420	1106	[****-**** カートリッジ寿命] トナーカートリッジの交換時期です。 トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	
0420	0601 0602 0603 0604 0605	[****-**** カートリッジ寿命] ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジを交換してください。	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のドラムカートリッジを準備してください。	
0420	0606 0607 0608 0609 060a	[****-**** カートリッジ寿命] ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジを交換してください。	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 ドラムカートリッジを交換してください。	
0304	9001	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 1 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。	給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 カセット * で表示された給紙カセット (1～4) に印刷するサイズ of 用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.60)
0304	9002	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 2 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9003	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 3 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9004	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 4 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9000	[****-**** カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	30ss [注1]	[****-**** 用紙サイズ不一致] プリンタにセットされている用紙が指定したサイズ (用紙サイズ) と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット (1～4) または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	31ss [注1]	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 1 にセットされている用紙が指定したサイズ (用紙サイズ) と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	32ss [注1]	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 2 にセットされている用紙が指定したサイズ (用紙サイズ) と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号	表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304 33ss [注1]	****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット3にセットされている用紙が指定したサイズ(用紙サイズ)と違います。セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット3の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット3に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.60)
0304 34ss [注1]	****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット4にセットされている用紙が指定したサイズ(用紙サイズ)と違います。セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット4を指定して印刷したときに、給紙カセット4の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット4に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 40ss [注1]	****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセットにセットされている用紙が指定したサイズ(用紙サイズ)と違います。セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	
0304 b0ss [注1]	****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙トレイにセットされている用紙が指定したサイズ(用紙サイズ)と違います。セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 41ss [注1]	****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット1の設定サイズ(用紙サイズ)と違う用紙がセットされています。給紙カセット1の用紙を正しくセットし直してください。	カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 42ss [注1]	****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット2の設定サイズ(用紙サイズ)と違う用紙がセットされています。給紙カセット2の用紙を正しくセットし直してください。	カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 43ss [注1]	****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット3の設定サイズ(用紙サイズ)と違う用紙がセットされています。給紙カセット3の用紙を正しくセットし直してください。	カセット3から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 44ss [注1]	****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット4の設定サイズ(用紙サイズ)と違う用紙がセットされています。給紙カセット4の用紙を正しくセットし直してください。	カセット4から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 c0ss [注1]	****-**** 用紙サイズ確認] 給紙トレイの設定サイズ(用紙サイズ)と違う用紙がセットされています。給紙トレイの用紙を正しくセットし直してください。	給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304 a8ss [注1]	****-**** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。給紙トレイにA4をセットすると印刷を続行します。	「設定の印刷」時に給紙トレイに印刷が行えない用紙がセットされているときに表示されます。給紙トレイにA4 LEF(横送り)の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止してください。	
0304 a700	****-**** 未サポート用紙サイズ] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号	表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0301 [注1]	00ss [****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます。 (メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.60)
0301 [注1]	01ss [****-**** 用紙なし] 給紙カセット 1 に用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301 [注1]	02ss [****-**** 用紙なし] 給紙カセット 2 に用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301 [注1]	03ss [****-**** 用紙なし] 給紙カセット 3 に用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301 [注1]	04ss [****-**** 用紙なし] 給紙カセット 4 に用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 4 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301 [注1]	10ss [****-**** 用紙なし] 給紙カセットに用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 (メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき)。 自動給紙対象の給紙カセット (1～3) に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301 [注1]	80ss [****-**** 用紙なし] 給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「用紙なし」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	
0315	2401 2402 2403 2404 2405 2411 2412 2413 2415 2421 2431 2441 2442 2443 2444 2445 2451 2452 2453	[****-**** 用紙残り] 用紙が装置内に残っています。 カバーまたはカセットを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニット (搭載機のみ) に詰まった紙を取り除いた後、カバーおよびカセットを閉じてください。	「紙詰まりになったとき」(→ P.158)

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0314	1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1032	[****.**** 紙詰まり] 紙詰まりが発生しました。 カバーまたはカセットを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニット（搭載機のみ）に詰まった紙を取り除いた後、カバーおよびカセットを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットを確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。	「紙詰まりになったとき」(→P.158)
0320	0001	[****.**** トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 すべての用紙を取り除いてください。	すべての用紙を取り除いてください。	－
0350	0703	[****.**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 (部単位印刷) プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。一部のみ印刷します。	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと1部のみ印刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	
0350	0704	[****.**** 論理エラー] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。片面印刷で続行します。	メモリを増設していない状態でA3、B4、リーガルの用紙を1200dpiで両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を☑にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が☑のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、設定スイッチを押す、または3秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタRAMモジュールの取り付け」(→P.47)
0350	0706	[****.**** 論理エラー] 印刷中にアンダーランエラーが発生しました。 「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けるか、プリンタドライバの解像度を低く設定し直して、再度印刷してください。	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	－
0350	0708	[****.**** 論理エラー] 印刷できない解像度が指定されました。 印刷先のプリンタ装置にあったプリンタドライバをインストールしてください。	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	
0350	0712	[****.**** 論理エラー] プリンタの給紙口が全て自動給紙無効となっているため、自動給紙が行えません。 プリンタドライバで給紙口を指定するか、プリンタの自動給紙設定を有効にして、再度印刷してください。	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「有効」にして、印刷をし直してください。	
0350	070b 070c 070d	[****.**** 印刷データエラー] 印刷処理中の印刷データにエラーがあります。 ケーブルが正しく接続されていることを確認し、再度印刷を行ってください。	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0350	070e	[****-**** 論理エラー] 印刷できない用紙サイズが指定されました。 印刷先のプリンタ装置にあった用紙サイズを指定してください。	印刷先のプリンタ装置にあった用紙サイズを指定してください。	—
0300	0101	[****-**** プリンタリセット] プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。	プリンタをオンラインにしてください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.111)
0300	0102	[****-**** オフライン] プリンタがオフラインとなっています。 プリンタをオンラインにしてください。		
0300	0103	[****-**** リモート設定中] プリンタがリモート設定中です。	しばらくお待ちください。	—
0300	0104	[****-**** プリンタリセット] プリンタが初期化中です。		
0520	d001 d002 d003 d004 d005 d006	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	プリンタの電源を入れ直してください。	「電源の入れ方／切り方」(→ P.32)
0540	d100	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。		
0560	d201 d202 d203 d204 d211 d212 d213 d220	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。		
0362	0000 0100 0200 0400 1000 2000 4000 8000	[****-**** 未サポートプリンタ] プリンタドライバが未サポートのプリンタに接続されています。 印刷先のプリンタ装置にあったプリンタドライバをインストールしてください。	印刷先のプリンタに適合したプリンタドライバをインストールしてください。	『ソフトウェアガイド』
0700	3001 3002 3003 3005 3006 3007 3008 3009 300a 300b 300c 300d 300e 300f 3010 3011 3012 3013 3017 3018 3019 3020 3021 3022	[****-**** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	—

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号	表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0700 3023 3031 3032 3033 3200 3201 3202 3203 3204 3205 3206 3207 3208 3209 320a 320b 320c 320d 320f 3210	[****-**** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	—
5900 5901	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	印刷を終了し、印刷し直してください。	
5500 5501 5502 5503 5504 5505	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	プリンタの電源を入れ直してください。	「電源の入れ方／切り方」(→ P.32)
5510	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	ネットワーク管理者に連絡してプロキシサーバーで処理できる HTTP リクエストのデータサイズを大きくしてください。	—
5511	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	
5512	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	プリンタの電源を入れ直してください。	「電源の入れ方／切り方」(→ P.32)
5520	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	プリンタの電源を入れ直してください。	
5521	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	—
5522 5530 5531 5532 1520 ～ 1572 1574 ～ 1599	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。 プリンタの電源を投入し直してください。	プリンタの電源を入れ直してください。	「電源の入れ方／切り方」(→ P.32)
1500	[****-**** 応答なし] プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。	プリンタの電源が入っているか、またはケーブルが接続されているか確認してください	
1573	[****-**** 通信エラー] 印刷の完了を待ち合わせています。	次の印刷を開始してもプリンタが動作しない場合は、プリンタの電源を投入し直してください。	—

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

(注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。)

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1900	0000	[****-**** メモリ不足] メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。	ー
1901 ～ 1999 2900 ～ 2999	0000	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	

注1：「SS」は、オペレータパネルに表示された用紙サイズをプログラムで規定した内部コードです。

8

第 8 章

付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となること
がらについて説明します。

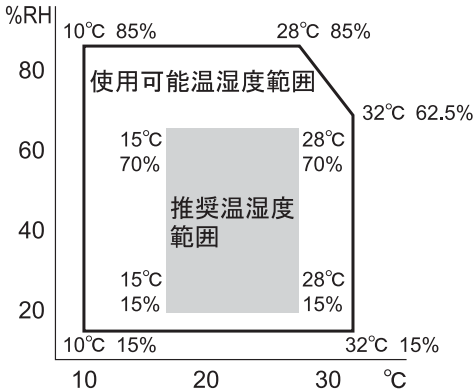
1 仕様	216
2 オプション品一覧	223
3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について	224
4 サプライ品一覧	226
5 推奨用紙	227
6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について	228
7 アフターサービスについて	232
8 安全データシート	234

仕様

本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

型名	XL-9450		
印刷方式	電子写真方式 LED アレイ+電子写真プロセス (2成分) (乾式)		
印刷速度 (コピー動作による連続印刷時) 単位: ページ/分	普通紙		
	用紙サイズ	片面	両面
	A4 LEF	45.0	31.7
	A4 SEF	25.0	16.5
	A3	25.7	15.4
	A5	45.0	34.3
	A6SEF	17.5	15.0
	B4	28.7	16.5
	B5	45.0	32.7
	B6LEF	45.0	—
	B6SEF	34.4	26.8
	ユーザ定義サイズ用の用紙 [注 1]	6.0 ~ 45.0	6.0 ~ 34.3
	長尺紙	1.0	—
- 両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 - 厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。 - 用紙幅の狭い用紙から広い用紙に切り替わった場合、クールダウンのため一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。 - ユーザ定義サイズの用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。 - 大量に印刷すると、クールダウンのため、いったん停止または印刷速度が遅くなる場合があります。 - 画質を維持するため、印刷動作をいったん停止する場合があります。その場合も上記より印刷速度は遅くなる場合があります。			
ファーストプリントタイム	6 秒以下		
ウォームアップ時間	16 秒以内 (23℃、公称電圧 (100V) 印加時)		
エンジン解像度	1200dpi		
データ処理解像度	300dpi×300dpi 600dpi×600dpi 1200dpi×1200dpi		
スムージング	あり		
用紙種類	- 給紙トレイ 普通紙 L (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 H (60 ~ 80g/㎡) / 厚紙 1L (81 ~ 105g/㎡) / 厚紙 1 (106 ~ 163g/㎡) / 厚紙 2 (164 ~ 220g/㎡) / ラベル紙 1 (75 ~ 90g/㎡) / ラベル紙 2 (106 ~ 130g/㎡) / 郵便はがき (190g/㎡) / 往復はがき (190g/㎡) / 封筒、長尺紙 - 給紙カセット (標準) 普通紙 L (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 H (60 ~ 80g/㎡) / 厚紙 1L (81 ~ 105g/㎡) / 厚紙 1 (106 ~ 163g/㎡) / 厚紙 2 (164 ~ 220g/㎡) / ラベル紙 1 (75 ~ 90g/㎡) / ラベル紙 2 (106 ~ 130g/㎡) / 郵便はがき (190g/㎡) / 往復はがき (190g/㎡) / 封筒 - 拡張給紙ユニット (オプション) 普通紙 L (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 (60 ~ 80g/㎡) / 普通紙 H (60 ~ 80g/㎡) / 厚紙 1L (81 ~ 105g/㎡) / 厚紙 1 (106 ~ 163g/㎡) / 厚紙 2 (164 ~ 220g/㎡) / ラベル紙 1 (75 ~ 90g/㎡) / ラベル紙 2 (106 ~ 130g/㎡)		

型名	XL-9450	
用紙サイズ	- 給紙トレイ A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、長尺紙(幅297mm固定、長さ432.1mm～1200.0mm)、ユーザ定義サイズ(片面)(幅70～297mm、長さ127mm～432mm)、ユーザ定義サイズ(両面)(幅100～297mm、長さ148mm～432mm)、はがき、往復はがき、封筒(洋形長3号、洋形2号、洋形4号、長形3号、長形4号、角形2号) - 給紙カセット(標準) A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ(片面)(幅90～297mm、長さ148mm～432mm)(両面)(幅100～297mm、長さ148～432mm)、はがき、往復はがき、封筒(洋形長3号、角形2号) - 拡張給紙ユニット(オプション) A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ(片面)(幅90～297mm、長さ148mm～432mm)(両面)(幅100～297mm、長さ148～432mm)	
給紙方式 [注2]	給紙カセットによる自動給紙(収容枚数:550枚) 拡張給紙ユニット使用時(収容枚数:1650枚) 給紙トレイによる自動給紙(収容枚数100枚(はがき45枚))	
両面印刷	用紙種類:普通紙 L (60～80g/㎡) / 普通紙 (60～80g/㎡) / 普通紙 H (60～80g/㎡)、厚紙 1L (81～105g/㎡) / 厚紙 1 (106～163g/㎡) 用紙サイズ: A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ	
排紙方法 [注2]	フェースダウンスタッカ(スタック枚数:550枚)	
使用環境条件 (保証条件)	温度:10～32℃、湿度:15～85%RH(推奨紙使用時) 温度32℃のときは湿度62.5%RH以下、湿度が85%RH前後のときは温度28℃以下で使用してください(ただし、結露しないこと)。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、十分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。 	
電源・電源周波数	AC100V±10%(最小90V、最大110V)、50 / 60Hz±3Hz(最小47Hz、最大63Hz) 矩形波が出力される電源機器には接続しないでください。故障する場合があります。	
消費電力	最大	1320W
	平均	615W 以下
	パワーセーブ時(最小)	0.35W 以下
	電源オフ時	0W
TEC 値	0.54kWh	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (2017年度基準)	区分名	C
	印刷速度	モノクロ:45枚
	年間消費電力量	104k/Wh 年
定格電流	15A	
騒音 [注3]	待機時:16dB(A)以下 稼働時:53dB(A)以下 本体のみ	
外形寸法	幅499.4mm、奥行388mm(518mm)、高さ320mm ():カセット延長時	
質量	約20.1kg (スタータートナー、スタータードラム含む、用紙なし)	
インターフェース	IEEE1284 双方向パラレルポート USB2.0 準拠 USB インターフェース 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T LAN ポート	

型名	XL-9450
対応ネットワーク	TCP/IPv4 (IPP,HTTP,BPP,LPR,DHCP,SNMP,SMTP,DNS,RAW (Port9100)) TCP/IPv6 (IPP,HTTP,BPP,LPR,SNMP,RAW (Port9100)) 対応 OS: Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/ Windows 7/Windows Server 2008
プリンタシーケンス [注 4]	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用: ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間 [注 5]	5 年(8 時間/日)または 180 万ページ印刷(A4 サイズ横送り (□LEF)換算)のいずれか早いほう
電源コード	2 本 (平行 3 極プラグ、アース引出線付 2 極プラグ)、約 2.5m
サポート OS [注 6]	Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008

注1 : ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」(→ P.219)に記載の速度で印刷します。

注2 : 収容および排紙枚数は 64g/ m²で換算

注3 : ISO7779 に基づく実測値であり、バースタンド(近在者)位置の音圧レベルです。

注4 : データ処理解像度
・XL プリンタドライバ: 1200dpi/600dpi/300dpi
・ESC/P:180dpi

注5 : 耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。
ご使用の頻度や用紙、温湿度環境により、装置寿命が大幅に短くなる場合があります。記載の内容は目安であり、保証するものではありません。

A4 サイズ縦送りの場合や長い用紙をご使用の場合は、装置寿命までに印刷できるページ数が減少します。

A4 サイズより長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

推奨月間印刷ページ数: 6,000 ページです (A4 サイズ横送り (□LEF 4 ページ/ジョブ印刷時) の場合)。

また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品/消耗品/定期交換部品/24 時間運用について」(→ P.224) をご覧ください。

注6 : 日本語版

ユーザ定義サイズ of 用紙を印刷する場合の印刷速度

ユーザ定義サイズ of 用紙を印刷する場合、次の表とグラフで示すように、用紙の幅と長さの組み合わせにより印刷速度が異なります。ここでは、普通紙モードにおける印刷速度は次のとおりです。

一般的に用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。厚紙モードの場合は、下記より印刷速度は遅くなります。また、画質を維持するため、印刷動作を停止する場合がありますが、その場合も下記より印刷速度は遅くなります。

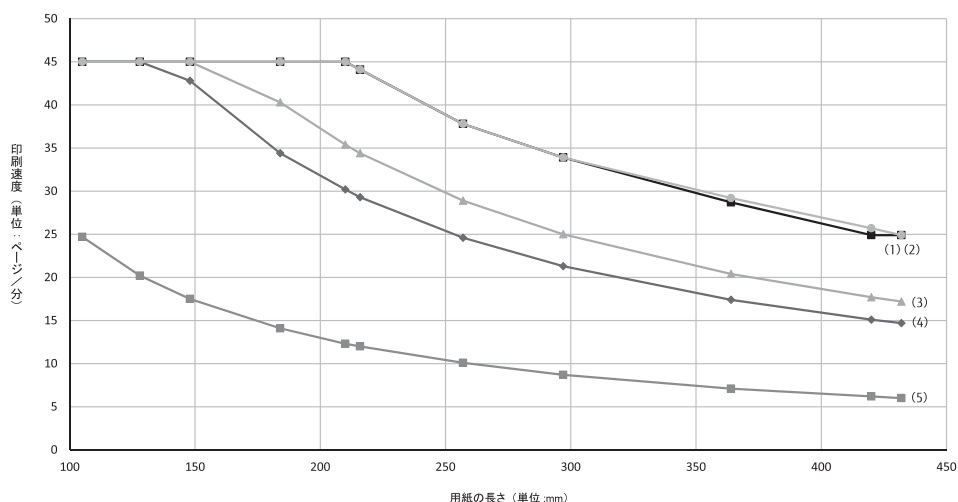
■ 普通紙 / 片面印刷時における印刷速度

ユーザ定義サイズ of 用紙幅	印刷速度 (単位：ページ / 分)	グラフの線
290mm 以上～ 297mm	24.9 ～ 45	—●— (1)
257mm 以上～ 290mm 未満	24.9 ～ 45	—■— (2)
210mm 以上～ 257mm 未満	17.2 ～ 45	—▲— (3)
182mm 以上～ 210mm 未満	14.7 ～ 45	—◆— (4)
70mm 以上～ 182mm 未満	6 ～ 24.7	—■— (5)

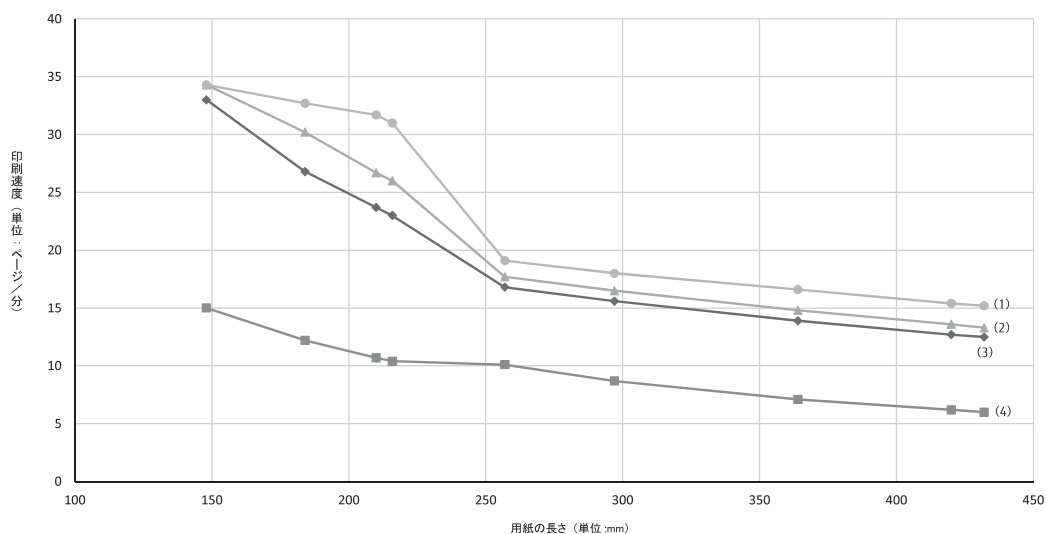
■ 普通紙 / 両面印刷時における印刷速度

ユーザ定義サイズ of 用紙幅	印刷速度 (単位：ページ / 分)	グラフの線
290mm 以上～ 297mm	15.2 ～ 34.3	—●— (1)
210mm 以上～ 257mm 未満	13.3 ～ 34.3	—▲— (2)
182mm 以上～ 210mm 未満	12.5 ～ 33	—◆— (3)
70mm 以上～ 182mm 未満	6 ～ 15	—■— (4)

グラフ A：普通紙 / 片面における印刷速度



グラフ B : 普通紙 / 両面における印刷速度



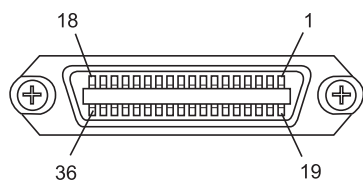
インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース
- インターフェースコネクタ
プリンタ側 : 36 極コネクタ (メス) アンフェノール 57-40360 相当品
ケーブル側 : 36 極コネクタ (オス) アンフェノール 57-30360 相当品
- ケーブル
1.5m 以下のケーブルを使用してください (雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること)。
- 信号レベル
LOW : 0.0V ~ +0.4V HIGH : +2.4V ~ +5.0V
- データ転送方式
8 ビットパラレル

・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36ピン）

ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	* Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	* AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—
22	-RET	—
23	-RET	—
24	-RET	—
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	* Init	パソコン
32	* Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	* SelectIn	パソコン

「*」は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様

USB 仕様の Revision2.0 準拠

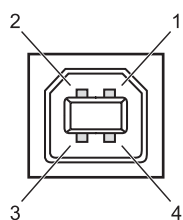
・インターフェースコネクタ

プリンタ側：B レセプタクル（メス）

・ケーブル

XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル

- ・ 伝送モード
High Speed（最大 480Mbps）、Full Speed（最大 12Mbps）
- ・ 電力制御
セルフパワーデバイス
- ・ USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

2 オプション品一覧

本製品で利用できるオプション品の一覧は次のとおりです。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（<http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/>）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF55MJ	2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 550 枚（64g/㎡の用紙の場合）です。 給紙カセット添付

プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256MD	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

プリンタケーブル

■パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。（1.5m）

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品 ／ 24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
 - ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、使用環境（温度：10～32℃、湿度：15～85%RH）において1日8時間のご使用で約5年、または180万ページ印刷（A4サイズ横送り（□LEF）換算）のいずれか早いほうです（用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF 頻度などにより印刷枚数が減少します）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
 - ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となります場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
 - ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。
 - ・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。
 - ・本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
- <主な有寿命部品一覧>

制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、専用の窓口にご連絡ください。未契約のお客様は、「お問い合わせ窓口」（→P.232）にご連絡ください。

なお、定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは富士通担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守運用支援サービス「SupportDesk」については、富士通ホームページ「製品サポート（法人のお客様向け）製品別サービスメニュー」（<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/>）をご覧ください。補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	10 万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット交換」表示で交換
用紙搬送ローラキット	
給紙トレイ搬送ローラキット	
転写ローラキット	
600K 交換キット	60 万ページ印刷を目安に「600K 交換キット交換」表示で装置寿命まで 2 回交換

[注] 上記は、A4 サイズ横送り（LEF）換算／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

A4 サイズ縦送りの場合や長い用紙をご使用の場合は、装置寿命までに印刷できるページ数が減少します。

重要

- ・本製品は国際エネルギースタープログラムバージョン 3.0 に対応のため、プリンタドライバの「印刷面」の初期設定は「両面」になっています。
主に「片面」印刷でお使いになる場合は、プリンタドライバの「便利な機能」タブにある「印刷面」の設定を「片面」に変更してお使いください。

24 時間以上の連続運用について

本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。

24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。

なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。

最新情報は、富士通製品情報ページ（<http://www.fmwORLD.net/biz/fmv/>）でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

- ・富士通コワーコお客様総合センター

通話料無料 0120-505-279

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:30（土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く）

URL:<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>

⚠ 注意



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用の純正品を取り付けてください。非純正品のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

👉 重要

- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 30ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

商品名	商品番号	備考
ドラムカートリッジ LB322	8099730	約 40,000 ページ印刷可能（4 ページ / ジョブ印刷時）、 約 25,000 ページ印刷可能（1 ページ / ジョブ印刷時）
トナーカートリッジ LB322B	0899720	約 15,000 ページ印刷可能（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）

注：上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。

実際の印字可能枚数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや本体の電源の ON・OFF に伴う初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより異なることがあります。

間欠印刷時には、印刷枚数が減少します。

また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「トナーカートリッジ準備」、「ドラムカートリッジ準備」の警告メッセージまたは「カートリッジ交換」のエラーメッセージが出る前に、黒スジ、薄黒い汚れやかすれが発生する場合があります。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命ですので、新しいトナーカートリッジ、ドラムカートリッジに交換してください。

📍 POINT

- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、純正品をご使用ください。
非純正品をご使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

5 推奨用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22℃、湿度 55～60%RH 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

POINT

- 安定した搬送性・印字品質を確保するために、推奨紙の使用をお勧めします。
- 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号 [注 1]	備考
富士通 コワーコ（株）	普通紙	オフィス用紙 W	A3	0411650	
		オフィス用紙 W	B4	0411620	
		オフィス用紙 W	A4	0411610	[注 2]
		オフィス用紙 W	A4Y	0411612	[注 3]
		オフィス用紙 W	B5	0411640	[注 2]
		オフィス用紙 W	B5Y	0411645	[注 3]
		オフィス用紙 W	A5	0411630	[注 2]
		オフィス用紙 W	A5Y	0411635	[注 3]
郵便事業（株） 郵便局などで発売	はがき	郵便はがき	はがき	—	多色刷りはがきは除く
		郵便はがき	往復はがき	—	多色刷りはがきは除く

注1：各商品で梱包単位（枚数）が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。

注2：用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 縦（ SEF）の場合。

注3：用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 横（ LEF）の場合。

POINT

- 古紙 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- A4LEF、B5LEF、A5LEF など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙を推奨します。
- 対応用紙の最新情報は、次の富士通製品情報ページでご確認ください。
<http://www.fmwORLD.net/biz/printer/>

6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について

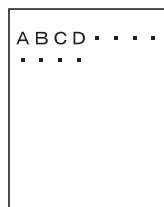
本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

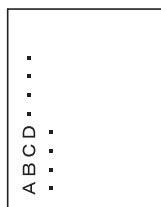
A4 縦送り (SEF)、A3、A5 縦送り (SEF)、A6、B4、B5 縦送り (SEF)、B6 縦送り (SEF)、リーガル、レター縦送り (SEF)、はがき、往復はがき縦送り (SEF)、封筒縦送り (SEF)、長尺紙サイズの場合



用紙搬送方向



縦方向印刷



横方向印刷

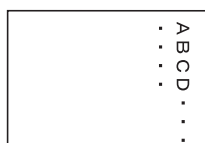
重要

- ・ 封筒は拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしていません。
- ・ はがき (LEF)、長尺紙は、給紙トレイのみサポートしています。
- ・ はがき、往復はがきは、拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしていません。

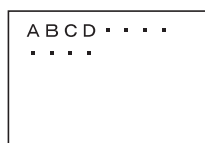
A4 横送り (LEF)、A5 横送り (LEF)、B5 横送り (LEF)、B6 横送り (LEF)、レター横送り (LEF)、往復はがき横送り (LEF)、封筒横送り (LEF) サイズの用紙の場合



用紙搬送方向



縦方向印刷

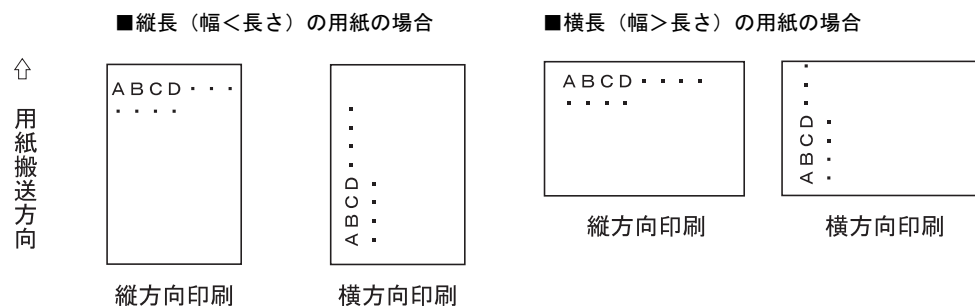


横方向印刷

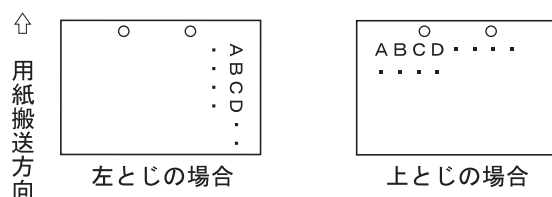
重要

- ・ B6 横送り (LEF) は給紙トレイのみサポートしています。
- ・ 往復はがき横送り (LEF) は拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしていません。

ユーザ定義サイズの場合



とじ穴のある A4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

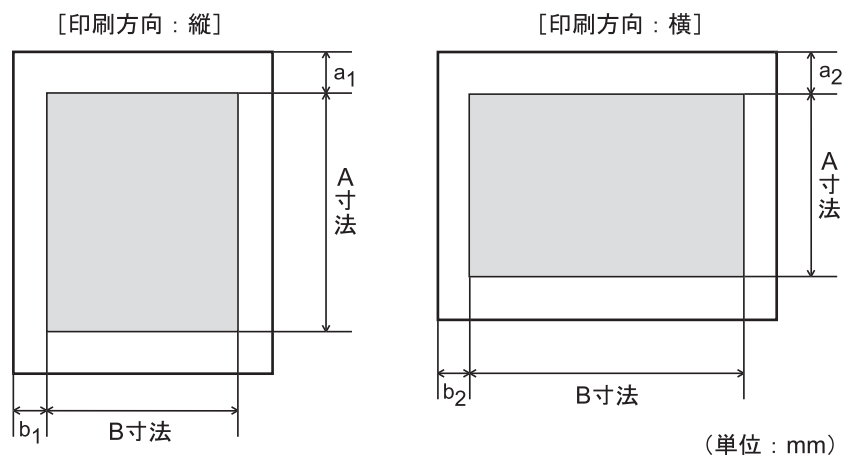


POINT

- ・用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」か、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

印刷可能領域

本製品で印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。



FUJITSU Printer XL プリンタドライバ使用時

a1=a2=5 mm、b1=b2=5 mm

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

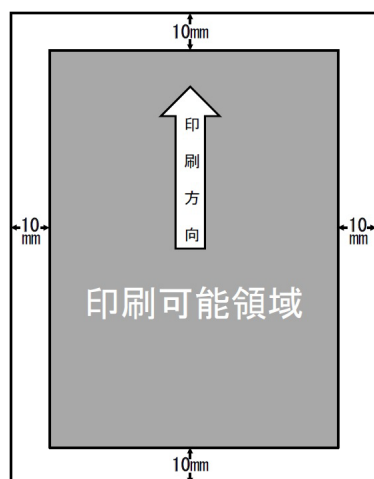
ESC/P モード使用時

a1=a2=8.5 mmまたは 22 mm（はがき：10 mm）、b1=b2=5 mm

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5 mm時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22 mm時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5 mm時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22 mm時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

封筒の印刷領域

本製品で印刷できる、封筒の印刷可能領域は次のとおりです。



注：印刷可能領域以外の部分に封筒のフラップ（ふた）は含みません。

印刷可能領域と位置調整機能について

本製品では、印刷結果の位置を調整する方法として、プリンタ装置側のオペレータパネルから、メニューモードの設定項目一覧で印刷位置を調整する方法と、プリンタドライバから印刷位置を調整する方法があります。

それぞれの機能について、調整可能な範囲や調整結果の適用結果が異なりますので、用途に合わせて適切な箇所で設定を行うようにしてください。

1 プリンタのメニューモード「主走査方向の位置」「副走査方向の位置」機能

用紙の搬送方向に対して、搬送方向と同じ向きを「副走査方向」、90 度交わる向きを「主走査方向」として印刷位置を調整します。給紙トレイやカセット 1～4 などの給紙口や、片面／両面印刷ごとに異なる値を設定できます。

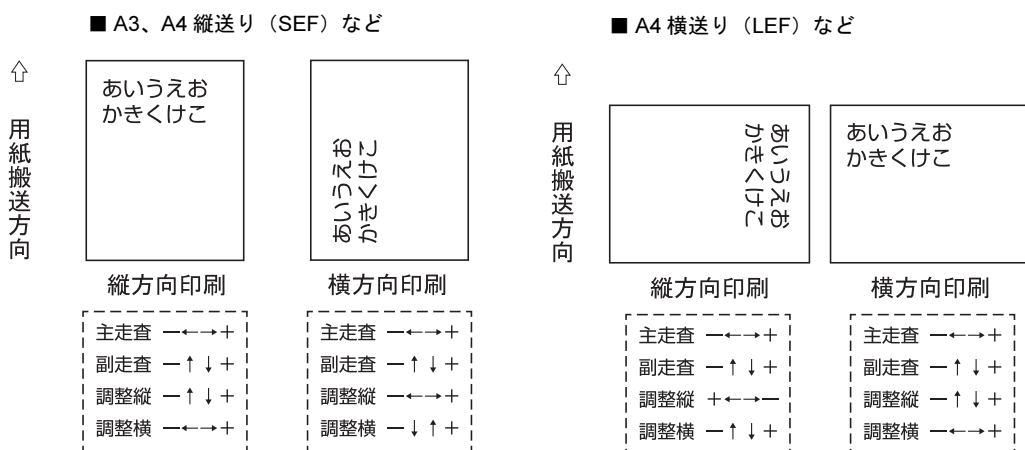
2 プリンタドライバ「印刷位置の微調整」機能

印刷結果の縦・横の向きに合わせて、「縦」または「横」方向に印刷位置を調整します。

アプリケーションで作成した文書データごとに別の設定値を保存して調整できます。

3 プリンタドライバ「とじしろ量」機能

プリンタドライバの便利な機能にある、「とじしろ位置」で指定した用紙のとじしろ位置に対して、両面印刷時の「表面」と「裏面」で、それぞれ異なりとじしろ量を設定できます。



重要

- ・ プリンタ装置側の「主走査方向の位置」「副走査方向の位置」機能と、プリンタドライバの「印刷位置の微調整」機能、プリンタドライバの「とじしろ量」機能など、複数の印刷位置調整機能を同時に使用することはできません。

複数同時に使用した場合には、優先度の高い機能だけが有効となります。

各機能の優先度は次のようになります。

「主走査／副走査方向の位置」 > 「印刷位置の微調整」 > 「とじしろ量」

なお、「主走査／副走査方向の位置」については、いずれか 1ヶ所の給紙口で有効な値 (0 以外の値) が設定された場合には、すべての給紙口に対して (値が 0 でも) 設定を有効とします。

- ・ 用紙搬送方向に対して、マイナス方向に位置調整を行う場合の最大値は「-5mm」までとなります。これを超えた量を設定した場合でも、実際に移動する量は「-5mm」となります。
- ・ プリンタ装置のメニューモードで、エミュレーション設定を「ESC/P」としている場合には、「印刷設定」の「印字位置調整」機能や、「とじしろ量」機能により、プリンタドライバと同様の位置調整を行うことが可能となりますが、この場合にも複数の機能を同時に使用することはできません。

各機能の優先度は次のようになります。

「主走査／副走査方向の位置」 > 「印字位置調整」 > 「とじしろ量」

7 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ・ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後 5 年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・故障時は下記にご連絡ください。

- お問い合わせ窓口

保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口に、未契約のお客様は「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。

「富士通ハードウェア修理相談センター」

通話料無料：0120-422-297

受付時間：9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）

- ・本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または富士通の担当営業／SE にお問い合わせください。
なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みカートリッジの回収連絡は、次の「エコ受付センター」までご連絡ください。

- ・エコ受付センター

通話料無料：0120-300-693

受付時間：月曜日～金曜日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30

（土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く）

- ・プリンタ消耗品無償回収サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「お問い合わせ窓口」(→ P.232)に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 オペレータパネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。

詳しくは「設定の一覧印刷」(→ P.133)をご覧ください。

2 拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。

詳しくは、拡張給紙ユニットの「取り外し」(→ P.58)をご覧ください。

3 「梱包して運搬する」(→ P.109)の手順に従って、本製品の梱包を行います。

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品の廃棄については、富士通ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>)をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、次のとおりです。

- ・ 富士通製品情報
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>
- ・ 富士通コワーコお客様総合センター
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>
- ・ プリンタ消耗品無償回収サービス
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>
- ・ 製品サポート（法人のお客様向け）製品別サービスメニュー
<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/>
- ・ 本製品の廃棄について
<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>

8 安全データシート

LB322 トナー（ブラック）

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : LB322 シリーズ トナー（ブラック）

会社名 : 富士通クライアントコンピューティング株式会社
問合せ先
会社名 : 富士通コワーコ株式会社
住所 : 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル
担当部門 : 営業推進統括部 技術部
電話番号 : 045-479-0140 FAX 番号 : 045-479-0141
整理番号 : TR18-M015（全 4 頁）

作成・改定 : 2019.2.13

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量 :

化学名	含有量（重量 %）	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		（化審法 / 安衛法）	
ポリエステル樹脂	< 90%	非開示	非開示
カーボンブラック	< 10%	非該当	1333-86-4
パラフィンワックス	< 10%	8-430	8002-74-2
青色顔料	< 10%	5-3299	147-14-8
無定形シリカ	< 10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	< 1%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類（PBB 類）、ポリ臭化ジフェニルエーテル類（PBDE 類）、フタル酸ビス（2-エチルヘキシル（DEHP））、ブチルベンジルフタレート（BBP）、ジブチルフタレート（DBP）、およびジイソブチルフタレート（DIBP）を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

比重	: データなし
溶解性	: 不溶 (水)
オクタノール / 水分配係数	: 適用外
分解温度	: データなし
粘度	: 適用外

10. 安定性及び反応性

安定性 / 反応性	: 安定
危険有害反応可能性	: 可能性なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50% 致死量)

経口→ LD50 (ラット) : >2000 mg/kg (実質上無毒)

経皮→ LD50 (-) : データなし

皮膚刺激性 : 刺激性なし

皮膚腐食性 : 腐食性なし

眼に対する重篤な損傷又は刺激性: 刺激性なし
(ラビット)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 皮膚感作性なし
(ラビット)

生殖細胞変異原性 : AMES 試験 陰性

発がん性 : カーボンブラックは、国際がん研究機関 (IARC) によって "グループ 2B (ヒトに対して発癌性があるかもしれない)" に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。

二酸化チタンは IARC の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷 (オーバーロード現象) によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。

生殖毒性 : 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : データなし

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量 ($4\text{mg}/\text{m}^3$) もしくは高用量 ($16\text{mg}/\text{m}^3$) の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量 ($1\text{mg}/\text{m}^3$) の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり $1\text{mg}/\text{m}^3$ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。

吸引性呼吸器有害性 : 対象外

その他 : データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50 (ヒメダカ) : >500 mg/L (実質上無毒)

ミジンコ類 48 時間 EL50 : >100 mg/L (実質上無毒)

(オオミジンコ)

藻類 72 時間 ErL50 (ムレミカヅキモ) : >100 mg/L (実質上無毒)

残留性 / 分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 非危険物

国連番号 : 非該当

海洋汚染物質 : 適用されない

MARPOL 73/78 附属書 II 及 : 適用されない

び IBC コードによるばら積

み輸送される液体物質

IBC コード : 適用されない

国内規制

海上規制情報 : 非危険物

航空規制情報 : 非危険物

その他の情報 : 規制されていない

15. 適用法令

化審法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9）名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9）カーボンブラック（政令番号：130）（<10%）固形パラフィン（政令番号：170）（<10%）酸化チタン（I V）（政令番号：191）（<10%）銅及びその化合物（政令番号：379）（<10%）

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 指定可燃物（ただし、合成樹脂類：3000kg 以上）

化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法） : 非該当

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献 1 : ◆ IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC : 国際癌研究機関)
- ◆ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP : 米国・国家毒性プログラム)
 - ◆ TLVs and BEIs (ACGIH : 米国・政府産業衛生専門家会議)
 - ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)
 - ◆ 産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献 2 : ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)

LB322 シリーズ 現像剤（ブラック）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の : LB322 シリーズ 現像剤（ブラック）
名称

会社名 : 富士通クライアントコンピューティング株式会社
問合せ先
会社名 : 富士通コワーコ株式会社
住所 : 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル
担当部門 : 営業推進統括部 技術部
電話番号 : 045-479-0140 FAX 番号 : 045-479-0141
整理番号 : TR18-M013 (全 4 頁)

作成・改定 : 2019.2.14

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分および含有量 :

化学名	含有量（重量 %）	官報公示整理番号 （化審法 / 安衛法）	CAS Registry No.
酸化鉄（フェライトとして）	60-70%	1-357	1309-37-1
酸化マンガン（フェライトとして）	20%	1-475	1344-43-0
ポリエステル樹脂	<10%	非開示	非開示
パラフィンワックス	<10%	8-430	8002-74-2
カーボンブラック	<10%	非該当	1333-86-4
青色顔料	<10%	5-3299	147-14-8
無定形シリカ	<10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類（PBB 類）、ポリ臭化ジフェニルエーテル類（PBDE 類）、フタル酸ビス（2-エチルヘキシル（DEHP））、ブチルベンジルフタレート（BBP）、ジブチルフタレート（DBP）、およびジイソブチルフタレート（DIBP）を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の
方法で消火する。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 吸入はできるかぎり避ける。
保護具及び緊急時措置
- 環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法 : 周囲に火種がないことを確認する。
及び機材 : ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。
こぼれたトナーは電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いる
と微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花などによ
り、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
局所排気・全体換気 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりし
ない。
安全取り扱い注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりし
ない。
- 保管
- 技術的対策 : 必要なし。
適切な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。
安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2015 年版) 第 3 種粉塵 8 mg/m^3 (総粉塵)
 2 mg/m^3 (吸入性粉塵)
ACGIH (2015 年版) 粒子状物質 10 mg/m^3 (総粉塵)
 3 mg/m^3 (吸入性粉塵)
- 保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 粉体
色 : 黒色
臭い : 微かなプラスチック臭
pH : 適用外
融点 / 凝固点 : データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 : 適用外
引火点 : 適用外
自然発火温度 : 発火性なし
燃焼又は爆発範囲の上限 / 下限 : データなし
蒸気圧 : 適用外
蒸気密度 : 適用外

比重	: データなし
溶解性	: 不溶 (水)
オクタノール / 水分配係数	: 適用外
分解温度	: データなし
粘度	: 適用外

10. 安定性及び反応性

安定性 / 反応性	: 安定
危険有害反応可能性	: 可能性なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50% 致死量)

経口→ LD50 (ラット) : > 2000mg/ kg (実質上無毒)

皮膚刺激性 (ラビット) : 刺激性なし

皮膚腐食性 : 腐食性なし

眼に対する重篤な損傷

又は刺激性 (ラビット) : 刺激性なし (印字成分)

呼吸器感作性 : 皮膚感作性なし

又は皮膚感作性 (モルモット) : 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性 : AMES 試験 陰性

生殖毒性

: 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。

特定標的臓器毒性 (単回曝露) : データなし

特定標的臓器毒性 (反復曝露) : ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量 (4mg/m³) もしくは高用量 (16mg/m³) の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量 (1mg/m³) の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。

吸引性呼吸器有害性 : 対象外

その他 : データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50 (ヒメダカ) : >500mg/L (実質上無毒) (印字成分)

ミジンコ類 48 時間 EL50 : >100mg/L (実質上無毒) (印字成分)

(オオミジンコ)

藻類 72 時間 ErL50 (ムレミカヅキモ) : >100mg/L (実質上無毒) (印字成分)

残留性 / 分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非危険物
国連番号	: 非該当
海洋汚染物質	: 適用されない
MARPOL 73/78 附属書	: 適用されない
II 及びIBCコードによる ばら積み輸送される液体物質	
IBC コード	: 適用されない

国内規制

海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
その他の情報	: 規制されていない

15. 適用法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9）名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9）カーボンブラック政令番号：130）（<10%）酸化チタン（IV）政令番号：191）（<10%）酸化鉄（政令番号：192）（60～70%）銅及びその化合物（政令番号：379）（<10%）マンガン及びその無機化合物（政令番号：550）（20～30%）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	: 非該当
消防法	: 指定可燃物（ただし、合成樹脂類：3000 kg 以上）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	: 第一種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）マンガン及びその化合物（政令番号：412）マンガンとして（16%）

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献 1 : ◆ IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans（WHO.IARC：国際癌研究機関）
◆ National Toxicology Program（NTP）Report on Carcinogens（NTP：米国・国家毒性プログラム）
◆ TLVs and BEIs（ACGIH：米国・政府産業衛生専門家会議）
◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則（EC）No1907/2006 を改正することに関する規則（EC）No1272/2008（CLP 規則）
◆ 産業衛生学雑誌（日本産業衛生学会）

文献 2 : ◆物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008(CLP 規則)

ページプリンタ XL-9450 ハードウェアガイド

B5WY-1741-01-00

発 行 日 2019 年 10 月

発行責任 富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

